漁乃業爾御恩賴乎蒙里豆。公爾毋奉利市爾毋運比豆。此賀利潤爾資豆。平介久安介久在婆。賽申奏牟止。奉幣帛乎。安幣帛乃足幣帛止聞看豆。今毋行末毋。懸巻彼畏支火照命乃海幸坐志御靈爾肖豆。鹽干珠乃鹽合宜久。鹽滿珠乃滿足志豆拷繩乃千尋繩打延豆。長久久五百年八千年爾。幸令在豆。海上爾漂布海部人毛過在世受。市中爾立留商人毋津々美在世受。年毎月毎爾。海幸陸幸諸共爾。相共爾得志米給豆。拆竹乃登遠登遠爾。鰭乃躍乃佐和佐和爾。海底乎盡豆。濱肥乃洲先所狹廉豆令在給比。國内乃鄉爾禍事不令在。家内乃民爾病災不令在。守護給繁榮給閉止。牡鹿奈須膝折伏。島津鳥頸根突貫豆。畏美畏美毋申。」

同上

（神事略）

言幕毋綾仁畏伎。吾大神乃御前仁。懼々〳〵美毋申佐久。」此鄉乃漁夫等。間者海幸失比和備都々居乎。相憐美相慈給比氐。大海乃巨口細鱗等袁追聚来豆。海人等我網子調倍天。引網乃網目不泄。引綱乃綱手不緩。佐和佐和爾令曳給婆。荷前波横山乃如久引居置氐奉牟刀。禮自利乃御幣捧持氐。」祈請奉久刀白須。」

奉祈海苔幸祝詞

（阿夫利神社祝詞集）

天曾々留阿夫利山乃山乃尾上仁鎭座坐寸。掛介麻久毋。畏伎。大山祇大神。雷山乃山乃上仁鎭座坐寸。二重瀧乃瀧乃上仁鎭座坐寸。高靈神乃御前仁。姓名愼敬比畏美畏美毋白左久。」何某伊。年毎乃秋乃末與里。春乃初米都方萬天陸近支海中仁柴垣立豆天。海苔取留事乎之營業乃助介止成寸我隨仁。大神等乃大御幸乎奉蒙天。沖津風甚久吹加世給波受。邊津浪甚久立多世給波受。奥津藻毋邊津藻毋多仁。波乃共打寄世来天。柴垣乃繁久。浪乃秀乃灼久。採獲志米賜比豆。氣候順和。色濃久香深久千之令得賜閉止。乞願奉留狀乎。平介久安介久所聞食之諸比賜閉止。伊波比拜美。手掌毛和良々仁拍上介。額突支豆畏美

畏美母白須。」

祈二獸獵一祝詞

（祝詞初學）

某乃大神乃御前爾。畏美畏美母白左久。」大神乃往昔與里。吾我地乃。主佩坐須此山爾波。鹿甚多久兵。戴在角波枯木末如志。聚閉留脚波若木原類志。噴介留息波朝霧似世里故山麓耳家居志兵。山幸得多留獵夫等波。奔火乃玉筒負比兵。朝爾異爾伊行伎狩禮杼母。盡流事無久隨分利潤乎得都留毛。偏耳大神乃御恩賴耳由留事止。嬉美謝保比乍在來志乎。近伎頃與里。鹿等何方閉加散禮失世兵。終日覓介杼母。其乃乾迹陀爾見衣受。然許多有里志物能。頓爾盡伎奴可久波阿羅自。若大神乃御心耳不志已利給布事有利兵。隱志給閉留爾加止。獵夫等一同畏懼萬里。大前耳種々乃御饗乎奉利。祈白須狀乎憫美給比惠美給比。過犯志氣牟罪咎波。神直日大直日仁。見直志聞直志給比兵。往日乃如。山幸忿波受。鹿多仁寄志賜波婆。志我角者御笠乃林。志我耳波御墨斗。目波眞澄鏡。爪波御弓乃弭。毛乎御筆仁製利。皮乎御箱仁覆里。宍乃臧止波。御鯰林止爲兵。賽乃禮代仁奉良牟止。申須事乎。平介久安介久聞食兵。乞乃隨仁。幸閉給閉刀。畏美畏美母啓須。」

奉レ祈二商賣繁昌一祝詞

（阿夫利神社祝詞集）

掛卷母畏伎。大山祇神。大雷神。高靇神乃御前仁畏美畏美母白須。」國郡町村姓名我。商業乎家業止爲兵。次々世乎經留事波。全久大神等乃御恩賴仁在介里止。平常母畏美奉里辱美奉里仰伎尊美。齋奉仕奉兵在介留故仁。此度母大御幸乎乞祈奉牟止寸留狀乎。神隨母平介久安介久聞所食兵。過犯寸事乃將有乎婆見直志聞直志賜比天。廣支厚支大御德乎幸賜比兵。某我淸支赤支眞心以兵。世間乃便宜乎專止之兵。貪留事無久曲具留事無久。少母私心乎置加受。夜晝仁勉强里兵。朝夕爾勤美勞久商業仁御靈幸賜比兵。四方八方從覓得物乃過事無久。遠近仁賣賑久物乃。失事無久。積出之積入留船乃。

悪風荒波乃難仁遇事無久。取扱奴僕等我。手乃蹤足乃蹤仁物損事無久。爲我隨仁利益在良志米。得我隨蕃息良志米。出入人々波。村鳥乃群里來里。鶏奈須伊波比回里。日仁異仁賑比。月々仁榮由留門止令在賜閇止。鹿自物膝折伏世。宇自物頸突抜豆。畏美畏美母拜奉良久止白須。」

○各種製造業の祈請祭

〔語例〕

上津代仁。皇神等乃。御酒乎醸美成寸神事乎。始米給比教給比志隨仁。上代にありて、皇神等が、酒を醸みなす御事業を始めなされて、人々に教へなされしによりて」となり。

大神乃奇久妙奈留御靈乎。幸給閇留神事乃隨仁。大神の、奇妙なる御靈徳を幸へ給へる神事によりて」となり。

其業乎受繼支持傳氐。年毎仁造禮留御酒乎。其の酒造業を、受繼き持ち傳へて、毎年造れる御酒を」となり。

此家乃業乃醸造御酒乎。今日興里。彌益仁勤美務米氐。醸成左牟乃。この家の業として、醸もす御酒を、今日より、いや益々いそしみつとめて、醸しなさむ

とて」となり。

姓名我酒造業乎。家業乃爲氐。次々世乎經留事波。全久大神等乃御恩賴仁在介里。たれそれが、酒造る業を家業として、子孫の次ぎ〳〵世代を經來れることは、全く大神たちの御恩澤にてありけり」となり。

美酒乃甘酒乃醸美成左志米給閇留事乎。嬉美辱美。聞えたるが如し。眞精乃御食。御酒波。白木黒木乃忌瓮居充。精白米の御飯、御酒は、白酒、や(今の瓶といふ器に盛り充てて居うる)と黒酒(胡麻の灰などを混じたる酒をいふ)として、忌の白酒にあらず、交物せぬ酒なり)

御酒造乃長乎始氐造酒者諸仁至迄。助手の人々等まで」となり。聞えたるが如し。酒造の長より、その

彌締仁締里。彌務仁務米。夜半曉不知仁。勞力米氐醸畢志米。共、彌々心を締めに締め務めにつとめて、夜中曉といはず、勞きつとめて醸もし畢へしめ給へよ」となり。酒造る人

仕丁等我汲取水乎。天乃忍磐井乃水乃在、良志米。人夫共が汲み取る水を、天の忍磐井(高天原の井の名)の水の如く、めてたき水とあらしめ給へ」となり。

搗精久留米乎。天乃長田乃米乃在良志米。搗き精ぐる米を、天の長田(天照大御神の御田)の米の如き、よき米とあらしめ給へよ」となり。

酒造兒等我。持齋萬波里。持清萬波里神祝支祝支久留保志。豐保伎祝支毛登保志。酒造の人々が、身を潔齋して、神祝(神の祝き言なれど、こゝにては、たゞ神々しき意に用ふ)に祝ぎ狂ひ、豐かなる祝ひ言をして、祝ひ廻り」となり。

今毛往前毛。酒造兒等我。朝仁夕仁勵美勤美釀留酒乎。區志乃神乃區志刀令在。今も以後も、酒造共が、朝夕に勵み勤めて釀す酒をば、酒を始めて造られし小彦名神の御酒とあらしめ給へ」となり。區志は、酒の古名なり。

三輪乃宇末酒宇末良仁成得志米給閉。大和國の三輪神社の甘酒のごとく、甘く作り成し得しめ給へとなり。三輪神社の大神は、古より酒の神として、世に尊びまつれば、かくいへり。

釀成寸酒乎。事那具斯惠具志刀。成幸閉坐兵。釀みなす酒を、それを飲めば、事の和ぐ(慰む)酒、咲み樂しき酒と成し幸へ給へ」となり。

如此成令得賜波婆。豐御酒乃足御酒刀奉里。餘乎婆四方八方仁販支弘米兵。かやうに、願ふ如くになし下さらば、新酒を、豐かに足れる御酒と多く奉り、其の餘を四方八方に賣り弘めむ」となり。

家乃產業乎。望月乃滿足波志米賑波志米給閉。家業をして、滿月の如く、滿ち足らはしめ賑はしめ給へ」となり。

豐御酒乃可美御酒刀。國々所々仁販賣之米給閉。聞えたるが如し。

手人仕丁等我。朝夕仁緩卑事无久。怠留事无久。前に、解けり。

美支麴甘支醪乎。釀成志造里得之米賜比。よき麴、うまき醪を、釀もしなし造り得しめたまへ」となり。

人多仁摘卑也茶乃芽乃香比久志久。色美志久令製成米賜閉。多勢にて摘む所の、茶の芽の香の久しく、色美しく製り成さしめ賜へ」となり。

天飛也雁乃皮如寸薄久強久令造得給閉。天を飛び行く雁の皮の如く、薄く強き紙を造り得しめ給へよ」となり。

男道無加里津々毛。尙、其御業仕奉留波。鈍く拙きながらも、なほ、其の御業仕奉ることは」となり。

赤星乃曉方與里。夕星乃夕仁至留迄勤米結里。明方の星の見ゆる曉方より、夕星出づる夕方に至る迄、終日勉強す」となり。

吹鑄奉良牟鐵波。天之香具山乃。伊豆乃眞金刀令成。吹きて鑄る所の鐵は、天の香具山のよき鐵の如くに成さしめ給へ」となり。

鑽出寸齋火波。天之香具山乃伊豆乃御火刀令成。齋火は、清めたる火なり、他は前に解けり。

汲使布水波。天之眞名井乃眞清水刀令成　解、前に在り。

諸乃形乎造禮留塡波。天之香具山乃清支塡刀令成　鑄造物の、鑄型を作る埴土は、高天原なる天香山の埴土の如く、美しく成らしめ給へ」となり。

吹處乃狹庭乃土波。天之香具山乃清支土刀令成　金を吹く所の庭の土は」となり他は聞えたるが如し。

科戸邊乃風乃。吹屋乃棟乃彌高仁。所聞食給閇。　科戸邊風の解、前に出づ。こゝにては、吹くにかゝる序詞なり。吹屋は鑄造場なり。この鑄造所の屋棟の高きが如く、大神等の彌高く聞しめせ」となり。

今度。某我思起志氐取造良牟大船波志毛。　これより造船のことをいへり。

彼方此方乃人乎毛物乎毛積乘世氐。聞えたるが如し。

打見留島乃前々搔見留磯乃前落受　打ち、掻きは助勢の語なり、見ゆる限りの島の崎々も磯の岬々もおちのこる所なく」となり。

此乃造船場波志毛。我皇國仁仇爲寸奴我有牟仁波。　この造船場は、我が國に仇なふ奴の有らむ時に、迎へ撃たむ、武士を乘する軍艦を造る」となり。

國守留皇軍人等我御刀廣良仁誅罰米牟刀　我が國を守る軍人等が佩ける太刀の及の廣き、その太刀を打ち作るやうに仇どもを誅ち罰めむとなり。

乘渡行久鐵艦堅固久製成寸場仁志有禮波。　遠く乘りわたり行く鐵艦を、堅く製造する場所にてあれば」となり。

眞楫志自貫伊行渡良牟大船仁志有禮波。　眞楫繁く貫きて、行き渡らむ大船にてあれば」となり。伊は發語、

大海原仁泛濟左牟時波。言咎毛更奈里。　船を大海に泛べて渡らむ時は、無論」となり。

造刀造良牟船工等我。過津事无久怠留事无久　聞えたるが如し。

〔作例〕

祈二造酒幸一祝詞

祝詞作文便覽　語例作例の九

（祭文例）

挂毛畏伎。吾大神乃大前爾。恐美恐美白久。」何某我酒醸牟業爾。吾大神神。長柄高伎貴伎恩賴乎幸閉坐氐。朝夕爾緩事无久。怠事无久。彌勤。彌結爾結氐。方乃任。違事无久。過事无久。好酒乃美酒乎醸成志米給比。日々爾給足比。月々爾富榮氐。子孫乃彌繼々爾。家門乎起左之米給比。廣米之米賜比。妻子奴乎始氐。手人丁等爾至留麻低。己我乖々有之米受。邪心穢行无久。日爾異爾伊蘇之美勤米之米賜閉登。」禮代乃幣乎捧持氐。」恐美恐美白。稱辭竟奉久止白須。」

祈醬油造幸祝詞

（阿夫利神社祝詞集）

掛巻毛畏支大山祇大神。大雷神。高靇神乃大前爾畏美畏美白寸。」某我醬油乎醸毛寸業乎以天。家乃業斗爲天。世乎經留事波。全久大神等乃御恩賴爾在介里斗。平常毛畏美奉利辱美奉里。齋支奉里仕奉里豆在介留故爾。此度大御前爾參登里來天。大御幸乎乞祈奉牟斗寸留狀乎。神隨毛平介久安介久所聞食豆。過犯寸事乃將有乎婆見直之聞直之賜比豆。廣久厚支大御德斗守里幸反賜比豆。手人仕丁等我。朝夕爾緩牟事無久怠留事無久。彌勤米爾勤米。彌結里爾結里天。勞豆久事業乃方爾違布事无久過都事无久。美支麴甘支醪乎醸成之造里得之米賜比天。遠近爾賣賑久禮婆賑久任爾利潤在良之米豆。家乃產業乎望月乃滿知足波之米賑波之米賜反斗。鹿自物膝折伏世。宇自物頸根突拔天。畏美畏美拜奉良久斗白寸。」

奉祈製茶場安全祝詞

（阿夫利神社祝詞集）

掛巻久母文爾畏支。阿夫利大神止稱反奉里來多留。大山祇大神。大雷神。高靇神乃御前乎。持齋波里持清波里豆。畏美畏美白左久。（何國何郡何村）爾。世乃宇麻人等我。御食乃加牟加比考反議里豆。取設介起作禮留製茶場波母。我賀皇國乃國產乃一仁之有禮婆。各毛各母殊仁志乎盡之豆。朝仁夕仁其乃業勤勞支、津々。大神等乃御恩賴乎常母奉尊里豆在里介留故爾。今般母奇之久靈支大御幸乎奉冠良萬久斗。岩金

乃峻之支山毋峻之止毋爲受。岩波乃荒支川邊毋荒之斗毋爲傳。直渡里直越衣來豆。大御前爾乞祈奉留事乃將乎。廣支大御心。厚支大御惠乃隨爾所聞食之受介賜比豆。夜仁晝仁勉强里勤勞久。製茶留業仁御靈幸反賜比豆。人多仁摘武也茶乃香比久久。色美之久令製成米賜反斗。畏美畏美毋白須。」

奉ㇾ祈ニ製絲場安全ニ祝詞

（阿夫利神社祝詞集）

青雲乃上仁天留。阿夫利山仁鎭座坐須。掛卷毛畏伎。阿夫利大神乃大御前爾。某謹美敬比畏美々々毋白左久。何國何郡何村爾齋柱太久固久。下津岩根仁踏凝之。齋波比建天多留製絲場波毋。我賀皇大御國乃國產乃第一止毋言布辨久志天。世間乃利益乎計留可美絲製留所爾之有禮婆。各毋各毋身乃分乎盡之豆。其乃業勤勞支津々々。平素仁大神等乃大御幸乎。奉慕里奉辱里豆。在里經留故仁。今般毋御恩賴乎蒙里奉良萬久斗。高伎山乎毋踏左久美。廣介伎川乎毋打渡里來豆。瑞垣近久。庭雀蹲踞居豆乞祈奉良久乎。神隨憐之斗所思食之豆。過犯寸事乃將有乎婆。廣久厚支大御心乃隨仁。見直之聞直之賜比豆。朝夕爾勉强里勤勞久。製絲留業仁御靈幸反給比豆。少女子我引成寸絲乃長久久。榮由留所止令有米賜反斗。宇自物宇奈根突貫支豆。畏美畏美毋乞祈奉良久止白須。」

（阿夫利神社祝詞集）

奉ㇾ祈ニ製紙場安全ニ祝詞

阿夫利山乃山乃上仁鎭座坐寸。大山祇大神。雷山乃山乃上仁鎭座坐寸。大雷神。二重瀧乃瀧乃上仁鎭座坐寸。高靈神乃御前爾。齋波里清波里豆畏美畏美毋白左久。」何國何郡何村」爾土搔平之柱掘居惠造設多留製紙場波毋。世乃爲人乃爲仁。利益乎與反便利乎增寸幸物製留所奈禮婆。出入留人々毋力乎合。世志乎盡之豆勤勉美都々。平常仁大神等乃御恩賴乎奉畏里奉仕里豆。在經留隨仁。今般毋大御幸乎乞祈奉里辱美奉良牟斗之豆。天雲乃遠支乎厭波受。此乃御山爾參上里來豆。

御靈乃幸乎請願奉留事乎志。神隨母所聞食之受介賜比天。過犯寸事乃將有乎婆。廣支厚支大御心仁見直之聞直之坐之豆。清久明支眞心以豆。朝夕仁無息事久無緩事久。勤勞久製紙乃業仁。奇靈幸反賜比豆。天飛布也雁乃皮奈寸薄久强久。製令得米成志令得米豆。幸有留所。福有留家止。夜乃守里日乃守里爾。守里幸反給反斗祈祝支奉良久斗。手拍々知拜美豆。畏美畏美母白寸。」

祈鑄造平安祝詞

（阿夫利神社祝詞集）

掛卷毛畏支鍛冶鑄工乃祖神斗坐寸祖神斗坐寸天之目一箇神。石凝度賣神。金乃祖神斗坐寸火產靈神。水乃祖神斗坐寸水波能賣神。土乃祖神斗坐寸塡山姬神。言別介豆波阿夫利大神。及此乃里乃產土神乃御前仁。遙爾御酒御饌乎始米斗之豆。山野乃物。海川乃物爾至留末傳爾。備奉里置支豆。畏美畏美母白左久。」某波遠祖乃代余里奈毛。鐵銅乎鑄豆。食物乎煮炊久器物乎始米。種々乃物乎造里豆。利

潤乎得留乎家業斗波之爾介留。」此所爾。其乃業乃始乎思反婆。千早振神代乃昔。高天原爾大神等乃事始米賜比之奈里介里。如此天今毛某我男道無可里都々毛。尙其乃御業仕奉留波。全久大神等乃恩賴爾之有里介禮婆。齋麻波里清麻波里。赤星乃曉方余里。夕星乃夕爾至留迄。勤米志麻里天勞久辨支業爾社有禮。」故大神等乃大御幸乎蒙里天。吹鑄奉良牟銕波。天之香具山乃伊豆乃眞金斗令成。鑽出寸齋火波。天之香具山乃伊豆乃御火斗令成。汲使布水波。天之眞名井乃眞清水斗令成。諸乃形乎造禮留塡波。天之香具山乃清支塡斗令成。吹處乃狹庭乃土波。天之香具山乃清支土斗令成天。吹久賀隨爾吹過事无久。鑄留賀隨爾鑄害事无久。鑄得志米造得之米賜反斗。乞祈奉留事乃由乎。科戶邊乃風乃吹屋乃棟乃彌高爾所聞食賜比天。子孫乃八十續榮由留業。賑波布家斗守里賜反幸反賜反斗。平手拍上介畏美畏美母白寸。」

奉祈造船場安全祝詞

（阿夫利神社祝詞集）

天曾々留阿夫利山仁。瑞垣乃久之支御代與里鎭座坐寸。掛巻母文仁畏支。大山祇大神。大雷神。高龗神乃御前乎。謹美敬比畏美畏美母白左久。」何國何郡何町仁。取設介起建天多留造船場波母。我賀皇大御國仁無禮介支奴我。戯事爲留事將有爾波。國守留皇軍人等我。御刀廣良仁誅罰米牟止。乘渡行久鐵艦堅固久製成寸場爾之有禮婆。出入留人人母。身乃分々爾殊仁志乎盡之豆。其乃業勤米勞支津々。平素仁大神等乃御恩賴乎奉辱里奉尊里豆在里介留隨仁。今般毛大御幸乎乞祈奉良牟止之豆。天離留鄙乃長路乎遠之斗毛爲受。此乃御山仁參上里來豆。大御前仁請願奉良久乎。神隨母阿波禮止所聞食之豆。過犯寸事乃將有乎婆。廣支厚支大御心仁。見直之聞直之坐之豆。參集反留人々我。赤久清支眞心以豆。夜仁晝仁勉强里。朝仁夕仁勤勞久造船乃業仁。御靈幸反賜比豆。車添反海原走留大船乃。事速介久幸久眞幸久令速成米賜反止。祈白寸事乃由乎。駒乃耳彌高仁聞之諾比賜比豆。守里賜比惠美給反斗。手拍知拜美豆。畏美畏美母白須。」

○門出、旅行、航海等の祈請祭

〔語例〕

姓名伊。此度思越寸事有里氐。旅路遙仁出立牟乃爲留乎。憐美惠美幸比給比氐。聞えたるが如し。

某伊。今日乎生日乃足日乃祝定氐。發途乃祝言祝白寸止爲天。某が、今日をよき日と祝ひ定めて、出立の祝言を申し述べんとて御祭すとなり。

鳥賀鳴久東國邊旅立世牟乃爲氐。鳥が鳴くは、東の枕辭。他は聞えたるが如し。

鄙乃長路毛。越衣行久山々乃峻志支道毛。田舍の長き路も、越え行く山々の峻しき道もとなり。

荒支川乃速支瀨毛平穩仁渡里天。荒き川の急流の瀨も平穩に渡りてとなり。

道乃八十隈川乃八十瀨乎伊行渡良比。路の多くの曲り〳〵や、川の多く

の潮々を行き渡りて」となり。

山行加婆凝々志支峯仁毛。乗駒乃蹶久事无久。海行婆渦巻久波仁毛。行船乃傾久事无久。山を行くならば、渦巻く大波にも行く船の傾くことなく、海を行くならば、険しき峯にも、乗る駒が蹶くことなく」となり。

東行西行往加布道乃隈々。行違比踏迷布事无久。東に西に行きかよふ道の曲りめにて歩み違へ踏み迷ひなどすることなく」となり。

旅乃宿毛恙无久。往先毛障留事无久。歸路毛妨害无久。聞えたるが如し。

某我出行可牟道乃先々。歸来牟路乃隈々恙无久。解前にあり。

宿良牟驛路仁。泊氐牟泊仁。其処々々乎知左牟大神等乃。神議々々神幸々比給比氐。旅人の宿らむ宿驛や、船のとまらむ湊に鎮りまして、大神の議り給ひ幸ひ給ひて」となり。

玉鉾乃道乃長手乎。恙牟事无久障留事无久。玉鉾は道の枕辭。長手は長路といふに同じ。他は聞えたるが如し。

委托彌置久其家内仁。火災盗難无久。人に委托し置く留守中に、火災盗難なく」となり。

根國底國與里。疎毘荒毘來牟物仁。相率里相口會布事无久。前に、解けり。

伊往支至里氐。喪无久事无久。事畢反氐歸來津留波。目的地に往きて、災なく事なく、用事を終へて歸り來たる事は」となり。

某伊。大船仁眞楫志自奴伎。何浦與里舳解放知氐。某は、大船に楫を繁く漕ぎて、何浦より、船の舳綱を解き放ちて出發して」となり。

何國何港仁伊漕支渡良牟乃。船艤比立牟乃爲。何國何港に漕ぎ渡らむとて、船をよそほひて出立せんとの爲」となり。

皇大御國波大八島國乃稱志氐。四方皆海奈里。聞えたるが如し。

故陸行婆八十日毛經牟乎。海行婆二日波經受傳至里奴倍志。陸を行かば、數十日も經べきを、舟にて海を行くならば、二日も經ずして至るを得べし」となり。

駒奈良婆廿毛並倍氐引久倍支物乎。船奈良婆一艘仁乘世氐漕行加牟物乎乃。馬ならば、二十匹も並べて漕ぎ引き得べき物を、船であらば、一艘に乘せて漕ぎ行かん物を」となり。

道急久人。物悶久人等波。大船乃思比賴美氐。往來波海路乎便宜志乃

甘爲奈留。　路を急ぐ人や、商人などは、大船故に心安しと、心にたのみて、往來は、海路を便利宜しとなし居れり」となり。

某乃月日發船志氐。本國邊乎。指志氐歸里奈牟乎。　何月何日に、何の港から船を出して、本國を指して歸らむとするを」となり。

其所乃浦。彼所乃灘刀。世仁畏支海毛。无恙无障天。　そこの浦、かしこの灘とて、世に有名なる恐ろしき海も、つゝがなく無事にて」となり。

大海原仁荒支波風立多志米受。聞えたるが如し。

暴風乃立事无久。荒浪乃起留事无久。聞えたるが如し。

級津彦神。沖津風甚久奈吹世給比曾。海神よ、海邊の浪を、甚しく立たせ給ふ吹かせ給ふこと勿れ」となり。

海津美神。邊津浪甚久奈立世給比曾。　前に解せり。

船子乃者共。手乃蹟足乃蹟仁。棹柁過津事无久。聞えたるが如し。

船上安久穩仁。往支歸良志米賜閉。聞えたるが如し。

帆上具禮婆。上具留隨仁。楫取禮婆取留我隨仁。船足輕久往來安久。

帆を上ぐれば上ぐるにつれて、楫を取れば取るがまゝに、船足の輕くて、往來安く」となり。

朝發牟浦邊波平良加仁。夜泊牟湊波穩仁。　聞えたるが如し。

古乃枯野乃船乃逸久。本津港仁立返良志米給閉。　上古、應神天皇の時にありし枯野（輕主の義）といへる船の如くに速くて、早く本國の港に立ち返らしめ給へ」となり。

思乎遂介。事果志。平安仁漕返來奴留乎以氐。　思ふことを遂げ、事を果して、何事なく、平らかに漕ぎかへ來たるを以て」となり。

船頭波更那里。船子等仁至留迄。　聞えたるが如し。

豫氐與里。心配志氐。渡良牟刀爲介留仁。　前々より、心づかひして、渡らむとせしに、俄に暴風吹立ち、逆浪起りて」となり。

其邊乎渡里掛里志。大小船共。或波漂蕩。或波轉覆良牟刀爲留仁。　聞えたるが如し。

奇久毛其危難乎免禮。喪无久事无久天。　聞えたるが如し。

御恩賴乎酬奉牟刀仕奉良久乎。　聞えたるが如し。

祝詞作文便覽　語例作例の九

祈旅程祝詞

（祭文例）

掛毛畏伎吾皇神乃大前爾。恐美恐美毛白久。」何某伊。今上道爲氐。某國某里爾行牟止爲留乎。吾大神乃高伎貴伎恩賴爾依氐。往左來左能路乃間。都々牟事无久守給比幸給比氐。平氣久安氣久歸之米給閉登。禮代乃幣帛乎捧持氐。恐々毛稱言竟奉久止白須。

祈出船祝詞

（祭文例）

掛毛恐伎。吾大神乃大前爾。恐美恐美毛白久。」何某伊。今船出爲氐。某國某里爾行牟登爲乎。吾皇神乃高伎貴伎靈爾依氐。行左來左乃海路爾。風浪乃愁无久。守給比幸給比氐。平氣久加多良加爾。歸之米給幣登。禮代乃幣乎捧持氐。恐々毛稱辭竟奉久登白。

同報賽

（同　上）

掛毛畏伎。吾大神乃大前爾。畏美畏美毛白久。」先爾何某我。某國某里爾船出爲流時。吾大神乃靈爾依氐。平久安久歸之米給閉止。祈白伎。然留乎祈白之之毛灼久。海神乃可畏伎道乎。都々麻波受。面變不爲之氐。家爾還著之米給幣留事乎。尊美喜美。禮代乃幣乎捧持氐。謝仕奉良久乎。神隨聞食登畏々毛白須。

船玉祭祝詞

（祝詞全書）

船玉神登。御名波白氐。稱辭竟奉良久波。神隨毛吾皇神乃御靈賜利弖。船上波牀爾居如久。水上波。土乎行久如久。撫給比惠給比。海積乃澳爾毛邊爾毛。可恐伎風波爾逢世給波受。吾大神守給比幸給閉登。禮代乃幣帛乎捧持氐。恐美恐美毛稱辭竟奉良久登白須。

祈外國留學生之安全祝詞

（祝詞全書）

掛卷毛畏伎。何大神乃大前仁。何某畏美畏美白久。」何某伊。夙仁敏心乎振起之弖。今茲明治何年乎始米刀。五年乎限里弖。海離留西洋獨乙乃國仁。物學之天在事乎所知食弖。日仁異仁勞支營牟身心波安久穩

障。瘴癘乃障碍無久。傳閉修留學術波直久正之久。横左乃道仁惑事无久。顯世乃眞理波更仁毛不言。工業。器械乃小枝仁至萬兵。洩留事无久。墜留事无久。功績乎令樹給閉刀。御酒御饌雜々乃物乎置高成兵。親族諸共仁乞祈奉良久乎。平仁安仁所聞食受給比与。遠境毛無隔事竟兵歸參來牟迄乃年月波。一日片時毛見放給布事无久。夜守日守仁守惠幸閉給閉止。十六自物膝折伏兵。畏美畏美毛。乞祈奉良久止白須。

十、出生、成年、婚姻等の祝詞

○出生、成年等の祈請及び奉告祭。

〔語例〕

世間仁。寶刀爲倍支物波多有禮杼毛。子仁若久者奈毛无加里計留。

世の中に、寶とすべき物は多くあれども、子に勝るものは、決してなきぞ」となり。

妻迎閉兵許多乃年月乎經奴禮杼毛。靈祈布神乃御幸乎不蒙。子乃幸薄久。家系繼具倍支子不在隨仁。妻を迎へて、多くの年月を經たれども、靈幸ふ

〔神の枕詞〕神の御幸を蒙らず、未だ子を得る幸うすくして、家を繼がすべき子のなきによりて」となり。

子乃幸厚久授介給比。速介久健剛奈留子乎令得賜比。子を得る幸を厚く授け給ひ、速かに健かなる子を擧げしめ給へ」となり。

靈幸布神乃御幸刀。懷胎兵有里介禮婆。日重里月滿兵。臨產時近支奴。神の賜ものとして、懷姙してありたれば、日重り月滿ちて、出產の期近づきたり」となり。

故爾仁。大御幸乎請奉良麻志刀。今日乎生日乃足日刀齋定兵。かくあれば、安產すべき御幸子を請ひねがひ奉らむとして、今日御祭す」となり。

大神乃常仁慈愛給閉留。御氏子乃何某我妻。身孕里兵。聞えたるが如し。

子產萬牟時仁至里奴禮杼。如何那留禍神乃禍事仁加有良牟。障有里兵生禮受。臨月になりたれども、いかなる禍神の禍事にかあらむ。障ありて子生れず」となり。

高久尊支恩賴仁依里兵。惱牟事无久。苦牟事无久。聞えたるが如し。

晝夜不知憂比吟比。爲牟便乃手着毛無美仁。　晝夜わかず、憂ひ吟ひ、せむすべの手だてもなさに」となり。

取設介多留産至仁入毛敢受。引結倍留鎭帶解毛敢受。　かねて、取り設け置ける産屋に入るや否や、引き結べる腹帶も解きあへぬ中に、安く生れ出でしめ給へ」となり。

安久平介久令産竟給比氐。母子諸共无害无事。　无害无事、すべての災害なきをいふ。他は聞えたるが如し。

猶豫事无久。飛驒人乃打墨繩乃速介久。令産得生得志米給比氐。　ためらうことなく、飛驒工が打ちわたす墨繩のすみといふ如く、すみやかに、産れしめ給へ」となり。

志自萬比匍匐比伏拜美氐。大神乃御惠乎仰支乞願奉良久乎。　志自萬比(蹙まること)匍匐比(這ふこと)恐れ伏し拜みて、大神の御惠を仰き乞ひ願ひ奉るとなり。

廣支厚支大御心仁。米具久悲志久思保志坐氐。　米具久悲志久は、愛ぐし、可憐しの意なり。他は聞えたるが如し。

孩兒乃恙无久令在賜閉刀祈禱奉留事乎。　恙无久は、つゝがなくに同じ。他は聞えたるが如し。

疾久速介久。穩仁平仁産志米給閉。彌健仁彌向榮仁守幸閉給閉。　解、前にあり。

某我眞名子某伊。去何日乎生日乃足日仁。顯世仁生出仁多禮婆。　某が眞名子(眞の子の意)去る何日を吉日として、現世に生れ出でたれば」となり。

其由告奉里。奇志久尊支恩賴乎志仰支奉里氐。可美人乃。眞細人刀成良志女奈牟刀。　出産の由を告げ申して、奇しく尊き御恩澤仰き受けて、心身共に善良なる人と成らしめなむ」となり。

名乎何刀附久留事乎。相諾比聞食世刀。　出生兒の名を、何々と命ずることを、承諾し給へ」となり。

如比所聞食氐婆。自今以後。病支事无久。煩布事无久。生緒乃息長久。玉緒乃一筋仁。幸久眞幸久禰備調保里氐。　前條のやうに、願ひ奉ることを聞き入れ給ひたらば、自今以、後生兒の身に、病み煩ひなく、生緒、玉緒(共に命のこと)の命長くて幸福に、身體禰備(生長する意)ととのひゆきて」となり。

氏子何某乃眞名子何某。大神乃御靈賜里兵。平介久安介久誕生兵。既毛百日餘十日仁成里奴。聞えたるが如し。

御氏子某我眞名子。今年何月何日仁。大神乃大御心刀。生出多留事乎嬉美忝美。大御心として、誕生すと」なり。他は聞えたるが如し。

今日乎生日乃足日刀祝定米兵。大前仁参出。禮代乃幣帛捧持兵。拜美仕奉良久乎。語解、前に出づ。

彌遠仁彌長仁。大神乃御氏子。天皇乃公民刀愛給比慈給比。彌々遠く長く、大神の氏子として、天皇の臣民として、愛で慈み給ひて」となり。

此乃御座仁備奉留御神符仁。伊豆乃御靈乃奇魂乎憑給比兵。この机に供へおき奉る御守札に、嚴めしき御靈德の奇魂(奇しく心身を守ります魂なり)が如し。

夜乃守日乃守仁守惠厭比幸給比兵。恙无久成人志米給比。聞えたるが如し。

綾仁奇志支。牟須備乃大神乃御靈乎蒙里。眞名兒得多里。ああ、奇しき皇産靈の大神の御靈德にて、眞によき事を得たり」となり。

我我大神乃愛子。吾我御社乃內子刀爲給比。我が大神の愛し給ふ子。この御社の內子(氏子に同じ)となし給ひて」となり。

如何奈留禍神乃妖加。或波産禮兵。不活。或波生禮兵。無間病仁罹里。聞えたるが如し。

照霹久夏乃暑仁毛惱左衣受。三雪降留冬乃寒仁毛損波衣受。照り霹く(雷の烈しく鳴ること)夏の暑さにも惱まされず、大雪ふる冬の寒さにも損はれず」となり。

生出志生日乃足日乃。今日仁奈毛成奴留。聞えたるが如し。誕生後滿一年の祝詞に用ふべし。

庭中乃松枝乃。春毎仁綠加波里。垣下乃梅乃立枝乃。年毎仁花咲撓留事乃如久。末遙々仁年齡加里。庭中の松枝の、春ごとに綠色加はり、垣下の梅枝の年ごとに花咲くやうに、末はる〳〵に齡加はりて」となり。

行先遠仁。福利添里兵。大君乃御爲。國家乃爲仁。功志支人乃成志米給比。この子の行先き遠く、幸福添はりて、大君の御爲に、國の爲に、功業を建つる人と成らしめ給へ」となり。

家乃風乎毛。彌廣仁彌高仁吹興左志米給閉。　家の風とは、其の家の風儀をいふ。他は前にいへり。

稚草乃結倍留紐乎。春日乃手長乃帶仁結毘替閉氐。祝爲留日。　稚草の如き、稚兒の結べるつけ紐を、春日の長きが如き、長き帶に結び替へて、祝ひする日なれば」となり。（紐落しの祝に用ふべし）

父母家人等我。左右手仁取持。幸在禮乃結回す帶乃彌廣仁。立氐牟志乃緩毘无久。　父母や、家の人々が、左右の諸手に取り持ちて、この子眞幸くあれと、結ひ回す帶の廣きがごとく、この女子が立てむとする志の緩みなく」となり。

千々乃吉事乎取添閉氐。言壽具帶乃彌長仁。務締里氐緩美无久。いろ〳〵のめでたき事を取り添へて、言祝く帶のいよ〳〵長く務め締まりてゆるみなく」となり。

童子乃群乎出氐。獨立津倍久。壯士乃成里奴禮婆。　童子の仲間より出でゝ、獨立すべき男子と成長したれば」となり。（成年祭に用ふべし）

神乃御法乎過多自。人乃道乎失波自乃。朝夕仁身乎顧美。行乎謹美氐。　成年者の、かく神に誓ひまつるなり。

〔作例〕

奉祈儲子祝詞。　（阿夫利神社祝詞集）

掛巻母文爾畏支。阿夫利大神乃御前爾。愼美敬比畏美畏美母白す。世間爾寶斗爲倍支物波多有禮杼母。子爾若久者奈母無有可。然留爾姓名波。妻迎閉豆巨多乃年月波經奴禮杼。靈幸神乃御幸乎不蒙。子乃幸薄久。家系繼邊支子左反在邪留隨爾。此度大御山爾參上來豆。大御幸乎乞祈奉狀乎。神隨母阿波禮止思行坐豆。自今以後波。大神乃高久尊支大御心以豆。子乃幸厚久授介賜比豆。速介久健剛奈留子乎令得賜比。家系繼志米賜比天。家内賑久子孫乃八十續。遠長爾榮行倍久。奇志支御靈乎幸幣給閉止。畏美畏美母白須。

祈産祭祝詞　（神職必携）

掛巻母恐伎。吾大神乃珍乃御前爾。畏美畏美母白左久。御氏子（信徒）何誰乃。室誰伊。懷胎天早久產期仁近附奴禮婆。家人等諸毛。茜刺畫波志

美々爾。手摩足摩衛生里攝養比。奴婆玉乃夜波安久母夜目乎寐受勞里繼介天。何卒傳平穩仁眞玉如須子乎產志米牟止。待勞伎賴勤米氐。今只管仁乞願白須事乃由乎。嚴梓乃中執持天祈奉良久乎。愍然止所聞食天。此御名符乎。產屋乃鎭刀持齋伎齋奉留任仁。產婦誰我心乃鎭刀言壽伎結信留事無久。產醫辱母仁至迄。手蹤足在良志米受海原仁時得天直刺須潮如須滿天足良比天。落多岐津早川如須。須具々々刀。祝布產屋乃安介久。湯沫留盥乃平介久。初聲高久生產志米給比。母毛子毛喪無久難無久。日足良志米給閉止。神饌神酒乎進里豆畏美畏美母白須。

誕生奉告祭祝詞

（祭文私稿）

此里乎宇之波伎座須。掛卷久母畏伎。宇夫須那大神乃大前乎始奉利。此家乃神床仁齋奉里令座奉留。天津神。國津神。八百萬神等乃大前仁。愼美敬比恐美恐美母白左久。某我眞名子某伊。去何日乎生日乃足日仁。皇神等乃神慮乃隨仁。宇都會美乃世仁生出爾多禮婆。今日之母大前乎祭里豆。其由告奉里。奇之久尊伎恩賴乎之仰奉利天。可美人乃眞細人止成良志米武斗。現在與里將來哀母兼豆。言壽乃志留之乃禮代止。宇豆乃御酒御食。赤飯仁。種々乃物乎取添天。進奉利。齋萬波利清萬波利拜美仕奉留狀乎。平介久安良介久。聞食宇豆那比給比天。夜乃守利日乃守仁守惠萬比幸給反止。恐美恐美母白須。

生兒命名奏上祝詞

（神職必携）

此乃御殿仁。天乃御蔭日乃御蔭刀隱里座須。掛卷毛恐伎。大神乃前爾。恐美恐美母白左久。大神乃愛美撫給方留何誰賀妻誰伊。懷妊里志與里。平久安久其子乃產出牟事乎。乞祈奉之乎。諾比幸閉給比志毛效明久。本月乃何日仁障事無久產出之米給比天。母子共仁健全久日足行加志米給閉留仁依豆。今日乃生日乃足日仁。名乎（何）止負世津留事乎。相宇豆那比所聞食世刀。禮代乃幣帛乎。置座仁足八志氐。恐美恐美

母白須。」如所聞食氐婆。自今以後。病伎事無久。煩伎事無久。生緒乃息長久。玉緒乃一筋爾。幸久眞幸久禰備調保里氐。年毎仁綠加波留。山松乃千歳乎懸氐。立天牟名波櫻花乃匂我如久。千仁萬仁香細久咲氐榮衣。年毎仁千枝刺須竹乃萬代懸天。契禮留功八重志足穗乃豐熟我如久。許々太爾結毘得之米。祝言乃吉詞乎稱辭竟奉良久刀白須。

氏子入祝詞

（阿夫利神社祝詞集）

鄉人何某我。綾仁奇志支牟須備乃神乃御靈乎蒙里。眞名古得天。今日乃生日乃足日乎。吉日止撰定天。宮參守札乞受氏子乃例仁欲入事乃由乎。看行恤給比天。自今後波。吾我大神乃愛子。吾我御社乃內子止。夜乃守日乃守仁守幸閉給閉止。平手拍上天。畏美畏美母白須。

奉祈生子育成祝詞

（阿夫利神社祝詞集）

掛卷母畏支。阿夫利大神乃御前爾。愼美敬比畏美畏美母白左久。」世間爾寶斗爲倍支物波多有禮杼母。子爾若久者奈母無有可支。然留爾姓名波。子乃幸薄久。幾回可子波產都禮杼。可不活。或波生禮豆無間病爾罹里。悉爾妖加。高津鳥乃災加。或波產禮豆不活。或波生禮豆無間病爾罹里。悉爾養育敢受天。家乃系繼邊支子左反在邪留隨爾。此度大御山爾參上來豆。大御幸乎乞祈奉留狀乎。神隨母阿波禮止思行坐豆。自今以後波。大神乃高久尊支大御心斗。子乃幸厚久授介賜比豆。生禮婆生留々隨。養育世波養育隨爾。健剛奈留子乎得志米。家系繼志米賜比天。家內賑志久。子孫乃八十續。遠長爾榮行倍久。奇志支御靈乎幸幣給閉止。畏美畏美母白須。

初宮祭祝詞

（祭文例）

挂毛畏伎。吾大神乃大前爾。恐美恐美母白久。」大神乃氏子何某我眞兒何某伊。大神乃御靈賜里氐生出之與里。百日餘十日爾成奴。彼是乎以。今日乃生日乃足日爾。初氐大神乃大前爾參出氐。拜奉狀乎。平久安久聞食登白。」如此仕奉爾依氐。今毛今毛。此乃嬰兒乎愛美給比。日足賜氐。

諸乃病不令有。須久須久止生立榮兵。大神乃氏子。天皇乃公民登。守給幸給登恐美恐美毛白。

誕生日祝祭祝詞

（神職必携）

掛巻毛文爾畏伎。吾大神乃珍乃御前仁。職姓名畏美畏美母曰左久。御氏子（信徒）何誰乃子誰伊。何年乃何月何日爾。平久安久生之米給比天。年月乃永伎間。照霹久夏乃暑爾毛惱左衣受。三雪降留冬乃寒仁毛損波衣受。常爾身健爾凶無久。異無久。夙調比日足羅志米給比天。嚴捷久生出之生日乃足日乃今日爾奈毛成奴留。故其貴伎厚伎恩賴乎憙美辱美。御前乎持忌麻波里。報賽乃幣帛登。御饌御酒乎供奉天。廣久厚久稱辭竟奉羅久乎。大御心毛宇良宜所聞食世刀白須。如斯所聞食天婆。今與里後。彌益爾撫給比惠給比天。病志伎事無久煩久之伎事無久。庭中乃松梢乃。春毎爾綠加久留事乃如久。垣本乃梅立枝乃年毎爾花咲撓留事乃如久。末遙遙仁年齡加久里。行前遠爾福利添久里天。畏在禮

杼。天皇尊乃御爲。國家乃爲仁。功之伎人登成良之米給比。忠實那流人刀成良之女給比。家風乎毛。彌廣爾彌高爾吹興左志米給方登。祈申須事乎。相宇豆那比給比弖。夜乃守日乃守爾。守給比幸給方刀。鵜自物頸根突拔天。畏美拜美天白須。

紐落祝祭祝詞

（神職必携）

掛巻毛畏伎。何神社乃稱辭竟奉類。幾柱神等乃御前爾。職姓名愼敬比毛白左久。御氏子（信徒）何誰我何男誰伊。往志年號何年何月何日爾生出志乎。凶無久難無久日立來天。今年今月乃今日。八志文。稚草乃結邊類紐乎。春日乃手長乃帶爾結畢替方天。祝比爲留日乃回來奴。是八專吾大神乃高伎尊支恩賴爾依天古曾乃。嬉美歡毘御惠乃千重乃一重文報奉羅牟乃須。故誰（兒ノ名）乎御前爾詣出志米天。禮代乃幣帛乃。御饌御酒。雜々物乎捧奉里。稱辭竟奉良久遠。御心文平加爾所聞食弖。此御名符乎持齋支齋奉留任仁。夜乃守日乃守爾守給比撫給比。父母家人

等我。左右手爾取持。幸在禮刀結回須帶乃彌廣爾。立天牟志乃緩毘無久。千乃吉事乎取添方天。言壽具帶乃彌長仁。務締里豆緩美無久。萬乃幸福遠結得志米給方刀。」太玉串乎戴持天。乞祈拜。美。言壽稱方天畏美畏美文白須。

成年式祭祝詞　（祭文私稿）

此里乃宇夫須那大神止。某神社仁鎭座須。掛巻久毋畏伎某大神乃大前。及家内爾齋奉留天津神等乃大前仁。恐美恐美母白左久。「某伊年月日現身乃人止生出志與里。年普久日遍久。大神等乃守給比幸給閉留。廣久厚伎恩賴仁依利天。喪無久事無久生立榮衣。今波童乃群衣離里獨立都辨久。壯仁健伎壯士止成里奴禮婆。今日乎生日乃足日止撰比定米天。成年式仕奉里。保岐碁止申奉良久乎宇豆那比給比天。此乃献留御酒御食。種々乃幣帛乎。安幣乃足幣止。平介久安良介久。聞食天。今與利後毋。彌遠仁彌長仁。守利幸給比。世長人。世乃遠人止名爾負布可久。命長久在良之米。皇仁忠國仁義親仁孝乃人多留道乎。遂得之米給反止。恐美恐美母白須。

○結婚式の祭事

〔語例〕

是乃家主何某乃男某仁。何村某乃女何子乎迎閉氐。婚姻乃禮式取行波牟刀。聞えたるが如し。

皇神等乃恩賴乎被里氐。壯仁健支人刀成里多留某伊。正志支良支緣乎得氐。聞えたるが如し。

某乃女何子乎娶氐。今日乎生日乃足日乃吉日刀卜相定氐。今日以下の解、前にあり。

今日乎始刀。妹背乃道熟良仁成整比氐。今日を始めとして、夫婦の道よく整ひて」となり。

御前仁波。色替奴常葉乃松竹。雪仁榮由留梅乃樹乎植立氐。千代呼布鶴。萬世契留龜乃形乎作備閉。神の御前に、色變へぬ常葉の松竹や、雪の中に

榮ゆる梅樹を植ゑ立て、千代を呼ばふ鶴の形と、萬世を契る龜の形とを作り備へて」となり。

高砂乃相生乃松乃千年乃。家業乎毛勤結里兵。　高砂の相生の松の經ん千年と共に、家の業をも勤め結りて」となり。

諸共仁彌遠永仁。契深久家内穩仁。　聞えたるが如し。

各毛各毛入紐乃同心仁睦毘親美。　解、前にあり。

夫妻乃契波。如巖彌堅良加仁。如咲花移事无久。　夫婦の契は、巖のごとく彌堅く、咲く花のうつり變ることなく」となり。

父母乎敬比。婢僕乎恤美兵。子孫乃八十續。茂志八桑枝乃如久。家門高久立榮天。　解、前にあり。

夫婦乃中波。松乃葉乃登古止波仁。竹乃節乃操正志久。　夫婦の中は、松の葉の色變へぬやうに、永久に、竹の節の操正しきやうに正しく」となり。

梅乃花乃寒仁堪閉兵。鶴乃龜乃長久志久並比榮由倍久。　剌し立たる梅の花の寒さに堪へて、鶴と龜との如く、長く久しく、並び榮ゆべく」となり。

女乃道奈留操正志久兵。常仁言先立事不令有。　女の道の操を正しくし

て、常に夫に先立ちて物言ふことなく」となり。

後乃事乎。洩事无久落事无久。令掌給閇。　後の事とは、夫のなす表向の事業に對して、妻のなす内事をいふ。他は聞えたるが如し。

妹背乃盃結志兵。嫁繼乃式乎行布仁依里兵。　夫婦の盃事をして、結婚の式を行ふに依りて」となり。

天仁日月在留我如。國仁山川在我如。相匹比相並毘兵。身乎毛家乎毛齊修米兵。　天に日月あり、國に山川あるやうに、夫婦相匹ひ相並びて、身をも家をも共に齊へ修めて」となり。

栲繩乃長久久志久。千代乃契乎結堅兵。　栲と云ふ木の皮もて作れる繩の如く、長く久しく、千代のちぎりをゆひかためて」となり。

六緒琴乎調合世多留我如久。睦魂合比兵。　六緒琴（前に釋す）を調へ合はせたるやうに、睦びあひて」となり。睦魂は前に釋す

白玉乃眞白髮迄毛壽命久。務米締里兵。　白玉のは、眞白髮の枕語。他は聞えたるが如し。

今某等我。新仁契里結倍留毛。即兵大神等乃導支給布事乃奈毛。尊美

畏美仰支奉留。　某等が、夫婦の契を、新に結べるも、やがて、大神等の導き給ふことと、尊み畏みて仰き奉る」となり。

夫婦二人壽命長久。務米締里兵。　聞えたるが如し。

祖名穢左受。氏乃名落左受。家門廣久高久起左志米給比。　祖先の名家の名を汚しおとすことなくて、家門を繁榮せしめ給へ」となり。

惟神乃本教仁背久事無久。男女乃大道仁違布事無久。　夫婦諸共に、神の御心の儘なる、本つ教に背く事なく、男女の道に違ふことなく」となり。

夫婦二人我中仁。如何奈留憂事在里刀毛。堪忍毘相扶介相護良牟。　夫婦の中に、如何なる憂き艱難生ずとも、たへ忍びて相扶け、諸共に身をも家をも護らむ」となり。

玉緒乃長久久之久相背加自相違波自刀誓奉良久。　命のあらむ限り、長く久しく、相背くまじ、相違ふまじと誓ひ奉る」となり。

某波毛女仁志有禮婆。汝乎置支氐男波无久。夫波持受。　某は(婦の名)女にてあれば、汝を置きて、男はなく、夫を持たず」となり。

某波毛男仁志有禮婆。汝乎置支氐女波无久。夫波持受。　某は(婦の名)女にてあれば、汝を置きて、男はなく、夫を持たず」となり。

束乃間毛節乃間毛。他心乎持事无久。異志支行爲寸事无久。　前に釋けり。

〔作例〕

結婚式祭祝詞

（神道結婚略式）

此乃眞床乎拂清米豆。奥山乃榊乃枝乎打折持來豆。神籬差立奉招里奉坐里豆。稱言竟奉留。掛巻毋恐支。高皇産靈大神。神皇産靈大神乎奉始氐。妹背乃道乎始給比志。伊邪那岐大神。伊邪那美大神。出雲國杵築神社爾鎭坐豆。嫁繼乃事乎掌給布大國主大神。須勢理比賣大神。及産土大神等乃大前爾。何某愼美敬比恐美恐美毋白左久。今度某宮爾仕奉留神職何某賀相議利豆。某神社乃氏子何某爾。某神社乃氏子何某我女某乎娶利豆。嫡妻登定米牟止爲留賀故爾。今日乃某月某日乎。生日乃足日乃吉日止撰定米豆。婚禮式行布止爲豆。持齋麻波里持淸麻波里豆。捧奉留禮代乃幣帛波。由紀乃御食。御酒波甕戸高知甕腹滿双氐。山野乃物波甘菜辛菜。青海原乃物波鰭乃廣物鰭乃狹物。奥津藻菜

邊津藻菜爾至留麻傳爾。如横山置高成豆奉留幣帛乎。安幣帛乃足幣帛止平久所聞食氐。夫妻乃契波如巖彌堅良加爾。如咲花移事無久令有給比氐。皇神等乃遠津神代爾定給比志事乃如久。左右乃違无久。赤支清支直支正支誠乃心持氐。相背加自相違波自止契合世約合世氐。家門高久廣久子孫乃八十續。如茂八桑枝令立榮給閉止。祈白須事乎。相諾給比相助給比豆。堅磐爾常磐爾。夜守日守爾護給比幸給閉止。鵜自物頸根突拔豆。恐美恐美毛稱言竟奉良久止白須。」

辭別豆白久。今嫡妻登定米牟某伊。女乃大道奈留操正志久爲氐。常爾言先立事不令有後事乎良。洩事無久落事無久。令掌給閉止。恐美恐美毛白須。」

結婚奏上祝詞

（神職必携）

此乃市町（鄉村）乃産土神登稱言竟奉留。掛卷毛畏伎何神社乃珍乃御前爾。職姓名。愼美敬比毛白左久。」百不足八十日日八雖在。今日遠吉日乃良辰刀撰定女天。此乃市町（鄉村）仁住留何誰伊。何國何郡何市町（鄉村）乃何誰乃女誰登。妹背乃盃結之豆。嫁繼乃式乎行布仁依天。禮代乃幣帛仁。御饌八和稻荒稻乎高杯爾盛足志。御酒八甕上高知甕腹滿並天。稱辭竟奉良久。現身乃世人八志文。皇神等乃事始給比志大道乃任仁。恪美勤米天。天仁日月在我如。國爾山川在我如。相匹比相並毘天。身乎文家乎文齊修米天。相應爾功乎立來類事乃起原乎窺奉禮奘。畏伎也天地乃始乃時爾。大御祖神乃御命以天。神伊邪那岐命。伊邪那美命。妹背二柱嫁繼給比。國乃八十國。島乃八十島。八百萬神乎生給比天。萬物乃蕃殖榮由倍久。掟給比事依志給比伎。」如此依志給比之任々。諸乃皇神等八。大御祖神乃神慮乎御心登志天。各々掌分坐御功績乃任爾。其事業乎受繼傳繼坐天。萬物遠成幸方給比伎。」故天乃益人彌益益爾蕃息利榮留。神長柄乃法乃任神習天。栲繩乃長久久。千代乃契約乎結堅天。氏名不穢祖名不落。家法傾事無久動事無久。六緒琴乎調合

世多留我 如久睦魂合比天。白玉乃眞白髮萬傳毛。壽命久務米締里天。
先祖乃祭乎絕受。家門高久廣久起左志米給比。子孫乃八十連屬乎毛。
五十橿八桑枝乃如久。令立榮給方刀。祈白須事乃由遠。平介久安介久
所聞食世刀。畏美畏美毛白須。」

結婚式祝詞

（大社教結婚式）

掛卷母恐伎。天之御中主神。高皇產靈神。神皇產靈神。天照大御神。大國
主神。產土神。諸乃宇豆乃大前仁。齋主職姓名。畏美畏美母白左久。」八十
箇日波在禮杼母。今日乎生日乃足日乃齋比定米弖。何子乃妹背乃盃
結之氐。嫁繼乃式乎行布仁依里。禮代乃幣帛。御饌御酒。海川山野乃種
々乃物乎。机代仁置足波之氐。稱辭竟奉良久波。古天地乃初乃時。天津
神諸乃命乃隨爾。伊邪那美命。妹背二柱嫁繼給比弖。國乃
八十國。島乃八十島。八百萬乃神等乎生美給比氐。萬乃物乃蕃息里榮
由倍支。事乃始乎定米給比支。」故御子神等。各毛各毛掌里分介坐須事

乃中仁毛。大國主神波。后神須勢理毘賣命乃相並毘氐。島乃崎々磯乃
崎々落受。國造里堅米坐氐。萬乃事乎始米給比。萬乃物乎作里給比氐。
今仁至留迄。宇奈賀計里氐鎭里座須。」故此乃惟神乃大道乃任仁。天仁
日月在留如久。國仁山川在留如久。夫婦相匹比相並毘氐。身乎毛家乎
毛治米。固米成寸倍支物乃。定禮留則乃隨仁。今某等我。新仁契里結倍
留毛。即氐大神等乃導支幸閉給布事乃奈毛尊美畏美仰支奉留。」故此
乃大前仁志氐。宇伎由比志誓比交志。拜美仕奉留事乃狀乎。平介久安
介久聞食志宇豆奈比坐志氐。夫婦二人相共仁。壽命長久務米締里氐。
祖乃名穢左受。氐乃名落左受。家門廣久高久起左之米給比。子孫乃八、
十連續乎毛五十橿八桑枝乃如久立榮衣志米給閇乃。畏美畏美毛白
寸。

誓詞、婿

掛卷母恐伎。皇神等乃大前爾。恐美恐美毛誓比奉良久。某伊某乃夫婦

嫁繼乃式乎行布刀爲豆。皇神等乃大前乎拜美奉里。堅米宇伎由比之豆仕奉良久波。惟神乃本教爾背久事無久。男女乃大道爾違布事無久。清支赤支誠乃心爾勤米締里豆。己我向々爲受。入紐乃同心爾。睦毘愛美都々夫婦二人我中爾。如何奈留憂事在里刀毛堪忍毘豆。相扶介相護良武。某波也男爾波在禮杼毛。汝乎置豆他心乎持事無久。異伎行乎爲須事無久。玉緒乃長久久。相背加自相違波自刀誓奉良久乎。若過犯須事乃有良武爾波。皇神等笥米給比罰米給閉止。白須事乎聞食世刀。恐美恐美毛白須。」

年號　月　日

誓詞、婦

掛巻毛恐伎。皇神等乃大前爾。恐美恐美毛誓比奉良久。某伊某乃妻刀爲里豆。嫁繼乃式乎行布刀爲豆。皇神等乃大前乎拜美奉里。契里堅米宇伎由比之豆仕奉良久波。惟神乃大道爾背久事無久。男女乃大道爾違布事無久。清支赤支誠乃心爾勤米締里豆。己我向々爲受。入紐乃同心爾。睦毘愛美都々夫婦二人我中爾。如何奈留憂事在里刀毛堪忍毘豆。相扶介相護良武。某波也女爾之在禮婆。汝乎置豆夫波無久。男波持受。束乃間毛節乃間毛。他心乎持事無久。玉緒乃長久久。相背加自相違波自刀誓奉良久乎。若過犯須事乃有良武爾波。皇神等笥米給閉刀白須事乎聞食世刀。恐美恐美毛白須。」

年號　月　日

爵位　姓名

姓　名

十一、入門、入營、就任、位、勳拜受等の祝詞
○入門、入社、入營、歸休等に關する諸祭

〔語例〕

表裏乃心有事無久。眞澄鏡乃曇無久天。　表裏一貫せざる心あることなく、眞澄鏡の如くに、心に曇なくて」となり。

皇孫命乃御面向仁順比奉里。　天皇の御政令に順ひ奉り」となり。

蟹我行久横佐乃道仁迷布事无久。　蟹の行くが如き横さまなる道に迷ふこ
となく」となり。
毛智鳥乃拘良比泥美氐。其方仁相廉自古里。　毛智鳥は、拘良比の枕辭。惡事
にかゝはり染みて、それに交り入りて」となり。
咲花乃匂布賀如久。眞盛仁成行久倍久。　咲く花の美しきが如に、眞盛りに
なりゆくやうに」となり。
志緩怠事不令在。末終仁。其名乎毛天下仁輝志天。　其の志緩み怠ること
あらしめず、末には、其の名をも天下に輝がして」となり。
某月日乎。吉日乃定米。學乃道仁入立牟乃爲氐。　始めて學校に入り、また、師
に就く時などにいへり。
學乃道。教乃則乎堅久守里氐。横左乃妄說仁語良波留々事无久。　聞
えたるが如し。
皇國乃大道乎貴美。大神等乃恩賴乎悦毘辱美天。　語の解、前にあり。
此乃教會仁入里氐。大神等乃御掟乃隨仁。國乃爲世乃爲爾。身乎盡志
心乎盡志氐。　聞えたるが如し。

外國乃異教乃徒我。伊邪乃言布乃乃毛。誘波留々事无久。　外國の異なる
宗教者が、いざ來れと誘ふとも、それに誘はるゝことなくとなり。
惟神直支正支大和心乃眞心仁。世乃涯里力乎盡左志米給閉。　前に解
けり。
此教仁偉志支功績乎令立賜比。害无久事无久。彌遠長仁令仕奉給閉。
此の教の爲に、偉大なる功を立てしめ給へ。災なく事なく、いよ〳〵長へに仕へ奉ら
しめ賜へ」となり。
大神乃常仁愛慈坐寸御氏子某伊。　大神が、常に愛し慈しみ給へる御氏子某
が」となり。
徵兵適齡仁氐。何師團何聯隊乃何兵仁召佐留々仁依里氐。　聞えたる
が如し。
今回天皇乃大命乎畏美奉里。兵役仁官乃召佐禮志隨仁。皇御國乃大
御楯乃爲里氐。　聞えたるが如し。
恐支大元帥陛下乃大御詔乃任々。　聞えたるが、如し。
常仁波軍律仁服比天。武支事乎能久習比。　平時には、軍律に服從して、武藝

をよく練習して」となり。

何年何月生禮出志與里。健全仁生立津々。既久毛今年廿歳刀云布歳仁滿知奴禮婆。最早、今年滿二十歳になりたれば」となり。

大朝廷乃定給比掟給比志。國憲乃任仁。朝廷に於いて、制定せられたる法規の趣旨に從ひて」となり。

國守留兵刀第何聯隊仁徴左禮氐。聞えたるが如し。

今親美睦閉留父母乎置氐。住慣禮多留家居乎離禮氐。首途世牟刀寸。只今、これまで親み睦びたる父母を置き、住み慣れたる家を離れて、門出せむとす」となり。

事有良牟時仁波。身毛棚知良受。大伴氏乃言立乃如久。事の起らむ時には、身をも忘れて、我が國の古への武將なる大伴の氏人の言ひしがやうに、云々せむ」と、下につゞくなり。

額仁波矢波立津刀毛。背仁波得立多自。進みて額には敵の矢を受くとも、退きて敵に後を見せ、背に矢を受けじ」となり。これ、上古の武人の志氣なりしなり。

大君乃邊仁古曾死奈米。閑仁波死奈自刀。大君の方へ、即ち天皇の事により、てこそ死なめ。心ゆるやかにして、天命を保ちて死ぬるやうのことをなさじ」となり。

燒太刀乃鋭心乎振起志氐。仕奉里奴可支皇兵士。燒太刀乃は、鋭の枕詞なり。鋭く武き心を振り起こして、朝廷の御爲に、必ず仕へ奉るべく見ゆる、皇國の兵士なり」となり。

雄々志支健支。敏心乃倭心以氐誓比津々。勇ましき武き、鋭き固有の日本人の精神を以て、神に誓ひ奉りて」となり。

家乎忘禮身毛忘禮。雄詰志氐出立知奈牟刀。家をも忘れ、身をも忘れて、雄々しく叫び勢づきて、出で立たんとす」となり。

某伊今毛往先毛。彌益々仁皇神乃御恩賴乎給波里氐。聞えたるが如し。

今與里後毛。生禮得志性質乃隨。伊與々々益々。清久明久直久正志支誠乃心以氐。今より後も、生れ得し性質のまゝに、彌々益々、清く明く直く正しき誠の心以て云々せん」となり。

軍乃道仁彌進仁進美。彌勤仁勤米氐。大支功乎立氐。親乃名乎世仁顯寸可久。聞えたるが如し。

兵士乃法乎誤事无久。軍隊乃道仁違布事无久。聞えたるが如し。

人草乃務刀仕奉留事乎。犯寸事无久過津事无久。人民の務として兵役に仕へ奉る事を謹みて、法を犯し過つことなく」となり。

五條乃勅諭乎愼美惶美氐。頭腦仁銘美。軍人に賜ひたる五條の勅諭をつゝしみ惶みて、頭腦中にきざみおきて勵み務めむ」となり。

此乃御神璽乎持齋比奉留任仁。大神乃和魂波身仁相預志氐。この御神札を身につけて、大切にして拜みまつるにつけても、大神の和魂(解、前にあり)は、某が身に相添ひ坐しまして」となり。

荒魂波某魂仁通波志氐。緩布事无久怠留事无久。大神の荒魂は、某が魂に通ひ入り給ひて、心を緩へ怠ることなく」となり。

萬乃勞苦仁毛打勝氐。習戰練兵乃雄々志久勇志久在良之米給閉。萬の勞苦に毛打勝氐。習戰練兵乃雄々志久勇志久在良之米給閉。聞えたるが如し。

朝日如寸目細志支軍旗乃照良左牟限。朝日の如くに、目に美はしく見ゆる軍旗の照らさむ限り、即ち軍旗を押立てゝ行かん先々まで」となり。

氷如寸劍眩久荒山乃嶮岨支坂毛。霰如寸彈丸打碎介氐。手走里氐漲落留川乃瀨毛。進牟心乎幸魂幸閉。氷の如く劍を拔き連れて進み、霰の如く彈丸の打碎けてたばしる、荒山のけはしき坂路にても、大水の漲りおつる急流の川にても、大神の幸魂を以て守り給へ」となり。

八重濤乃雪刀崩禮氐伊鳴寄留刀毛。空仁逆捲久暴嘯乃風乃怒里氐叫叱寄留刀毛。八重と重る波濤が雪の如く崩れて鳴り寄り來とも、空に捲き上ぐる疾風が怒り叫びて襲ひ寄るとも」となり。

軍艦乃大砲嚴速支活藥火乃。只管仁擊牟心乎。奇魂奇叱仁貫支徹左志米給比氐。軍艦の大砲の、嚴めしく速く烈しき、生き〳〵したる彈藥の火もひたすらに擊たむとする心を、奇魂(解、前に出づ)の奇しびに、貫き徹さしめ給ひて」となり。

事有留時波。伊都乃敏心振起志氐。大君乃御楯刀成里氐。一朝大事の起る時には、嚴めしく鋭き心を振り起して、大君の御楯となりて仕へ奉らむ」となり。

起臥乃間毛怠里弛牟事无久。其績成畢氐。喪无久事无久罷歸里奴可久。起臥の間も怠り弛む心なく、其の功績を成し畢へて、禍なく無事に家に罷りかへるを得むやうに」となり。

仕奉留年乃間波。病牟事无久障留事无久。軍人として、仕ふる年限の間は、病み障る事なく」となり。

往何年適齢乃撰仁徴左禮兵。何兵相勤米。聞えたるが如し。
軍規乃隨仁身毛棚不知。心乎盡志兵仕奉里。棚不知は、ただ知らずなり。他は、聞えたるが如し。

大御守札乎。夜日仁心乃楯刀持齋支津々。大神の御守札を、夜晝、心中の惡事をふせぐ楯として、大切に身にそへて拜みまつりつゝ」となり。
既仁三年乃期限毛滿奴禮婆。御暇乎賜里兵歸來禮留波。聞えたるが如し。

父母家人等我。朝仁異仁乞祈奉里志事乎。受給比諾給比兵。嚴速支靈驗乎蒙良志米給閉留仁古曾。かく無事にかへり來たるは、父母や家人等が、朝ごとに、皇神に乞ひ祈り奉りし事を、皇神のうけ納れ賜ひて、御威靈の貴き靈驗を蒙らしめ給ひしによれり」と感謝するなり。

全大神乃御恩賴刀。辱美謝毘仕奉留刀志兵。聞えたるが如し。
今由後。家業乎毛怠留事无久緩牟事无久。聞えたるが如し。
斯心乎失受放左受此譽乎墮左受損波受。この軍隊にありし時の心を、失はず離さず、この軍人として得たる名譽を、墮さず汚さずに」となり。

〔作例〕

神道大教院生徒入寮誓詞

（杉乃舍諄辭集）

神道大教院內仁鎭座坐須。掛卷毛畏伎四柱大神乃大前仁。姓名畏美畏美母誓比申左久。「某伊拙久劣支身仁波雖在。綾仁貴伎神乃御國仁生出。綾仁畏支皇乃御代仁生合比弖。我大神乃御敎乎貴毘奉里。其乃學爾勤之美仕奉良牟止。思比起志弖在禮婆。今日與里此乃學乃寮仁入兵。敎師乃敎育仁違布事無久。寮則仁背久事無久。同寮乃生徒止同胞乃如久親美睦毘弖。夜晝不言暑寒乎不厭。學業乎勉米勵美兵牟止爲留乎。不意母緩美怠里過犯須事乃有良婆。自仁母思得志米。人與里母告諭左之米弖。速介久悔改米志米給比。若萬乃一毛思悟留事無久。悔改牟留事無久波。忽仁打罰米給反止。誓比奉里勤美學夫仁依弖。遂仁業成里畢兵。大神乃道仁功績高久令立給反止。畏美畏美母申須。」

祈誓成業祝詞

（杉迺舍諄辭集）

掛卷母畏伎。大神乃御前乎。慎美敬比拜美豆畏美畏美母白左久。」某伊賀氣無禮杼。何々乃事成牟止思留事無久撓牟事無久。勤美勞麻久波爲禮杼毛。大神乃御守爾依受天波。事成難麻志止思里豆。雖畏大神乃御前仁願奉誓奉留狀乎。平久安久聞食志豆。奇支御靈乎幸波閉給比。過都事無久障留事無久。事成志米功立志米給比。國乃御爲大君乃御爲止母成世給比。又家門廣久起志米給比。其乃名乎母風音乃遠々仁令聞給閉止。畏美畏美母白須。」

入門式祝詞

（堀秀成祝詞文集）

懸卷母恐支。稗田命。太朝臣命。舍人親王命。幷荷田宇斯。賀茂宇斯。本居宇斯諸乃大前爾。稱言竟奉留。」我皇大御國乃上津代波志母。世人乃心表裏乃逆心有事無久。清支赤支眞澄鏡乃曇無支心爾奈母有流。」然禮波皇美麻命乃大御面向爾順比奉理。種々乃取行布業乎母總氐古事乃例爾倣比豆。神隨爾安介久平介久在氣流。三栗乃中津代爾至豆。蟹我行橫佐乃道乃參渡來豆。內日刺都乎始米。天放比那乃野山爾至麻豆弘理豆。皇大御國乃古事乃廢爾之加波。自良民乃心母加多美行。他國乃橫佐乃道乃時米久爾。毛智鳥乃拘良比泥美豆。其方爾相麻自古理相口會豆。佐賀無支心。曲太流心持太流人多爾成行豆。禍神乃禍事曾於保久交太流。」故今乃世爾在豆者。一人太爾古乃廣支正支貴支高支。眞道乃學問爾令面向豆。大御神等乃道波。咲花乃匂賀如久。彌盛爾眞盛爾成行閉久。專力乎盡須閉支時爾奈母有流。」然爾某伊。自今大御神等乃道乃學問乎伊曾志麻牟止爲乎。大神等守護給比豆。其志緩忘事不令在。末終爾其名乎天下爾輝須麻豆。功績高久立志米給閉止。畏美畏美母申須。」

同上

（阿夫利神社祝詞集）

掛卷母畏伎。學神止齋奉留八意思兼神。忌部神。菅原神。及荷田大人。岡

部大人。本居大人。平田大人等乃御前乎。門人姓名畏美畏美毋白須。」今日何年乃何月何日乎吉日止定米。學乃道仁入立牟止爲豆。畏久毋大神等乃御前仁誓約乎立豆。權田乃翁爺乃教子止成里豆。從今後波日仁異仁勉勵牟止爲留乎。神隨毋憐美賜比愛賜比豆。學乃道教乃則乎堅固久守里豆。橫左乃妄說仁侵入良流々事無久。令得勤令得學給閉止。祈奉留事乃由乎平氣久安氣久聞食世止白須。」如此仕奉留人等。此乃誓乃詞仁違布人波。大神等乃速介久罰米給閉止。畏美畏美毋白須。」

信徒入社式祝詞

（天理教祝詞集）

掛卷毋畏伎天理大神乃大前仁。教師職姓名愼敬比恐美恐美毋白須。」此度何國何郡何村大字何奈留某。大神乃御功德乎慕比奉里。教祖乃大教乃旨乎畏奉里豆。吾我尊伎教乎受氣。斯乃道仁入立牟止請祈奉留。心乃切那留仁依里豆。定禮留儀式乃隨。今日志毋入社式行波牟止。

禮代乃幣帛捧奉留狀乎。平氣久安計久聞召志豆。今日與里後波。身毛剛健仁心毋安穩仁在良志米給比豆。大神乃御幸乎蒙良志米給反止。畏美畏美毋白須。」

信徒入社誓詞

（同上）

掛卷毋畏支天理大神乃大前仁。恐美恐美毋白須。」已劣伎身仁波有禮止。大神乃御功德乎慕奉里豆。某教師乃教導以氏。教徒乃群仁入立知。今日其儀式仕奉終奴禮婆。今與里後波。大教乃隨行勵美豆。世乃事。家乃業仁勤勞伎。教旨仁露違波自止。大前仁誓詞白志奉良久乎。憐止聞食志豆。諸乃過犯志計牟事波。見直志聞直志給比。世乃忠人。世乃幸人多良志米給反止。恐美恐美毋白須。」

軍人入營奏上祭祝詞

（神職必携）

此乃市町（鄉村）乃產土神刀稱辭竟奉流。掛卷毛畏伎何神社乃御前仁。職姓名畏美畏美毛白左久。天地間爾二無久尊久愛伎。細矛千足皇國

仁生出志人八也。誰加八君爾忠實奈類心乃無加留可伎。孰加愛國心乃無加留可伎。其我中爾。大神乃御氏子(信徒)多留何町(村)大字何乃御民何誰伊。掛巻毛畏伎天皇尊乃大勅命以豆。今回兵仁徴衣多留八。殊爾大丈夫刀生出志甲斐爾志豆。雄々之刀毛勇志登母。此上無伎譽那里計利。是禮父母乃教方養世流眞情乃積里多類爾毛在流良米杼毛。專大神等乃夜乃守日乃守爾。守幸方給比天。身體健全爾精神雄々志久在志米給方留。恩賴仁奈毛依禮里介流。此狀乎見行須神心仁波。然古曾嬉刀思保須良米。然古曾樂刀思保須良米。」故父母母何誰(軍人名)母勇躍里天。某日仁發途天。某師團(某鎭守府)仁參向牟刀須。」爰乎以天。今日乃此日仁祈乃禮代刀。御饌御酒乎捧持天。此旨奏上奉里拜奉羅久乎。天晴登所聞食愛止所聞食豆。某師團(某鎭守府)爾參入天婆。素與里乃心乃儘爾。畏在禮杼。明治十五年爾仰世給比宣世給比之五條乃勅諭乎愼美惶美天。頭腦爾來住米留魂波二無志登。兎仁文角爾文唯一

至誠乎以天。直久正久守里行志米給比。此御神璽乎持齋比奉類任爾。大神乃和魂八其身仁相預志豆。病志伎事無久煩之伎事無久。千々乃辛酸爾毛打堪倍天。城門乃岩垣堅石仁常石爾在良志米給比。荒魂八其魂仁通波志天。緩布事無久怠留事無久。萬乃勞苦爾毛打勝天。習戰練兵乃。雄々志久勇志久在良之女給比。若緩急有良牟仁八。朝日如須目細志伎軍旗乃照良左武限里。假令千萬乃賊奈里刀毛。捕天止武刀言建天。嚴乃雄建毘勇美建毘天。山往加婆草生屍刀。氷如須劒眩久荒山乃嶮岨伎坂毛。霰如須彈丸打碎計。立走里天漲里落留川乃瀨毛。進牟心乎幸魂幸方座天。劒太刀身毛唯知羅爾。先登乃武伎功遠毛成左志女給比。海行加婆水漬屍刀。八重濤乃雪登崩禮天伊鳴寄留登毛。空爾逆捲久暴嘯乃風爾怒里天叫毘寄留登毛。軍艦乃大砲。嚴速伎活藥火乃只管仁。擊牟心乎奇魂奇毘仁貫伎徹左之女給比豆。二無伎皇國乃御威光乎之。萬國爾毋打照良志。勝闘乃聲高々爾。天皇尊乃大稜威

乎海外迄毛顯揚奉里。任命乃隨々爾事竟天。蘇下爾。一早久報命上奉里。大御依爾副方奉里。高伎譽乎身爾負比天。御暇賜里父母乃家爾還里天。共共爾報賽乃禮言乎。鋭久仕奉羅志米給方登。愼美恐美拜美豆白須。」

奉祈徴兵安泰祝詞

（阿夫利神社祝詞集）

掛巻毛畏支。阿夫利大神乃御前爾。謹美敬比畏美畏美毛白寸。」國郡村某。今回大君乃徴乃隨爾。軍人斗爲里豆仕奉禮婆。身波安久心波直久勤締里豆。軍令爾違事無久背事無久。恚無久仕奉里竟之米賜反斗。願奉留事乃由乎。神隨毛所聞食賜比豆。何某我身波。朝毛夕毛壯健爾國守留。軍術斗豆鐵砲發業。太刀振業乎始米。陸行事爾至迄。學布賀隨爾甘良爾得。習布賀隨爾曲良爾悟里豆。事有良牟日爾波。味方一人爾百奈人。額爾波矢波立津止毛直久正之久。忠々之久功之久。君乃御楯國乃守里止令成賜比豆。任期乃年月。喪無久事無久仕奉里。幸久眞幸久家居爾令歸賜反斗。乞祈奉良久乎。御阪爾立留梓杉乃。彌高爾所聞食諾比賜反斗。平手拍上豆。畏美畏美毛白須。」

（祝詞全書）

徴兵滿期報賽祝詞

此里乎領坐何大神乃御前爾。神職某畏美畏美毛白久。」產子何某伊往明治何年適齡乃御撰爾徴禮氐。第何師團第何聯隊何兵相勤米。御則乃隨爾身毛棚不知心乎盡志氐仕奉里。既爾三年乃期限毛滿奴禮婆。御暇乎賜波里氐。無害無事今日志毋歸來禮留波。全大神乃御恩賴登辱美謝比仕奉留止志氐。奠留御酒御饌。雜々物乎。平介久安介久所聞食天。今由後家業乎毛怠留事無久緩牟事無久。勤結里。彌榮爾令立榮賜閉止。畏美畏美毋白須。」

（神職必携）

軍人歸休報賽祝詞

此乃市町（鄉村）乃產土神乃稱辭竟奉留。掛巻毛畏伎。何神社乃珍乃御前爾。職姓名畏美畏美毛白左久。」威伎大神等乃愛美給比撫給方留。何

兵(勳等)何誰伊。前年徴衣天第幾師團(某鎮守府)仁參向比多里伎。」其時志毛種々仁聞上奉里。取々爾乞祈奉里志我如。五條乃勅諭乎。旦爾夕爾心乃衛刀持頂伎大御印札乎夜爾日爾心乃楯刀持齋伎都々。海爾陸爾年普久千乃辛酸爾勝。萬乃勞苦爾堪邊天。勤八伎仕奉禮類隨仁。天晴建豆仁志其名顯波志之。其功乎眞心乃赤伎錦刀身爾佩比弖。今志命眞曾計久歸來志八。畏伎大元帥陛下乃大御稜威爾賴類。軍人乃勳爾波在禮杼。是父母家人等我。朝爾異爾乞祈奉里志事乎文。受給比諸給比天。嚴速伎靈驗乎蒙良志米給方類爾古曾刀。畏美尊毘奈母仰奉留。」故御饌御酒乎机代爾獻里。何々(旗、額又八何々記念乃何々)乎禮代刀成志天。今日乃良日爾報賽乃禮言仕奉良久乎。美八之刀所聞食可怜刀所聞食天。彌々益々大元帥陛下乃大御代乎。手長乃御代乃厳御代登幸反奉里。軍人乃家乎母身乎母。彌榮爾榮之米給比。斯心乎失受放左受。此譽乎墮左受損波受。遠久永久子孫乃珍寶登持頂伎可美畏美畏美母白須。」

○奉職、及び、位、勳拜受奉告祭

〔語例〕

皇朝廷乃大命乎畏美奉里。某官乎任乃隨仁。朝廷の命令に畏れ從ひて、某官を任ぜられたる、そのまゝに勤務す」となり。

天皇乃愛給比慈美給布公民諸乃。憂仁先立知氏憂比。樂美仁後禮氏樂牟事志。官人乃掟奈里。天皇の慈愛し給ふ天下人民諸の、憂ふる所に先立ちて之を憂ひ、樂には、後れて之を樂まむとするは、官吏たるものの定規(掟)とすべきことぞ」となり。

某伊卑久拙介禮杼毛。今度大神乃何職仁任良禮氏。某こと、卑しく拙き身なれど、このたび大神に仕へまつる何職(社司、社掌)に任ぜられて」となり。

赤支清支心乎以氏今日與里始米氏御前乃事取奉里氏。赤き心、清き心を以て、今日よりして、大神の御前に奉仕する事務を取り行ひ奉りて」となり。

朝夕仁怠情事无久。晝夜仁猶豫事无久仕奉牟刀。　朝な夕なに怠ることなく、夜も昼もためらふことなく、仕へ奉らむ」となり。

皇神乃尊久正支大道乎押廣米。天下乃人民乎教導支　皇神の殘し教へ給へる尊き正しき大道を押し擴め、天下の人民を教へ導かん」となり。

御氏子乃眞名兒乎預里。日仁異仁書等說教閉。文字書習波志米。　聞えたるが如し。語の解前に出づ。

君乃御爲國乃御爲刀。各自勤米勞支仕奉留教乃道。　聞えたるが如し。

教布留隨仁令受得米。聞我隨仁令覺得米氐。生徒等をして、教ふるがまゝに受け得しめ、彼等の聞くがまゝに、覺り得しめ給ひて」となり。

教布留道乎誤津事无久。聞受留事乎違布留事无久。傳令得受令得給閉。　教師は、教ふる道を誤たず、生徒は聞き受くることを違へず、よく生徒に傳へ、よく教師より受け得しめたまへ」となり。

某伊何乃功績爾依天。勳何等乎授介良禮。何乃勳章乎賜波利之。　聞えたるが如し。

某伊年麻禰久其職爾勤美仕奉禮流禰依天何々乃位爾叙天良禮多利　某が多年その職務に勤勞せし功勞により、此の度何位に叙せられたり」となり。

此乃如支名譽乎得。幸福乎受多留波。常爾大神乃守護惠美給閉流。御恩賴爾依禮利止嬉美辱美天。　かゝる名譽と幸福とを得たるは、まだ大神の守り惠み給へる、御恩賴に依れりと、心中に嬉しく辱くおもひて」となり。

〔作例〕

官吏奉職奉告祭祝詞

掛卷久母畏伎某大神乃宇豆乃大前仁。愼美敬比恐美恐美母白佐久。」

某伊天皇乃廣伎厚伎大命乎畏美奉利。官乃任乃隨仁。何官承賜利天。

大神乃敷座須此里仁參入罷出。御政執持天。日仁異仁務米勤伎仕奉。

良久波。天皇乃愛給比慈給布公民諸乃。憂仁先知天宇禮比。樂仁後禮

天多奴志美。任官乃保抒保抒仁力乃加岐利。心乃伎波美。盡志仕奉良

武事乃由乎。受宇豆那比給比旦。拙久男道無伎身乎。惠給比幸給比助

給比天。今日與利始天。預禮留公民仁凶事無久。春乃海川波平久。秋乃

（祭文私稿）

山野風穩之久。恠怜仁委曲仁治米之米給反止。清久明伎心乃。禮代乃幣帛捧奉利天。恐美恐美毋白須。」

郡市町村長。新任奏上祝詞

（神職必携）

掛卷毋恐支。何神社乃宇豆乃御前爾。勳位姓名（爾代里豆職姓名）愼美敬比毋白左久。」某伊甚中間奈留身爾之在遠。今回畏久毋朝廷乃御命以豆。此何郡（市町村）乃長爾任良衣奴。」故先御前遠拜美奉里。此由奏上奉良久遠。廣良爾厚良爾所聞食豆自今以後。任命乃隨爾。千章乃政事。正久美久萬條乃法律。過事無久違事無久。大皇國乃幸福彌增爾增重年。公民乃利益彌興爾引興須倍久。輔翼比贊助介給幣登。」禮代乃物捧持豆。愼美敬比毋白須。」

神職拜命奉告祝詞

（祭文私稿）

此乃何神社仁鎭座須。掛卷久毋阿夜仁畏伎。某大神乃大前仁。姓名恐美恐美毋白佐久。」身賤劣久心拙愚伎某等我。最毛尊伎大神乃伊豆乃御殿仁仕奉良武波。貢氣無久畏伎和邪仁波有禮杼。廣伎厚伎天皇乃大御言乎畏美奉利。任乃隨仁今年某月某日。某職乃仰事承賜利都禮波。今日與利始天。御殿仁參入利罷出。事執持知天。力乎盡志。心乎凝之豆勤美勞伎仕奉良久乎。宇豆那比給比天。不意犯伎武事共乃有良武乎婆。神直日大直日仁見直志聞直志萬之天。長久久志久喪無久事無久仕奉良之米給反止。恐美恐美毋白須。」

教員就職奉告祝詞

（祭文私稿）

此里乎領坐須。宇夫須那大神乃大前仁。愼美敬比畏美毋白佐久。」某伊官乃仰事承賜利天。何學校乃教員止爲天。今日與利始天。大神乃愛給比慈給反留。御氏子乃眞名子等乎預利。日仁異仁書等說教反。文字書習波之米。緩夫事無久。怠留事無久。彌伊曾志美仁勵美伊曾志美。彌志萬利仁都止米志萬利仕奉良久乎。慈之愛之止所聞食受宇豆那比給比天。教乃業仁過都事無久。學乃道仁違布事無久。保杼保杼仁功

立天之米。此學校乃生徒等乎蟻絹乃有乃古止碁登。阿怜仁乎之反導伎比多志竟反之米給反止。禮代乃幣帛捧奉利天。恐美恐美母白須。」

（祭文私稿）

議員當選奉告祝詞

掛巻久母畏伎。宇夫須那大神乃大前。及八意思兼大神。天津神。國津神。八百萬乃大神等乃大前仁。恐美恐美母白佐久。」阿那加之古。姓名伊。常仁大神等乃大御心仁母副比介良之。衆乃人乃心母於乃豆加良相合比天。今度何會乃議員仁奈毛。撰出佐禮奴留。故今日之母其事奉告良久斗。大前仁幣帛進利。宇豆乃玉串乎捧持知天。伊波比拜奉利。禱白之誓白佐久。」現身乃世間乃人止云布人波。心乃佐止利毛智乃波多良伎毛。於乃我自志其限之有禮婆。不意母過知天八善事乎悪事止思違反。悪事乎善事止考謬留事母多加里奴可之。阿波禮。大神等乃廣伎厚伎大御惠以天。今與利後。某我議員乃席仁起知天議良比論波武事乃限里。其眞心仁背久事無久。私乃心乎去利天。事等盡公明仁。相議利相論波之米給反止。恐美恐美母白須。」

（祭文私稿）

勳位拜受奉告祝詞

宇夫須那大神止以齋久。掛巻久母畏伎某大神乃大前仁。恐美恐美母白佐久。」大神乃常仁手抱久我吳斗撫給比慈給反留。氏子乃姓名伊。今度何乃伊佐乎仁依利天。曩仁皇我朝廷興利。何々乃勳章賜波利。今年此月乃今日乃何日。何々乃位記乎奈毛下給波里伎。」故此乃如伎幸福斗名譽斗波。毛波良。大神乃廣伎御惠。厚伎恩賴仁依留事止。嬉美尊美忝美奉利天。今之毛。大前爾禮代乃幣帛進利。宇豆乃玉串乎擎持知。伊波比拜奉良久乎。平介久安良介久聞食世止。恐美恐美母白須。」

（祭文私稿）

神職忌中奏上詞

某神社仁鎭座須。掛巻久母畏伎。某大神乃大前仁。姓名恐美恐美母白左久。」大神仁仕奉禮留某伊。死禮留人乃穢仁依利天。大前乎忌憚利。今日與利喪屋仁忌籠利天。諸乃事乎忌美愼美天在禮婆。定禮留御掟乃

日數經牟萬傳劣久拙伎身仁波有禮杼。己某。代利天仕奉良武止須留事乃由乎。枝宮枝社乃大神等止共仁。相宇豆那比給反止。恐美恐美母白須。」

忌明奏上詞

（祭文私稿）

此乃何神社仁鎭座須。掛卷久母畏伎。某大神乃大前仁。恐美恐美母白左久。」先仁己姓名伊。死禮留人乃穢仁依利天。大前乎忌美畏美天。喪屋仁忌籠利天。月廻禰久。日廻禰久。得仕奉良受愼美天有利介留乎。既久定禮留日數來經往伎津禮婆。今日奈母忌服磯爾脫棄。速川乃清伎河瀨仁降潛伎天。身滌祓比之天。須賀須賀之伎身仁之成禮々婆。又更仁。大前仁參出侍良比仕奉良久乎。宇豆那比給比。足引乃山下。本乃如久仰伎伏津々伊曾波伎仕奉良之米給反止。恐美恐美母白須。」

十二、疾患、厄年、方違、年賀等の祝詞

○病氣平癒祈請の諸祭事

〔語例〕

大神乃廣支厚支恩賴乃蔭仁隱呂比。心安久轉樂久在留中仁。解、前にあり。轉樂しくは、樂しき止にも樂しきをいへり。

是乃何乃里奈留何某伊。往志何年何月乃頃與里病仁犯左禮。聞えたるが如し。

此何月與里病仁罹里氏心地不例日乎經仁介里。聞えたるが如し。

草包病乃床仁臥氏。篤痴惱牟事彌益仁成里氏。草包は、病の枕辭なり。病床に臥して、病重りて惱むこと、いよ〳〵苦しくなりて」となり。

何某伊。近頃何乃病仁瘁氏熱加比悶閉苦牟我故仁。瘁は、醉ひつかれたる如きをいふ。熱加比は熱に惱むことなり。他は聞えたるが如し。

人々憂吟比氏。醫藥禁厭乃術何久禮仁。夜半乃曉乃无久。心乎盡志力乎竭志氐有禮杼。人々憂ひ迷ひて、醫藥禁厭の術、何やかと、夜も晝も、心身をつくして有れども」となり。

醫藥乃驗毛不著波。過犯志介牟罪咎有里豆。大神等乃御心仁背支違閉留仁也有良牟　醫藥の効験も著れぬは、定めしこの人に過ち犯したる罪咎ありて、大神等の御心に背きたがへる事のあるならむ」となり。

平素波健康奈禮杼。然須賀仁年高支齢仁志有禮婆。いつもは健かなれども、しかし年を重ねたる老年のことであれば」となり。

親族家族憂歎加比詮術乃手段乎知良仁。　親族家族も心を痛め、なさむ手だてを知らずして」となり。

若支壯士乃如久。起臥毛意乃如久成良禰婆。　年若き人の如くに、起臥も意のやうにならねば」となり。

日仁異仁重里天。二無支命左閉危久成往介禮婆。　病が日ごとに重りて、二つとなき命さへ危く成り往きてあれば」となり。

一向仁大神等乃御恩頼乎被里奉里氐志。此病波可癒物叙乃。かゝる重患故に、専ら大神等の御恩を蒙りてこそ、此の病は癒ゆるならめとおもひて」となり。

乞祈奉留趣乎。阿波禮刀看行志。伊斗志刀聞食志給比氐。　祈り奉ることを、あはれと御覧じ、愛しと聞き給ひて」となり。

障爲世留邪物乃在良牟仁波。遠久長久退介給比。　障りなしてある邪物などあらば、遠く長く追ひ退けて給へ」となり。

再比惱萬寸事无久。藥乃効驗炳然久有志米給比。　二度と邪物の惱ますことなく、薬の効験著しくあらしめ給へ」となり。

某我身仁在留病乎婆。山端仁殘禮留雪乃。春乃日影仁消由留我如久。　某が身にある病をば、山のはたに消え殘りてある雪の、長閑なる春の日光に消ゆるやうに失ひ除き給へ」となり。

玉緒永久生緒久仁立榮志米給比。親族家族乃心乎毛。安米給比足波志米給閇刀。　玉緒、生緒は、共に命のことなり。命長久にて立ち榮えしめ給ひ、親族家族の心をも安めて満足せしめ給へ」となり。

乞祈奉里志毛効久。一早久病治里。最毛健全仁世渡乃道乎營美津々在留波。　先に祈願せし効験も著くて、直ちに病氣いえて、最も健かになりて、世わたりの道を營みてあるは」となり。

一向仁大神等乃御威稜仁奈毛依禮里介留。　前に解けり。

夜毛日毛安支事无久。朝毋夕毛休毛布事无久。悩美苦　来留波。尽夜共に安きことなく、朝夕も止み間なく、悩み苦めるは」となり。

千早振荒夫留神乃御心加。禍津日刀云神乃禍事加。前に、解けり。

奇志支醫方毛効不有。妙奈留禁厭方毛験无久。聞えたるか如し。

荒夫留神乎婆和米。禍志支神乎婆鎮米賜比氐。前に、解けり。

醫薬禁厭乃効験灼然久。速仁邪氣乎拂比。毒乎除支。聞えたるが如し。

苦瀬乎救比。苦悩乎助介。神魂乎安鎮米。病人の苦しき瀬(=場合)にあるを救ひ、その苦を助けて、その魂を安んじ鎮め給へ」となり。

遂仁波世乃長人。世乃遠人刀令在賜閇。前に、解けり。

疎夫留者乃率里加。荒夫留神乃崇里加　前に解けり。

漸々仁太甚志久。遂仁癲狂志久泣怒罵里。或波物憑乃如久馳走里。

だん〳〵に病勢甚しく、遂に狂人のやうに、泣き怒り、罵り、或は物のつきたるやうに馳せありき」となり。

或波名立多留醫師乎乞比。或波宅地仁所祭神等。及産土ノ神仁乞祈奉里。　或は有名なる醫師を招き、あるは屋敷内に祀る神等や、産土の神に祈願して」となり。

近隣乃人等仁至留迄仁。心乎痛米訪来氐。此所乃佛古曾靈驗著介禮。

彼所乃僧古曾行高介禮奈杼。頻仁言勧禮杼。　こゝの佛に祈れば靈驗いちじるし、彼所の僧侶は修法にすぐれたれば、頼みてはいかにと、近隣の人等の、見舞ひして言ひ勧むれども」となり。

此乃頃。何々刀謂布怪志支疫病起里氐。人乎仆寸事不少刀。風音乃遠音仁聞志乎。　この頃、何々といふ名の流行病ありて、人を仆れしむること多しと、人の噂にのみ聞きたりしを」となり。

外國與里移里渡里来志疫癘刀云布病波志毛。　聞えたるが如し。

此乃間波。鳥我鳴久東路仁傳里。蟹我行久横濱乃邊仁流行利氐。　鳥我鳴久は、東の枕詞。蟹我行久は、横の枕詞なり。かく、地名の上に、枕詞を置くこともあり。

或波一時二時仁志氐命失世。一日二日仁志氐身死奴。　此の病にかゝれば、最も烈しきは一二時間にして命を失ひ、軽くとも一日二日わづらひて死ぬ」となり。

穴恐加毛。穴醜米支加毛。此病乎煩閇留者波。旦波夕乎不待。今日波明日刀毛不言身退奴留。あゝ恐しきことよ。あゝきらふべきことかな。此の病を煩へる者は、朝にかゝりて夕に死に、今日かゝりて、明日をも待たず死ぬ」となり。

この病は、猛烈といふべきか。殘酷といふべきかたとへて言はん方なし」となり。

爰仁。此乃里内乃者等。其病乃襲來牟事乎畏知恐禮氐。爭豫防牟由毛賀奈刀。今日與里始米氐七日乃間。臨時祭仕奉良久。こゝに、この町村内の人々、其の病の襲ひ來むことを恐れて、いかにもして、あらかじめ豫防せむ方法もあれかしとて、今日より七日の間、臨時の御祭を仕へ奉りて、神助を乞ひ奉る」となり。

我御社仁參出來氐。鳴弦術乎修行比。大御幸乎乞奉里氐與刀乞出多里。氏子信徒共、我が社に參り來て、引目の術をもつて疫病退散の御加護を乞ひ奉りてよと、神職われに乞ひ出でたり」となり。

活弓矢乎。天乃鹿兒弓。天乃羽々矢刀取持知。活弓矢といふは、命長く生くべき德ある弓矢の義なり。さて、其の生弓矢を、天の鹿兒弓、天の羽々矢共に神代に神の用ひ給ひしものなり」として、手に取りもちて」となり。

嚴乃雄詰踏武毘弓腹振立氐。大御床毛轟仁踏轟志。嚴めしく雄々しく叫びて足踏みをなし、弓末を振り立てゝ、御殿の御床も、とどろと鳴るほどに、踏みとどろかし」となり。

荒毘疎夫留物乃祟南良牟仁波。引鳴寸弓弦乃音仁壓鎭米志米賜閇。此方に荒々しき行ひをし、此方を疎じて禍する妖神の祟にてあらば、引きて鳴らす弓弦の音にて、その妖神を壓し鎭め給へ」と祈るなり。

物憑奈良牟仁波。射放津矢先仁。忽射殺介志米給比。もし、この病が、妖神の憑りたるならむには、射放つ矢の先に、忽ちにその妖神を射殺さしめ給へ」となり。

癲狂奈良牟仁波。此術乃功德乎以氐。疾久魂乎鎭米。心穩仁有良志米給閇。此の術とは、引目の術をいへり。他は聞えたるが如し。

海離流西洋與里。何々乃謂布暴疫乃邪氣乃傳染留事波。野風乃草葉仁觸留々我如久。海離流西洋與里參渡來氐。聞えたるが如し。

何々乃港仁流行禮里乃。重波乃重々仁聞衣計里。重波のは、重々の枕詞にて、重々とは、度々かさねゝといふに同じ。

其邪氣乃傳染留事波。野風乃草葉仁觸るゝがやうに速かなり」となり。

某病乃暴劇支事波。暴風乃右左乎揺久我如志。聞えたるが如し。
人草乃之我爲苦惱美。命乎失布者夥志。人々の、その病氣の爲に苦み惱みて、命を失ふもの夥しく多し」となり。
風音乃遠音仁聞久陀仁悲志久。慨支事仁奈毛。語の解、前にあり。
漸次仁近支隣乃村里仁毛。入初米淮刀言騒久。やう〳〵に、近き里の村里にも、惡病が入り初めたりと言ひて人々の騒くよ」となり。
故豫仁。其乃邪氣乎防支止米牟刀爲留仁。故に、未だ來ざる中に、其の邪氣を防ぎとどめむとするに」となり
大神乃神幸乎乞奉留與里。外仁良衛奈毛不有介留。神幸とは、神の御助をいへり。他は聞えたるが如し。
大神伊。常與里殊仁高久貴久健久嚴志支。大御稜威乎振起志賜比氏。大神よ、平常よりも殊に、高く貴く武くいかめしき御威徳を振起しあらはし賜ひて」となり。
此乃邪氣乃來牟道爾。立塞待防支坐天。速仁其乃勢乎挫支其乃荒毘乎止米給比。此の邪氣の來らむとする道に、立ちふさがりて待ちふせぎ給ひて速にその邪氣の勢をくじき、その荒びを止め給へ」となり。
汝命乃大御稜威乎以氏。彼怪志支病乎。千里乃外仁逐退介給比。聞えたるが如し。
現支青人草等賀彼病仁觸留々事无久。現世にある人民等が、彼の惡病にかゝることなく」となり。
見霽志坐寸四方乃國內仁波。襲來留事无久。大神の見照らし給ふ四方の國の內には、惡病の襲ひ來る事なく」となり。
諸人乃身體乎安久。心穩仁令有米給閇。聞えたるが如し。

〔作例〕

祈癒病祝詞（他村ニ病アレドモ其ノ村ニハ無キ時ノ祈ナリ）

（祭文例）

掛毛畏伎。吾大神乃大前仁。恐美恐美母白久。此頃四方乃里々仁病起氏。人多仁惱氏失奴留毛數多有乎。此村波之母吾皇神乃敷坐里止。神隨恩賴乎幸閇給布里仁之有禮婆。平久安久有經事乎尊比喜比。今毛彌益々仁守給比幸閇給氏。村乃內仁波。諸病不令有。氏子等我心

毛安久。轉樂久守給幸給止。今日乃生日乃足日仁。禮代乃幣帛乎捧持
氐。恐美恐美毋。稱辭竟奉良久乎。平久安久聞食登白。」

同上

（同　上）

掛毛畏支。吾大神乃大前仁。恐美恐美白久。」此里波之毛。吾大神乃鎮
坐氐。神隨靈幸坐氐。浦安伎樂伎里止。氏子乃諸人等
喪無久事無久有經之乎。頃日村内仁病起氐。人多仁失奴。此乎思布仁。
吾大神乃。氏子等乎守給比幸給布。高伎貴伎恩賴乎被里氐之。此病波
可止登。恐自物思議氐。」今日乃生日乃足日仁。禮代乃幣帛乎捧持氐。廣久
厚久稱辭竟奉狀乎。大神乃御心仁平久安久聞召止白。如此仕奉仁依
氐。從今後波。村中仁此病保毘許留事無久。惱牟物乎婆速久癒給比直
給比氐。堅石仁常石仁命長久。夜守日守仁守幸給閉登。恐美恐美毋白。」

同上

（願主ヨリ祖ミ來ル時ニ用フ）

（同　上）

掛毛畏伎。吾皇神乃大前仁。畏美畏美毋白久。」某國某郡某里人何某伊。
某病有氐。月日佐麻禰久病臥世里。故是乎以天（祭主名）仁事議氐。雖畏
吾皇神乃大前乎齋奉氐。蒼生乎惠給布恩賴乎乞祈奉牟止爲氐。今日
乃吉日乃吉時仁。禮代乃幣乎捧持氐。恐美恐美毋稱辭竟奉良之牟。掛
毛畏伎皇神。此狀乎平久安久聞召氐。何某我惱牟病乎。速仁直給癒給
比。堅石仁常石仁命長久。夜守日守仁守給幸給止。畏美畏白。

松前修廣病癒祈禱祝詞

（諄辭集）

掛卷母畏伎。我大神二柱命乃宇豆乃御前爾。祠官本居豐穎。畏美畏美
母白佐久。從五位勳三等子爵松前修廣伊。去年乃秋病發里豆惱美多
里之毛。醫藥乃効有豆癒意禮留爾。今年七月其病再發里豆惱美苦米
利。其病乃狀甚輕加良受奇志支狀那留乎以豆。今世爾其名聞由流醫
師等毛。癒之治米牟方乎知良受。術盡豆思比惱米利刀云布。故是以足
知禰乃母刀自。祖母刀自波云母更奈利。親族家人等。云牟術知良爾爲
牟術知良爾和備豆。今波一向爾神乃恩賴乎乞祈奉留外非自止。我大

神爾禰藝奉良牟事乎請閉里。故頃日日毎爾乞祈奉里都々在留效爾加有良牟。病乃狀少之變里豆。重伎奈賀良毛。又治米直佐牟道有留狀爾。醫師毋且々言閉里刀聞久。安波禮現身乃病波之毛。甚思乃外那留物爾之豆。人乃力乃爭比得倍伎物爾波有良禰杼。修賡伊。麻太廿四刀云布壯乃年爾志豆。祖母爾母爾。夜毛伊乎寢須。思比惱米留事狀波。大神乃大御慮爾毛。安波禮哀之刀見給布良牟乎。伊加傳大神乃深支御惠以豆。助給比救給比。若禍神乃崇里障禮留事等有良婆。速氣久攘比退氣給比。若家人等賀過犯世留罪事有良婆。神直日大直日爾見直之聞直之給比豆。醫師賀治米牟其術爾驗有良志米。今與利後乃餘能春秋乎竟志米給閉止。頸根突拔恐美恐美毋。一向爾請祈奉良久刀白須

（阿夫利神社祝詞集）

病氣平癒引目祭祝詞

天曾々留阿夫利乃山乃上爾鎭坐寸。大山祇大神雷山乃山上爾鎭坐寸。大雷神。二重乃瀧乃瀧上爾鎭坐高靈神乃宇豆乃大御前爾。神部諸。齋麻波利清乃波里。今夜臨時乃御祭爾。比伎米乃神事仕奉良牟止之天。供奉留種々乃幣帛乎。安幣帛乃足幣帛斗所聞食諾比賜反斗。愼美敬比畏美畏美毛白須。」願主姓名。怪之久異之支病爾罹里。心例那良受。稍言語毛正之加良受有介留隨爾。近支隣乃醫師爾乞比豆。其術爾毛。心乎盡之。思乎焦之朝夕爾怠慢留事無久看護比都禮杼毛。其效驗無久。阿多良日月乎曾經爾介留。」然留波豫毋都國與里。疎毘荒毘來之禍事爾相口會留禍神乃率里爾也牟。醜乃醜魂乃怨敵爾也有牟。心氣亂禮神魂不安。夜爾晝爾狂比躁支。或波心恍惚豆覺知無久。或波朝爾夕爾泣狂比。日數久病臥之惱苦米留乎。親族同胞愁迷比。晝波志美良爾歎加比。暮之夜波須加良爾慨美。明志時乃間毛安伎心无久。千々爾思乎凝之。種々爾心乎盡之都留隨爾今度思比起之天。天雲乃遠支乎不厭。大御前爾參上來豆。一向爾引目乃神事乎執行比。大御幸乎乞奉里天余斗乞出多里。」神部等其乃乞

乃隨爾。其乃行事執行比豆牟斗。活弓箭乎天乃鹿具弓。天乃羽々矢斗取持知。嚴乃雄詰振起志。弓腹振立豆。大御床母轟爾蹈轟古志仕奉良牟斗。爲留爾。御靈幸賜比天。荒毘疎夫留物乃崇里那良牟爾波。射放都矢先爾忽爾射殺左之米賜比。癲狂比那良牟爾波。此乃術乃功德乎以豆。疾久魂乎鎭米賜反斗。祈奉留事乃由乎。大神等乃大御心爾。憐美賜比慈美賜比豆。眞澄乃鏡眞清爾觀之明良米。阿良々松原眞曲爾觀之通之賜比天。文爾奇之支大御功德波。二重瀧乃瀧水乃漲知落留我如久。速介久有良之米。嚴乃大御稜威波。大雷神乃御威以豆鳴轟可之米天。疎崇留邪氣乃自上行婆上乎守里。自下往婆下乎護里天。悉爾神拂比拂比賜比。神逐比逐比賜比天。速爾病人(名)我苦瀨乎救比。苦惱乎助介賜比天。自今以後波。禍神乃枉事无久。醜乃醜魂乃怨敵无久。病之支事无久。煩之支事無久。身體乎健剛爾令成賜反斗。祈祝支乞願奉留事乃由乎。走出留駒乃耳彌高爾所聞食之天。夜乃守日乃守爾守護里幸反賜反斗。鹿自物膝折伏世。鵜自物頸根突拔支天。畏美畏美毛祈奉留斗白須。

惡疫豫防鎭魂祭詞

（阿夫利神社祝詞集）

挂介忝久毛。畏支。阿夫利大神。又此乃神床爾坐奉留神皇靈大神。高皇靈大神生魂神。足魂神。玉留神。大宮女神。御膳神。辭代主神乃御前爾。齋志里嚴志里畏美畏美毋白左久。前爾此乃御山乃年每乃大御祭爾合世豆。鎭魂祭仕奉里介留爾。大御祭內波。氏子乃者等波更奈里。遠近余里日爾異爾參上來之徒爾波。一人毛惡疫爾罹里。邪氣爾觸禮之者有良邪里之波。全久鎭魂祭乃神事斗。大神等乃神幸斗爾依留事奈里斗。辱奉里嬉奉留爾奈毛。有里介留。然留物乃率里可。大御祭畢反爾之日余里。大神乃領知坐世留此乃里內爾。俄爾彼乃暴邪侵入里豆。僅爾四日五日乃間爾。五人六人乎惱之。忽爾三人我命乎左反取去里。猛威乎振布奈留波。惡之斗毛畏之斗毛。將

言爲方無支事爾奈毛。故里民等波恐懼禮愁迷比天。爭其乃蔓延乎防支。其乃傳染乎避久留由毛我奈斗。心乎痛米思比乎盡之都禮杼毛。眼爾見衣奴邪氣奈留乎如何爾可爲牟是波大神乃大御前乎祭利。大御幸乎乞願奉留外爾。良法波有良自斗思極米天。一向爾其乃由乞出天多里。神官等毛。豫豆同心爾思起之都々有里介禮婆。即大御前爾參上來豆。今日余里初米豆七日乃間。鎭魂祭仕奉良久乎。阿波禮斗所思食之天。此乃神法乎御靈幸反賜比天。當今彼乃病爾罹里豆熱比惱米留者等乎婆。速爾救波世賜比。又畏可禮杼毛。平常余里毋殊爾高久貴支大御稜威乎振起之賜比豆。彼乃邪氣乃自上往可婆上乎防支。自下往可婆下乎防支豆。速爾彼我邪勢乎挫伎。彼我荒備乎止米。此乃御山乃末與里佐久那太利爾落激都。溪川乃速支流斗與爾。大海原爾押放知拂却里賜比豆。自今以後波煩布者無久。惱牟者無久。里內安穩爾。各々我靈魂波。彼乃中府爾鎭在里豆。動搖久事無久離散留事無久。幸久眞幸久遠長爾在良之米賜反斗。供奉留宇豆乃御酒。宇豆乃幣帛乎。平介久安介久所聞食世斗。鹿事物伊波比伏都々。乞願奉良久斗白須。

奉祈眼病癒祝詞（阿夫利神社祝詞集）

此乃大山乃高嶺爾。大宮柱太知立天。天乃御蔭日乃御蔭斗。永久爾鎭座坐寸。掛卷毛文爾畏支。大山祇大神。大雷神。高龗神。及御前乃事執奏寸神等乃大御前爾。忌志利湯都之里畏美畏美白寸。國郡村某眼病爾罹里天。月頃病臥之。痛美烈之久惱美甚之久。鬱悒之久雲左反覆比。照耀久天都日光里毛暗久。遂爾波惜良此世乎。烏羽玉乃夜斗奈之。闇路爾左迷比毛耶世牟斗。夜毛日毛安支心奈久。朝毛夕毛休布事奈久思比煩比奴。是波千早振神乃御心可。禍津日斗云布神乃禍事可。奇之支醫方毛其驗不有。妙奈留禁厭乃術毛。其甲斐無介禮婆。親族兄弟愁比迷比天。進牟毛不知退久毛不知。歎加比悲之牟隨。大御前爾參上里來天。乞奉留眞心乎。米具之愛之斗思行坐之天。恐久毛御靈幸比賜比

天。荒振神乎婆和米。禍之支神乎婆鎭米賜比天。藥禁厭乃効驗灼然久。邪氣乎拂比毒乎除支。覆反留雲波忽爾晴禮。惱米留痛美波速爾去里天。眼爾觸留々物。白支波白支赤支波赤之斗。眞澄乃鏡眞清爾見明良米。朝日乃輝久如久。望月乃滿留如久。爽明爾令成賜比。命幸久天。世乃長人。世乃遠人斗令在賜反斗。畏美畏美毛白寸。

百度參祈願祝詞

（祭文私稿）

掛卷久母畏伎。某大神乃大前仁。恐美恐美母白佐久。姓名伊。今日與利始天。大神乃大前仁。宇氣比禱白之天。清久明久直久正之伎。誠乃心乎表之都々參入罷出。東行西行間無久。夜半曉知良仁往通比天。一向仁祈願奉留事乃由乎。走出留駒乃耳。彌高仁聞食給比天。夜乃守日乃守仁。守惠美幸閉給反止。恐美恐美母白須。

同上報賽祝詞

（祭文私稿）

掛卷久母畏伎。某大神乃大前仁。恐美恐美母白佐久。姓名伊。曩仁大神乃廣伎厚伎大御惠乎。仰奉利禱白之天。宇豆乃大前仁。百度參來天。祈願奉利之事乃由乎。柯怜仁委曲仁宇豆那比給比弖。守惠給閉留恩賴乎。忝美奉利重美奉利尊美奉利天。今日之毛禮代乃幣帛止。宇豆乃御酒御食。種々乃物進利天。奉賽事仕奉良久乎宇豆那比給比。安幣乃足幣止。大御心毛多志仁。平介久安良介久聞食天。今與利後毛。彌益爾彌長仁。守惠萬比幸給反止。恐美恐美母白須。

○厄年、方違、年賀等の祈願祭

〔語例〕

預氏大神等乎敬比仕奉留。某郡某町村某伊。今四十二齡仁成里奴。

聞えたるが如し。

今年波毛平年仁異里氏。凡人乃言傳布留。厄年乃云布年仁當里奴禮婆。本年は、いつもの年とちがひ、世俗にいふ厄年に當りてあれば」となり。

今年波志毛愼牟可支年奈里乃。古與里言傳來津留仁依天。今年は、取

りわけて愼しむべき年なりと、古へより言ひつたへてあるによりて」となり。

某伊今度奸人乃妖言仁罹里氐。謂無支厄難乎受介。日頃憂呻吟奴禮婆。某が、このたび奸人の妖言にかゝりて、由なき厄難を身にうけ、日頃憂ひ苦みて居れば」となり。

殊仁異仁大御幸乎蒙良萬久。御前仁參登里來氐。前條の次第により、特に大神の大御幸(御守護なり)を蒙らむと欲して、御前に參り登り來て」となり。

諸乃病。又種々乃禍事波。芻靈賀背仁打負世氐。藥人形など造りて、それに疾病や禍妖をつけて拂ひ捨つる、俗間の風あり。其の狀を表はす句なり。

禍津日刀云神乃枉事仁。相率良留々事无久。禍津日といふ神の成す、枉事に引き入れらるゝ事なく」となり。

煩乃大人刀云布神乃。煩比仁相煩波左留々事无久。煩の大人といふ、病魔の神の成す病氣になやまさるゝ事なく」となり。

天見禮婆日月照禮里。地見禮婆大君坐世里。天を仰ぎ見れは、日月照れり。俯して地を見れば、大君坐せり」となり。

爭氐眞事乃隱布倍支。豈僞乃見波禮邪留倍支刀。いかで、誠の隱るゝことあらん。豈僞のあらはれざることあらんや」となり。

千々仁思乎凝良志。種々仁心乎盡志津禮杼。いろ〳〵に思ひを凝らし、種々に心を盡してあれど」となり。

誠波反里氐僞止變里。僞波反里氐眞事乃如久成里。以氐來氐。誠を以てせしことは却つて僞と思はれ、僞りてせしことは却つて誠と思はるゝやうに成り來て」となり。

日頃乃心盡毛。春乃雪刀消衣。水乃泡刀失世。日頃心配せしことも、春の雪の如くに消え、水の泡の如くに失せて」となり。

行末如何仁成行良牟乃。往先は如何に成り行くならんか」となり。

眞澄鏡眞淸加仁見志明良米給比。眞に澄みわたれる鏡の如く、眞に淸明にご覽じわけ給ひて」となり。

阿良々松原。眞曲仁見志通志給比。阿良々松原は、荒く松の立ち並びたる松原にて、眞曲にの緣語。眞に委曲に先々までご覽じ、見通し給ひて」となり。

綾仁奇支嚴乃御靈乎振起志坐天。前に解けり。

嚴乃神風吹起志賜比氐。立覆閉留村雲乎吹晴良志賜比。殿めしき神

風を吹き起し給ひて、(正義の風を以つて)立ち渡ひある村雲(惡人のなせるわざをいふ)を吹き晴らし除き給ひて」となり。

眞事波眞事刀有良志米。僞波僞刀有良志米。誠は誠、僞は僞とあらしめて是非を區別し給へ、となり。

速仁苦瀨乎救比。忽仁厄難乎免禮志米給閉。速に苦境を救ひ、忽に厄難を免れしめ給へ」となり。

天地乃初發仁。天神等乃修理固成給比氐志大御國。天地の出來し初めに、伊弉諾、伊弉册二神の、皇産靈の大神の神勅をうけて、修理固成し給ひたる我が大御國と」いへるなり。

天照大御神乃伊照志給閉留。此乃大御國仁。神等乃御齋刀。生出來津留人草仁志有禮婆。大御神の御照らしたまへるこの御國に、神等の御子孫として、生れ出で來たる人民にてあれば」となり。

萬乃事乎取行比。家居乎造里營美。或波旅立志。或波事始米爲流仁。萬事を取り行ひ、家屋を造り營み、或は旅行し、或は萬事を成し始むるに」となり。

日乎忌嫌比。方角乎忌避倍支由有留倍久毛有受。日を忌みきらひ、方角を忌み避くることはあるべきにあらず」となり。

阿那畏。目仁見衣奴神乃御心乃神事波。劣久拙支人乃心以氐。量知流可支仁有受。あゝ畏れ多きことかな目に見えぬ神の御心の幽事は、劣く拙き人の心を以て、量り知るべきことにあらず」となり。

限有留人乃力以天防得可支事那良禰婆。限りある人力もて、防ぎ得べき事にてあらねば」となり。

如何奈留枉神有里氐。立塞里疎毘荒毘牟毛不可知。如何なる枉神がありて、立ち塞がり、人々を疎んじて、荒きわざすることあらむも知りがたし」となり。

塞禮留神等乎。神問志仁問志給比。方角を塞ぎ居る枉神共を、大神の言問ひ諭して拂ひ退け給へ」となり。

祟留事无久障留事无久。和米給比罰米給比。禍神どもが祟ることなく、障ることなく、その心を和め給ひ、又その枉神を罰し給へ」となり。

現身乃世仁生出志與里。大神乃廣支厚支御蔭仁隱呂比氐。現在の此の世に生れ出でしより以來、大神の廣大なる御蔭蒙りて」となり。

心安久轉樂久來經來志隨仁。心安く、轉たまた樂しく、年月を渡り來てある

によりて」となり。

世乃長人。世乃遠人刀名仁負比津々。許多乃齢重禰氐。今年何歳乃成里奴禮婆。　長人遠人は、共に長壽の人なり、世の中にて長命の人と人々に言はれつゝ、多くの齢を重ねて、今年は何歳と成りたれば」となり。

現身乃。世仁慶支事仁志氐。此上无支幸仁奈毛。　かく長命なるは、この現世に、めでたきことにて、この上なき幸福」ぞとなり。

其處乎於牟加志美。此處乎伊加志美。　その長命してあることを、それこれにつけて、うれしく思ひ(於牟加志美)、また嚴しくよきことゝ思ひ(伊加志美)て」となり。

今日乎金銀花咲久吉日乃吉時刀擇定米氐。　今日を、金銀の花も咲くべき、吉日の吉時と擇び定めて」となり。

謝恩比乃御祭仕奉留刀志氐。　聞えたるが如し。

御惠乃千重乃一重乎陀仁報奉良牟刀。年賀式仕奉里氐。　聞えたるが如し。

今與里後毛。彌遠仁彌長仁守給比幸給比。　解、前に出づ。

天乃眞名井乃眞清水乃。彌袁知仁袁知加閇里。　高天原なる天之眞名井の水を飲めば、人々若がへるといふ、その如くに、彌々若がへりて(彌遠知仁遠知加閇里)となり。

若栗栖乃彌若叡仁。彌足比仁足閇志米給比弖。　若き栗林の茂り榮ゆる如く彌々若くなりて、物事足り滿たしめ給へ」となり。

千年萬世面變里爲受。常石堅石仁在志米給比。　千年も萬年も、顔容かはらず、久しく長く世に在らしめ給へ」となり。

某乃家乃宇豆乃柱刀。動久事无久。伊古與加仁立榮衣志米給閇刀。　某の家なる嚴めしき柱と共に、動くことなく傾くことなく、嚴めしく、强くて、立榮えしめ給へ」となり。

〔作例〕

厄年祝詞

（祭文彙）

掛卷毋畏支。吾産土大神。祓戸大神乃廣前爾。神職某。恐美恐美毋白左久。大神乃領知支見行之坐寸。氏子乃某伊。今年何歳乃厄年仁當里奴留乎。齋波利清波利祓比除介牟止爲弖。式乃儘仁解除乃事仕奉留乎。

大神等乃御心仁。平久安久聞食之天。進留宇豆乃幣帛乎。安幣帛乃足幣帛止。相珍那比見行之座之氐。突立留辟木乃幸深久。結垂留々束稻乃都合宜之久。打蒔久精米乃調閉整閉氐。諸乃病又種々乃禍事波。蒭靈賀背仁打負世氐。遠久拂比給比除介給布乎。祓戸乃大神等乃。相受持知天。根國底國閉。遙介久遠久神逐比爾逐比給比氐。某我身仁喪無久。事無久守惠美給比氐。其産業乎緩牟事無久怠留事無久勤美務米氐。家門乎起左志米給比廣米之米給比氐。堅石常石仁命長久。子孫乃八十續仁至迄。樛乃木乃彌續々仁。五十橿八桑枝乃如久立榮衣之米給比。過犯事乃有良牟乎婆。神直日大直日仁見直之聞直之坐之天。夜乃守日乃守仁護給比幸給閉止。恐美恐美毋白寸。

防除方祟祝詞

（祭文私稿）

掛卷久毋綾仁畏伎。健速須佐之男大神止御名波申之天。此乃神床乎祓清米天。令座奉利齋奉里。大前仁宇豆乃大御酒大御食。及種々乃味物乎取添反天。禮代乃幣帛止捧奉利。進退比匍匐比拜奉利禱白左久。」此乃某我移利住米留此家波毛。物識人乃云閉良久波。良加良奴方仁向比天移住美多留我故仁。種々乃異之伎怪之伎麻我發利天。祟咎米惱世留奈利止曾。」阿那加志許目仁見延奴神乃心乃神事波。劣久拙伎人乃心以天量知良延受。限有留人乃力乃防得可伎事那良禰婆。奇久尊伎大神乃大御力乎。一向爾祈願奉良牟止。奉留幣帛乎安幣乃足幣止。平介久安良介久聞食天。八俟乃袁呂智乎。寸斷仁斬放給比志事乃如久。吉備乃魔鬼乎。四方八方仁打退給比志事乃如久。大御劍乃登久速介久。此乃家内仁禍爲左武物乎良。斬散利打退給比。自今以往毋。苦瀨仁落知天苦美惱米良武乎。憐美惠萬比助介救比守幸給反止。恐美恐美毋白須。

違方祭祝詞

（祭文私稿）

宇夫須那大神止以齋久。掛卷久毋畏伎。某大神乃大前仁。恐美恐美毋

白左久。」常仁大神乃手抱久我吳斗。慈愛給反留氏子乃姓名伊。今年何月何日。何乃方仁向比天往加武止爲良久乎。物識人仁卜相麻賀那波志牟禮婆。往伎天良加良奴方止奈毛卜相云反里介留。」然波有禮杼。止利得奴道仁之有禮婆。今大前仁御祭仕奉利。種々乃幣帛乎償物止置足波之天奉利。進退比俱匐比禱白左久乎。廣伎厚伎大御心仁。宇豆那比聞食天。咎給波受罰給波受。免給比宥給比天。家仁毛身仁毛諸乃禍事有良世受。夜乃守利日乃守仁。守惠萬比幸比給反止。恐美恐美白須。

年賀祝祭詞

（神職必携）

此地乎朝日乃直刺處。夕日乃日輝處止。宮柱太高知豆鎭座志坐須。掛巻母文仁惶伎。何神乃御前仁。職姓名。畏美畏美母稱辭竟奉良久波。」御氏子（信徒）姓名伊。大神乃惠給比愛給布。廣伎厚伎御蔭仁隱呂比天。心安久轉樂久。此年月乎來經行隨仁。今年（何十何年）仁成奴留乎。常仁身體乃健全仁在經留八更仁毛言波受。生成世留男子女子乎始米。家繼計仁至迄。樛木乃彌次々仁蕃息榮衣津留八。現身乃世仁愛多伎事仁志天。此上無伎福利仁奈毋有計留。故是乎以氐。何誰（其人ノ名）乎始米。家繼計留誰八更那里。親戚家族又、親志久出入留諸人仁至迄。嬉美歡毘。八十日日八在雖。今日乃（何）日乎。金銀花咲久。吉日乃吉時止擇定米弖。謝恩毘乃御祭仕奉留刀。大前乎持忌回里清回里。御饌八八盛仁盛足志。御酒八瓶上高知。瓶腹滿並天。海山乃雜々乃物乎獻良久乎。赤丹穗仁所聞食弖。自今以後毛。彌若叡仁彌足比爾足方志米給比弖。心爽加仁。惠良惠良仁和毘睦毘天。代乃長人刀仰我衣。世乃遠人刀稱閉良衣津々。家乃鎭米。子孫乃龜鑑刀毋成里。家門高久廣久富足良比。常石仁堅石仁某乃家乃宇豆乃柱刀。動久事無久傾久事無久。伊與々々加仁立榮衣志米給反刀。恐美恐美毋。稱辭竟奉良久止白須。

〔作例〕（コノ種ノ祝詞ハ、實地ノ情況ニヨリテ、類語ヲモ思索構造スベキナリ。今豫メ之ヲ掲ゲズ。）

官國幣社宣戰奉告御祭文

（戰時祝詞集）

天皇乃大命爾坐世。掛卷母恐支。某神社乃大前爾。官位勳爵氏名乎使止爲。白給波久止白左久。天津日嗣知食志與里以來。萬機乃御政乎執行比給布止志豆。外國乃交際波。殊爾平和乎宗止志豆大座志爾。今年計良須母。露國爾對比豆戰乎開久事止奈利志波。已倍久母阿良奴事止奈母思食須。」故此由乎告奉留止志豆。禮代乃御幣帛奉出給布事乎。平良氣久安良氣久聞食豆。海路陸路爾射向布寇等乎。速爾伐平良氣。食國乃大御稜威乎。天下爾照輝加志。平和乎彌遠長爾克復左志米。常磐爾堅磐爾守幸倍給倍止白給布。天皇乃大命乎聞食世止。恐美恐美母白須。

出陣祭祝詞

（戰時祝詞集）

掛卷毛恐伎。軍神止稱言竟奉留。武甕槌大神。經津主大神乎始奉氏。天神。地祇八百萬乃大神等乎。暫時乃間。此乃嚴乃神籬爾招奉利令坐奉津御神止大八洲國所知食天皇命波。世乃益々爾文明介行牟事乎求利氏。齋主滋賀縣神職取締所長正六位岡部讓。恐美恐美毛白左久。現給比。外津國々乃御交際毛。日爾異爾深久厚久成利行牟事乎思保志給比。世界乃平和乎重美志給比貴美給布餘爾。千萬乃御軍人等我。血乎灑伎屍乎暴志氏占領津留遼東乎毛。魯西亞乎始二國乃請倍留任爾。還志與倍給比志波。十年乃以前爾奈毛有介留。無禮久倨傲禮留魯西亞乃夷等波。其舌乃未乾加奴爾。早久毛租借氏布名義爾依利氏。恣爾己我物止爲。砲臺乎築伎戰備乎修米。剩滿洲乎毛略奪比。韓國爾兵乎出志。竟爾波我賀皇大御國爾敵布可久立擧動氏。東洋乃平和乎破里奴可介禮婆。滿洲韓國爾出留軍兵乎撤退介。清韓二國乃領土乎各安全爾保有奴可久。事議里奴留事數回爾及奴留毛。諾布狀無久。荒

驚乃已猛志止思揚利氐。益敵對布狀況奈留爾依氐。今波世界乃平和乃爲。東洋乃平和乃爲爾。宥恕志奴可伎爾阿良ム受止思召志氐。膺懲志罰伐牟可久大詔宣志給比氐。陸爾海爾大御軍乎出志給倍波。待爾待多留益荒武夫波。海行波草生屍。能杼爾波死自止。勇美爾勇美。海軍波艦隊列氐海乎覆比。陸軍波隊立並氐野爾滿。競比進米留奈倍爾此乃第〇師團歩兵第〇聯隊乃軍人等毛。任乃隨爾出陣牟止爲氐。其氣波既毛滿洲乃野乎呑。烏拉乃山乎蹈。聖波得斯堡爾城下乃盟乎爲志米牟止。肉毛躍利骨毛鳴留可久歡喜比合倍利。故今日乃生日乃足日爾。出陣乃大御祭奉仕牟止爲氐。御饌御酒乎始米。打鮑。勝栗。海川山野乃種々乃品物乎。如横山打積置氐獻良久乎。平介久安介久聞食氐。御饌盛留土器乃變留事無久。御酒容留々々酒甕乃御蔭蒙志米給比。打鮑乃討罰米。勝栗乃捷續久可久。稜威乃御靈乎幸給比氐。勇志久立出牟軍人等波。病志伎事無久。煩志伎事無久。武久雄々志伎銳

心乎。彌益爾振起佐志米給比。雨止降留矢彈乃中毛。電止閃久白刃乃中毛。障留事无久傷久事无久。彌進爾進美。射向布奴等悉爾。坂乃眞尾乃御軍乃向布處波。豐榮昇留日影爾。朝露乃消行久事乃如久。吹渡留科戸乃風爾。夕露乃散利行久事乃如久。戰倍婆捷知。攻禮波取利。挂卷波雖恐。武甕槌大神。經津主大神乃。中津國乎征討介給比志事乃如。速介久伐平介。天皇乃大稜威乎天津日乃御旗止共爾。照利輝志米給比。大御心乃任爾。世界乃平和。東洋乃平和乎。彌永遠爾克復志得志米給比凱歌奏比氐。旋利奴可久。守利給比幸倍給比。又各々乃家々乃殘禮留父母波更奈利。妻子兄弟乃身乃上爾毛。禍神乃禍事不令在。守利幸倍給倍止。乞禱奉留事乃由乎聞食世止。恐爾恐美毛申須。

戰勝祈禱祭詞

（戰時祝詞集）

神風伊勢國。拆鈴五十鈴乃川上爾鎭座須。挂卷毛畏支。天照皇大神袁

始奉氏。國々縣々爾齋奉禮留。天津神千五百萬。國津神千五百萬乃。天皇皇子等乃神靈乎始米奉利。國爾勳功有里志臣等乃靈爾至留麻傳。大伎小伎宮々社々爾。齋鎭奉禮留神乃盡。招奉仰奉里氏。畏美畏美毛申佐久。」今回海陸乃皇軍。韓國爾伊涉里向比氏。露西亞乃軍止戰布事刀成里奴留波。今年二月十日爾。掛麻久毛畏支。大詔以氏宣志給幣留賀如久。是乃東洋爾列並立有留大方乃國乃爲爾。永久遠久平氣久安氣久在良牟事乎。畏久毛所念掟給幣留大御慮爾。官人袁以氏。度麻禰久彼國爾議良志米給比志毛。彼國人波。加爾加玖爾云比論良比。徒爾月日袁經志米。表爾波言善久云比都々。裏方爾波軍乃備袁爲氏。遂爾戰乃場爾事袁定米牟止爲留。下乃意爾驕里思比上里氏。我國袁輕志米蔑爲留事狀增里行氣婆。今波平良爾穩爾事議良牟途絶衣奴。伊邪也吾日本乃夜麻登乃國乃上古與里。天津神乃大御統唯一系爾受傳來幣坐須。天皇乃大御稜威刀共爾。上古與里益荒健男乃伴男乃云傳來

志。海行加婆水漬屍。山行加婆草生屍。額爾波箭波立刀毛。背爾波箭波不立刀云布言乃如久。忠爾操爾武久雄々志伎。日本乃夜麻登健男乃雄心乃。夜麻登心乃唯一筋爾進美氏。討氏也罰米與也止宣碁知給比志大御言袁。頂爾捧氣持知氏。大海原爾皇軍乃大艦小艇列並泛氣氏。海陸乃軍人等諸。渡里進美氏在里氣留袁。先海軍以氏敵乃大艦擊沈米志袁。捷報乃始刀志氏。敗回旅順乃港爾戰比勝知。陸軍波鴨綠江乃大河袁直涉里。雄詰進美氏九連城袁取里。又進美氏鳳凰城左幣攻落世里志袁。又次伎氏向比志陸軍波金州袁取里。然志毛敵乃堅久守里氏攻難加里志南山袁毛。一日乃中爾擊破禮里志。甚毛猛伎勢波。外國國乃人皆驚伎居禮里刀聞久。曾毋如此猛久雄々志久。捷進美行久事狀波。海陸乃軍人等賀。國乃爲爾波身袁毛命袁毛惜志刀爲奴。利心爾因留波云布毛更那禮杼。是即氏吾天皇乃大御稜威乃驗爾志氏。又是袁助氣守里給布大神等乃大御稜威。御靈乃幸刀。國人公民諸。畏美喜

比仰伎勇美都々在里。」然波云幣杼毛。敵國毛世爾所聞多留大國爾志
氐。今與里後乃戰毛。必思安牟倍伎爾阿良受。」故天下乃人等毛。已賀自
志心乎盡志氐。種々爾伊曾志美勞伎在留乎。吾輩諸波。皆神職乃身爾
志氐。常毛心乎合世。相共爾斯道乃爲爾集比。相議里都々在留哀。伊可
傳加默止波在良牟刀事議里氐。是乃神社爾齋場設定米神籬立氐。大
神等乃神靈哀招奉鎭奉里。幣帛波明妙照妙爾。大御饌大御酒。海川山
野乃物等乎。橫山乃如久置足波志氐。神職等波云布毛更那里。執政大
臣等。海陸乃將官乎始氐。同心爾國乎思比。捷乎祈留人々諸。伊群集比
氐。一向爾禰宜請祈奉留事狀乎。美良爾廣良爾聞食志氐。海陸乃軍人
等哀。彌進美爾進麻志米給比氐。皇賀大御稜
威哀毛。日本乃是乃國乃名哀毛。彌高爾彌張爾。天下國乃八十國。島乃
八十島遠久廣久。畏美仰賀志米滿知足波志米給幣刀。入紐乃同心爾
相議里相契禮留。神職乃會乃中乃一人爾氐。今日乃齋主仕奉留靖國

神社宮司從六位勳六等賀茂水穗。忌志里嚴志里惶美惶美毛白須。

熱田神宮大前戰勝祈念祝詞

（戰時祝詞集）

劍太刀尾張乃國。御心乎熱田乃神奈備爾稱辭竟奉留。天照坐皇大御
神乃大前爾申左久。畏加禮杼毛。我賀大御神乃。正之伎大御統止坐須。我賀
乃大御神乃珍御子爾坐志。我賀皇大御國波。大地乃本國祖國止造給比之神國爾之有禮婆。大地乃國
乃悉服從比奉留倍伎理乃隨々。梓弓古乃御代々々爾波。貢捧蘂天仕
奉利來志乎。中津頃與利我魂乃神乃心爾也有良牟。皇國人乃怠禮留
故爾也有良牟。彼國人乃荒備跡備都々。今志古爾我賀御臣國那里志
肅愼國爾。渤海國爾。西乃果那留獸那須心汚伎胸寒伎。冬風乃隱露死
知布我國乃敵等乃。名無伎軍乎起志豆之入來利豆。其國々乎掠奪比
天。其乎足止里止爲志。漸々爾諸越爾。韓國麻傳討取利天。負氣奈久毛。
往々波我賀大皇國乎毛窺波牟止寸。故我賀天皇尊伊。其逆事乎改牟

倍久。隨神那留大伎理以天。敷度諭志給倍利之毛隨比奉良受。返良萬爾戯業爲世禮婆。大平乃洋與利廣伎大御心毛。許志給布爾道奈久。遂爾波毛皇御軍乎遣波左閉弖。討罰免給布事止波奈禮利。畏加禮杼毛我賀皇大御神波。丈夫乃武乃備閉乎設給閉留御名袁向匿男聞襄大歷五之御魂速狹騰尊止御名告坐之弖。息長足姫尊乃諱言向爲給比之時爾。大功乎顯志給比。猶神世與利今乃現爾。武支御魂袁幸倍給布賀故爾。古與利皇國乎稱倍天。武奇伎國。又武國止波申世里。故今日乃生日乃足日爾。大前爾掻鳴寸也玉乃小琴乃殊更爾請祈奉良久波。此度遣之給敵留御軍人乎。夜守日守爾護給比天。天皇尊乃御謀乃隨々。戎言向乃事竟之米氐。天皇祖神乃御定乃隨々。隨神奈留大道乃世爾明加爾成里往伎氐。大御世乎安御代乃足御代止成幸倍給閉止申寸事乃由乎。吹鳴寸笛乃音乃佐也々々爾聞食世止。畏美畏美毛稱辭竟奉良久止申須。

擬神宮平和克復奉告御祭文之詞

（戰時祝詞集）

伊勢乃度會乃五十鈴乃河上乃下津磐根爾。大宮柱太敷立。高天原爾千木高知弖。皇御孫命乃稱辭竟奉給布。掛萬久毛畏伎天照坐皇御神乃大前爾。恐美恐美毛白左久。曩爾清國止戰乎開支。大御蘇乎廣島爾進米給、比志與利。海爾陸爾戰倍婆勝知攻禮婆取利。遂爾講和條約乃訂結爾依利。其我領土奈留臺灣島毛大御國乃版圖止成利。事平加仁定利努。如斯猛久雄々志支大御稜威乎。天下爾輝加志給倍留波。專廣久高支恩賴止奈毛。最毋恐美畏美思保志食須。故此由乎告奉留止恐氐。官位爵姓名乎差使氏。宇豆乃御幣帛奉出給布事乎。平介安介久所聞食氐。皇御孫命乃大御命乎。手長乃大御命止。湯津磐村乃如久。常磐爾堅磐爾齋奉利。伊賀志御代爾幸給倍止。恐美恐美毛申須。

又。別宮止坐須荒祭宮。月讀宮。月讀荒御魂宮。伊佐奈岐宮。伊佐奈彌宮。瀧原宮。瀧原竝宮。伊雜宮。風日祈宮。九所乃御前爾毛。御幣帛奉出給布

事乎聞食世止。恐美恐美毋白須。

征清役東京市祝捷祭詞

此乃祭場爾神籬立氐。招伎齋比奉留。掛巻毋畏伎。皇祖天神乎始米奉里氐御代御代乃天皇等。天社國社乃大神等乃大御靈乃大前爾。齋主位姓名畏美畏美毛白左久。天皇我大命以氐。清乃國乎膺知給比懲志給布刀。大御軍興之給比之與里。月波麻陀五月爾滿多受。日波百日乎幾千毛過奴禮爾。戰閉婆勝多奴事無久。海爾波豐島。黄海爾。奇伎勳乎立氐。陸爾波牙山。平壤爾大伎譽乎顯志。今波既久彼乃國乃要害乃地刀思比憑米留大連灣。旅順口乎左敝爾擊取里都留波勇之刀毛勇之久。快之刀毛快伎極爾那毛在留。是波固與里。我天皇乃高伎御稜威刀。軍人等乃大伎勞刀爾依留物可良。大神等乃廣伎厚伎恩賴乎蒙良受婆。如何傳可波如斯在末之」然波雖有行先乎懸氣氐思閉婆。途尚遠久。徒仁力緩毘心怠留倍伎爾非受。彌進美氐天津北京乎毋攻米破里。四百餘乃州々悉言向介豆。我大御國乃大御趣向爾服從波之牟倍久。伊曾志美勤牟留古曾。皇御民刀在留我輩諸乃道爾波有留良米。故是乃東乃京乃眞心篤伎人等。相議里相談良比都々。此乃所爾打寄集比。今日乃生日乃足日爾。第一回乃祝賀寸刀。先大神等乃大前乎拜美奉里氐。既往乃御恩乎謝毘白之。又將來乃御幸乎仰伎乞祈美。神祝伎祝伎奉留事乃狀乎。甘良爾廣良爾聞食氐。今與里後毛彌益々爾。御軍人等心剛久身健爾。豫豆思比慮禮留謀計。過都事無久違布事無久。進美行久軍乃艦乃速介久。事成之了敞之米給比。打出寸大砲乃音乃高々爾。奇伎功乎立之米給比。我大君乃大御稜威乎仰之米給敞刀。萬歲呼布聲諸共爾。八平手打上介豆畏美毋白須。

十四、葬儀の諄辭

○墓所地鎭祭、移靈祭、棺前祭、誄詞、埋葬詞等

〔語例〕

何某加奥津城所刀爲氐。新仁此乃處乃荒草苅掃比。下津磐根仁藏志治牟。　某が墓所として、新にこの荒草を苅りはらひ、地下の磐ある所まで、深く掘りて、柩を藏し治めむ」となり。

鳥獸昆蟲乃害无久。大地乃彌遠長仁守幸給閉。　鳥獸昆蟲の害无く、大地と共に、彌々遠く長く守り幸ひ給へ」となり。

是乃小床乎。嚴乃齋場乃祭場刀掃比清米。　この床をば、嚴しく齋み清めたる祭場と、掃ひ清めて」となり。

注連曳廻志。伊豆蓮敷氐。鎭坐奉留柩乃前仁。靈代置居氐。　注連繩を曳き廻らし、清らかなる蓮を敷きて、鎭め座せ奉る柩の前に、靈代を据ゑ置きて」となり。

齋主刀成氐。悲美歎加比津々毛　白寸事乃由乎。阿波禮。某乃神靈也。美良仁聞食世。　齋主となりて、かなしみ歎きながらも、申し上ぐる次第を、ア、某の神靈よ、よく聞き給へ」となり。

現身乃人乃世波術無支加毛。幽冥乃神乃御心波量里得奴物加毛。　現身乃は、世の枕詞なり。人世は爲ん方なき物なるかな。幽世の神の御心は、人の心も

て量り得ぬ物かな」となり。

何年月與里惱美津々在志病。彌重里仁重里。　聞えたるが如し。

彌阿都志禮仁熟志禮氐。其名聞由留留醫師乃徒毛力及婆受。いよ〳〵危篤に、危篤となりて、名高き醫師輩も、方及ばず」となり。

此何月何日乎。此現世乃別刀爲氐。幽冥乃神乃列仁入給比奴。　聞えたるが如し。

此乃何々波。汝主乃常仁愛持志々物奈禮婆。遠長支神靈璽刀。如此造里設齋比奉良牟刀是乃御前仁奉里置氐。靈移乃式仕奉留。　此の何々の物品は、汝主の、平常に愛で持たしゝ物なれば、長へに御靈代とせんとて、かやうに造り設けて、今此の柩の前に据ゑて、靈移しの式を仕へまつる」となり。

其乃奇支神靈波。今與里後。是乃靈代仁毛。多志々々仁移給比。佐夜々々は、今より後、この靈代にも慥に移り給ひ、分明かに留まり給ひ、春秋ごとに、遠長に仕へ奉る御祭をも享け給へ」となり。

遊毘戲留事左閉。尋常乃小兒乃如久奈良受。　聞えたるが如し。小兒の誄

詞に用ふべし。

好牟物波。軍人乃姿勢。玩布物波。戰爭乃繪書。　これも小兒の誄詞に用ふべし。

日毎仁。武夫乃眞似乎爲氐。木馬仁乘里。木劍乎佩支。旗振翳志。群童乎指揮爲留狀乃勇志久。　同上、聞えたるが如し。

昨日迄物學爲津々座志賀。　昨日まで、學校に通ひて物學びして有られしが」となり。

俄仁病乃狀態變里。醫藥乃術毛。禁厭乃方毛効無久氐。　聞えたるが如し。

短夜乃窓乃燈火。朝風仁消氐跡無支事乃如久。　短夜の窓を照らす燈火の朝迄も殘れるが、朝風に消えて跡なきやうに、はかなく死せり」となり。

玉柏若葉乃露乃。夕風仁敢受古保留々事乃如久。　玉柏(美しき柏)の若葉の上の露が、夕風にたへずしてこぼれ落つるやうに、にはかに死せり」となり。

生禮奈賀良仁。最溫和志久柔順奈留賀上仁。物學乎好、給比氐。　聞えたるが如し。

紅葉如寸手仁筆執里氐。文字書久事乎。此與無支樂乃爲氐。　紅葉の如き手に、筆を執りて文字を書くことを、此の上もなき樂みとして」となり。

裁縫乎始米。衣服道具乃整頓。行厨乃眞似。　裁ち縫ひを始め、衣服や道具を整頓し、料理煮燒きの眞似事などを」となり。

女乃道乃遊乎嗜麻禮津々。成長給閉婆。　女子の道の遊びを、嗜みながら生び立ち給へば」となり。

今日與里波。種々乃玩翫物乎。誰仁持世氐加慰米牟。　今日からは、其の遊されしいろ〳〵の玩具を、誰に持たしめて慰めやうか」となり。

明日與里波。園生乃花乃美波志支乎。誰仁加見世牟。　明日からは、庭園に咲ける花の美はしきを、誰に見せやうか」となり。

素與里忠直仁雄々志支其性質乃。子乃有留者乃道乎違閉寸。　悉切仁父母仁事閉。　元來、その心忠直に、勇ましき性質にして、子たる道をばたがへず、深切に父母につかへて」となり。

某乃年月。何學校乎卒閉氐。何學校仁入里。　聞えたるが如し。

其間。常仁優等禮氐。師乃君仁波樂志萬禮。同窓仁波敬波禮氐。　在校中

は常に優等にて、先生よりは末頼しと樂まれ、同窓の友には敬はれて居られたり」となり。

不意久病氣附支氏。日仁月仁衰反行支。聞えたるが如し。

今月乃何日。朝露乃消留我如久身失世給比奴。朝露の消ゆるがやうにはかなく空しくなりぬ」となり。

汝命乃手植乃松波。操乃綠其儘仁立禮杼毛。貴方が手づから植ゑられし松は、貴方の正しき操の如く、變らぬ綠色を以て其まゝに立ちてあれど」となり。

愛給比仁志梅乃匂波。昔奈賀良仁馨禮杼毛。常に愛し給ひし梅花の匂は、昔のまゝに馨れども、其の愛せし人ゐまさず」となり。

親族家族乃心仁波。斯有牟刀波思比掛介受。親族共の心には、かくの如き大事にならむとは、思ひもかけざりき」となり。

一向仁醫藥乃術乎憑賴美。廣久厚久天地乃神等仁祈奉里。聞えたるが如し。

息衝宇良夫禮津々呼奉禮杼。一言乃答陀仁爲給波受。遂仁歸來座左奴道仁奈牟。出立座介留。息衝宇良夫禮て(歎息して悲むなり)御名を呼べども、一言の答だにし給はず、遂に歸り來りがたき、黄泉路に向ひて、出立し給へり」となり。

裁縫乎始米。總氐女業刀有留業乃。悉修米盡志氐。裁ち縫ひを始めとして、總ての女の業の一切を、修め盡されたり」となり。

女業仁最毛委志久。平素仁起居進退毛。嫻娜仁。行狀正之久天。女子の職業は、最も委しく、常に起居進退もやさしくたをやかに、行狀も正しくて」となり。

籬仁咲介留朝貌乃花波匂閑杼。觀留人皆無支。籬に咲きてある朝顔の花は、美しき色に匂ひて居れど、今は見はやす人なし」となり。

悲志刀也蟲毛啼久良牟。哀刀也蟬毛鳴久良牟。今は、蟲の啼く音も、蟬の鳴く聲も、悲しく哀れに聞ゆ」となり。

家乃業乎扶介給比。公乃事仁從比給比。聞えたるが如し。

露私乃心挾萬受。行狀正志久。內外乃裨益仁成良牟事乃美心刀志氐。少しも、私の心を持たず、行正しく、自家他家の利益にならむ事をのみ、心掛けとして」となり。

世乃爲人乃爲仁。盡寸所也多加良牟乎。長らへたらむには、世のために人のためにも、盡す所多くあらんを」となり。

千世乃白菊。千秋五百秋仁。花乃盛波香細志久。　千年も経べき白菊、千秋五百秋に至るまで、花の盛りは芳ばしく」となり。容姿の美はしきをいはむ爲の、前置の句なり。

置渡す露乃白玉美志久。年月仁加留御齢。加留御儀乎古曾。天津水仰支待志加。　菊の葉末に置きわたす、露の白玉の美しきが如くに、美しさの、年月に加はり行き、さて加はる御齢と、加はる御儀とこそは、天津水をまつが如く、仰ぎ待ちたりしを」となり。

夏菊乃花折手向。夏草乃露乃玉串捧奉良牟。　御霊前に、夏菊の花を折りて手向け、夏草の露(玉の序詞)、玉串を捧げ奉らむ」となり。

一日片時毛。妹背乃道乎違布留事無久。　一日も片時の間も、夫婦の道を違ふることなく」となり。

舅姑仁能久事閇。能久孝比給比志乃美加波。　舅姑によく孝行なされしのみならず、

青乃君乃親族乃末々迄。親美睦毘給比志功績大支久。　青の君の親戚の末々の人にまで、親み睦びなされしこと、家事向きを翼けなされし功績の大きくして」となり。

舅姑仁能久事閇。能久孝比給比志乃美加波。青乃君乃親族乃末々迄。親美睦毘給比志功績大支久。舅姑によく事へて、よく孝行なされしのみならず、夫の君の親戚の末々の人にまで、親み睦びなされしこと、家事向きを翼けなされし功績の大きくして」となり。

子息乎育津留事毛道仁適比氐。他人乃鑑刀成給比。　子等を教育することも道に適ひて、他人の鑑となり給ひ」となり。

春雪乃消由留我如久。夕月乃隠留々如久。　春雪の消ゆるが如く、夕方の月の隠るゝが如くに、はかなくなられたり」となり。

妻乃君波。操貞志九賢志久座世婆。　妻の君波。操貞志九賢志久座世婆。

御子達乎養育志給比氐。身乎修米家乎齊閇。　御子等を、養ひ育てなされて、身を修め家を齊へなされ」となり。

何日乃黄昏仁。逝久水乃還良、奴如久。八十坰路仁隠去座之支。　何日の日暮方に、流れ行く水のかへらぬ如くに、八十坰路(幽界に入る路をいふ)に隠れ去りましき」となり。

朝廷乎思比。國乎憂布留御心深久。國乃礎民乃模範刀仰賀禮給比。　朝廷を思ひ奉り、國家を憂ふる御心深くして、國家の柱石とも、人民の模範とも、一般の人々より、貴ばれ給ひて」となり。

世乃人乃悲美慕布事乃狀波。奈何仁言擧白左牟毛浦波乃千重乃一重毛打出敢受。　世の人々の、君が身うせ給ひしことを、悲み慕ふ狀は、如何に詞も

て言ひあらはさむとしても、浦波の（千重の枕詞）千重の中の一重だにも言ひあらはし得ず」となり。

息吹乃狭霧。欝悒久乃美在留心乃隈波。幽冥仁坐須神靈也知食牟。

息吹（口より吹き出す氣）の狭霧（眞霧なり）の中にあるが如き、晴れやらぬ心の中をば、幽冥にいます御靈は知り給ふらむ」となり。

我國風乃歌詠牟事乎好美氐。能久勝禮給比。水莖乃跡美志久。書須佐備給閉里支。

我が國風の歌を詠むことを好みて、よく其の道に勝れ、水莖の跡（筆蹟）も美しく書きたのしみ給ひたり」となり。

玉乃緒琴乎。清久掻鳴志遊比給比。玉の緒（序詞）、琴をよくかき鳴らして、遊び給ひき」となり。

此年頃波。何乃思保志惱麻寸事毛无久。

この數年間は、少しの思ひなやむこともなく」となり。

春乃花乃朝奈朝奈。秋乃月乃夕奈夕奈。心安久乃美明志暮志。

春の花の咲く朝ごとに、秋の月の照る夕ごとに、心を安くてのみ明かし暮らして」となり。

春乃花仁波。雲立迷布慣有留。世乃理乎免禮給波受。

春の花には、嵐吹き立ちて散らす歎きあり。秋の月には、雲立迷ひて光をかくす悲みある、この世の道理を免れ給はずて、みまかり給へり」となり。

玉鉾乃道乃隈々。物思思比續介津々。御柩乎送里參來氐。

玉鉾の枕辭なり、墓所に行く道のくまぐまにて、物思ひつづけ悲み慕ひつゝ、御柩を送り參ね來て」となり。

奥墓乃標乃石乃。堅石仁常石仁仰支行牟。

墓標の石の、堅石常石に變らぬ如くに、いつまでも仰き行かむ」となり。

平常仁身乎清淨仁志。心乎誠仁之。

皇神乃御前乃事等波更奈里。社務乃一切懈怠留事無久。

奉仕する事は更なり。神社に關する一切の事務をも怠ることなくて」となり。

御國人乃精神乎婆。縱橫仁廣久深久說支、明良米。

自由自在に、廣く深く說き明らめ、人に聽かしめて」となり。

吾が御國人の精神を、

東仁西仁說支廻里、敎諭志。勤美勞支給比志加婆。

東西に騙け廻りて、斯の道を說き明し敎へ諭して、勤め勞き給ひしかば」となり。

或波身仁行比。實乎示志氐模範乃奈里。

あるは、吾が身に行ひ、事實を示して模範となり。

て、手本となりて」となり。

或波書仁物志。後世仁遺志傳閉給比。　或は書冊に著して、後の世に遺し傳へ給ひて」となり。

學生乎愛牟事。生子乃如久。丁寧仁敎閉。　敎子を愛しむこと、己の生子の如く懇切に敎へ」となり。

深切仁導支氐。緩事无久怠留事无久。　聞えたるが如し。

汝命波。幼稚與里。商乃道乎好美。殊仁何々乃事仁志深久。　汝命は、幼き時から、商業の道を好み、殊に何々の事に志深く」となり。

家乃業乃。田作留事仁。心乎用比力乎盡志給比。　家の業として、田を作ることに、心を用ひ力を盡し給ひて」となり。

〔作例〕

墓所地鎭祭諄詞

（大社敎葬祭式）

此乃地乎宇志波岐坐須大神乃大前爾恐美毋白左久。某伊。本月何日爾、身失奴禮婆。奧津城處定米牟刀覓求米津留乎。此所波志毋。代々乃祖等乃遺骸乎葬米、奴留地爾志在禮婆。此所叙布佐波志伎地。此乎置氐。善地波有良自刀議定米奴。故何日與利。奧津城乎造留事乎相諾給比。奉留、御食御酒。種々乃物乎。平良氣久聞食与。石垣乃崩留事無久動事無久。天地乃彌遠永爾令在給邊刀。恐美恐美毋白須。

移靈祭諄詞

（葬祭告詞集）

穴阿波禮悲志支加毛。穴阿波禮悔志支可毋。何某也。何方爾所念食世加現身乃惜志支此乃世乎退坐世留。親族家族乃心爾波。斯有良牟止波思比掛介受。一向爾醫藥乃術乎憑賴美。廣久厚久天地乃神等乎祈奉良婆。必元乃身爾成給波牟物叙止。枕邊爾寄副比。御後邊爾侍良比与。萬爾心乎盡志奴禮杼。更爾醫藥乃術毋其乃驗無久。息衝宇良夫禮都々。呼備奉禮杼一言乃答太仁爲給波受。遂仁歸來坐佐奴道爾奈毛出立坐介留。阿波禮悲志支加毛。阿波禮悔志支可毛。限有留人乃命波。固與利留得奴事爾志阿禮婆。言牟須倍爲牟須倍不知爾。今靈移乃禮

仕奉良久乎。平介久聞食与。是乃靈代爾。奇支神靈乎留給比鎮里給比。自今以後波。此乃家乃守護神止。無窮爾鎮坐。彌遠長爾伊都迦禮坐世止。齋主職姓名。恐美恐美母。告白志仕奉良久止白須。

神宮祭主朝彦親王靈移祭詞

（諄辭集）

懸与申佐久毛畏久悔志支。大勳位朝彦親王尊乃神靈乎招伎奉里与。畏美畏美毛白佐久。親王尊也。今如此御骸乎納米奉禮留御柩乃御前爾志与。申佐牟波中々畏加禮杼。每年乃例乃任爾。今年。伊勢乃大神宮乃神嘗乃御祭爾毛。參出仕奉里給比与在里之御身乎志毛。時乃間如此忌々志伎式以与神靈乃爲爾。御祭典乎爲之仕奉良牟物刀波。天下乃人皆共爾。誰加波思比掛奉良牟。是乎思閉婆現世乃人身乃危久定無支慣波。貴伎已事無伎御身毛。尚得免禮給波射留世古曾。哀志久爲牟術毛無里計禮。然波言閉杼毛今波昔乃年月久爾所念碎氣之御心盡乃條々乎思比。又七十年爾毛間遠加良奴御齡乎思閉婆。今波

我御世乃事竟与。幽冥爾入坐須倍伎期。到里坐留爾毛也有良牟。登爾毛迦玖爾毛。唯愕伎慨美奉里与乃美在經倍伎爾非受。故愼美畏美毛御葬乃儀仕奉留刀爲与。式乃隨々御靈主乎造里備閉与。御靈移乃式仕奉良牟乎。平氣久聞食与。速氣久移里留里鎮里坐世刀。齋主大敎正本居豐穎。畏美毛白須。

同靈魂安定祭諄詞

（諄辭集）

掛卷母畏伎。神宮祭主刀坐志々大勳位朝彦親王尊乃御靈乃御前爾。恐美毛齋主仕奉留大敎正本居豐穎。頸根突拔母白須事乎聞食世。現身乃人世波遂爾限有留物刀。千早振神乃御代與里定里与。貴伎毛賤伎毛。遂爾往久此一道波免禮難之。然波在禮杼毛。惟神那留其靈魂波。現世乃物爾波有受与。幽冥與里出与幽冥爾歸里。尚遠永久國乎毛家乎毛。守里幸閉。著明伎驗乎佐閉顯須事有里。親王尊也。國乃爲爾皇朝廷乃爲爾。御心乎盡之御身乎辛苦米。狀々乃憂目爾耐坐之。遂爾畏伎

大神宮乃祭主乃職乃成坐豆波。其神宮仕忠實爾勤志久。赤心乃眞心以豆。年頃仕奉良志々大伎御勳波。幽冥爾坐須大神等毛。眞澄乃鏡限無久見志知食牟。如此知食世婆。今幽冥爾歸里鎭里給閉留神靈波。本理乃隨々。神乃位爾鎭里坐之。大神等乃廣伎厚伎御治乎毛。御心足比爾受坐須倍之。如此高久貴久鎭里坐豆婆。其奇支神靈乃幸比爾。自今以後波又更爾。國乃爲爾毛皇朝廷乃爲爾毛。深久遠久所念量里。世爾著明伎御驗乎毛顯之示之給閉乃乞祈奉留事乎。畏加禮杼。幽冥大神爾毛。深久請願奉里豆。神靈齋比鎭米奉良久乎。相宇豆那比聞食世乃。机代乃宇豆乃御饌御酒。種々乃物乎擎氣供閉奉里置豆。畏美畏美毛白須。」

同葬儀前日靈祭詞

（諄辭集）

言麻久毛恐久慨伎。大勳位朝彥親王尊乃御靈乃御前爾。齋主大敎正本居豐穎。畏美畏美毛白佐久。」安波禮汝尊乃薨給比之事狀乃。甚毛俄爾致無里之波。是乃京爾在留人須良。驚伎惑比奉里氣良之。雞賀鳴久東乃京。及其他乃所々爾在留人々波。況豆現乃事乃志毛思比知良射留倍之。掛麻久毛畏伎。天皇乃大御慮波。懸豆申佐牟毛惶伎乎。親王等毛急伎參來坐之。官人等毛次々參里豆。今波其御葬乃事乃急伎爾。伊曾波伎仕奉里豆在里。豐穎波多。齋主仕奉留倍伎由乃命乎蒙里持豆急伎參禮里。故御靈移乃式乎昨日仕奉禮留爾。今日波即豆。御葬乎明日乃。云布日爾成里豆在留賀故爾。畏美愼美毛。是乃御前爾參集侍里豆。御酒御饌海山乃御机代乃物捧氣奉里。拜美仕奉留事狀乎。平氣久安氣久聞食世乃。恐美恐美毛白須。」

同棺前祭詞

（諄辭集）

今更爾仰久毛畏久拜牟毛哀伎。大勳位朝彥親王尊乃御棺乃御前爾。齋主大敎正本居豐穎畏畏美畏美毛申佐久。」安波禮繰返之懸豆申須毛畏氣禮杼。皇大神宮乃祭主乃仕奉里給比之汝尊爾波坐世杼毛。是乃

大殿乎即ち神宮乃状成須注連引延。白妙乃御裝飾仕閉ち。忌々志久恐伎御祭典乎眞似ち仕奉良牟ち波。人皆毛思比懸奉良受。汝尊乃御心爾毛所念寄良受坐氣牟乎。皇大神乃大御護毛。現身乃忌々志伎御病。畏伎憂瀬乃極爾波。爲牟術無支世古曾。哀志伎慣那禮。如此慨美歎伎惜美奉留毛。還留由無久思布可比無伎事爾之有禮婆。人々諸泣々毛。御葬乃儀廣久厚久仕奉留ち。東山乃御墓處乃。石垣固久石城深久。仕奉留手人賀和射毛事竟ち。今日ち定米之言乃隨々。御棺舁上此大殿乎出之奉良牟ち爲留乎以ち。式乃任爾禮代乃物等捧氣置足波志ち。人々拜美仕奉留事狀乎。平氣久聞食ち。御心毛平穩爾退里出坐世ち。畏美畏美毛白須。」

同　葬場祭詞

（諄辭集）

是乃齋場爾暫安米令坐奉留。懸麻久毛恐伎。神宮祭主大勳位朝彦親王尊乃御棺乃大前爾。齋主大教正本居豐穎。畏美畏美毛白佐久。安波禮汝親王尊乃御棺乎護里送里參來ち。今保々登々爾奥通紀爾埋米奉良牟ち爲ち。仕奉留是乃齋場乃御祭波。實爾現御身乃一世乃終乃大伎御式ち思布爾波。過爾之年月遙爾思出列禰ち。深久忍毘高久仰伎ち。稱言竟奉留倍伎由有里。曾毋汝尊波志毛。一品邦家親王尊乃御子爾志ち。文政七年正月廿八日爾生坐ち。後仁孝天皇乃大御子乃列爾養波衣坐氣留賀。當時乃大御代乃慣乃任爾。南都乃一乘院爾入坐ち。尊應法親王ち稱閉申之。又粟田乃青蓮院爾移里坐ち波。尊融法親王ち稱閉申志伎。其方爾ち波天台座主ち云布尊伎御名乎毛負持坐ち在氣禮杼。國乎所念皇賀大御稜威乎古爾復佐牟ち。雄々志久健毘所念ち。同意爾心乎盡志々人々ち。忍毘爾忍毘爾談良比給比之事所顯ち。一度波有良奴園生乃竹群深久。世乃憂節乎和備坐多里之毛。清伎明伎御心波。週留月日ち共爾隈無久所顯ち。後遂爾法乃衣波脫棄ち。文久三年彈正尹爾任佐衣給比。中川宮親王ち稱閉ち。彌々益々朝

廷乃爲爾進美健毘豆。事議里都々坐氣留乎。又更爾天津日乃光乎覆布群雲迷比豆。遠々志安礒乃國邊爾。伊夫世伎年月乎叙經給比之。如此久豆明治乃此大御代乃光高知留時刀成豆。年月久爾晴禮美曇里美。行交比迷比之浮雲毛。消豆跡無伎大御身刀。名具波志伎久邇宮刀毛稱閉申之。三品二品刀其御位毛進美坐之。神宮祭主乃重伎職爾任佐衣坐豆。專其御意乎大神宮乃事爾盡志。大殿爾坐豆波廣久內外乃人乎隔受。能久人々乎毛惠美給比勵末之給比。又其御位毛上無伎大勳位乎賜里坐志。御子等毛多久立榮衣坐豆在禮婆。今波內外爾何乃所念惱麻須倍伎。由毛無久。樂志久靜那留老乃御世乃御榮波。神路乃山乃矛杉乃高久嚴志久五十鈴川流留々水乃清久遠久。又御心波折々乃花爾紅葉爾月爾雪爾。御心乃行久隨々千世毋刀古曾祈里奉里志加。大御記章乃菊花今盛那留時爾志毛。如此敢無久薨給閉留波實爾哀伎契那賀良。年來乃御心盡。遂爾如此有留此大御代乃御隆爾遇坐之仕奉良須神宮乃大宮造毛。全久愛多久事成竟坐氣留乎思閉婆。今波所念遺須事毛坐佐自。又今如此薨給布事乎聞食歎伎大坐々須刀。天皇與里毛皇大后宮與里毛。皇后宮與里毛。皇太子與里毛。各別爾大御使以豆御玉串捧奉良志米給比。親王等諸毛。皆共爾參出拜美給布事狀乎相宇豆那比思食之。畏加禮杼毛。年來大御惠乎蒙里給比之。仁孝。孝明二柱乃天皇毛鎭里坐留。此月輪乃東山乃御陵近伎奧通紀處爾。遠永久隱里給比豆。尙天皇等乃御許離禮受。神鎭里鎭里坐世止。畏美畏美毛白須。」

同　埋葬喪主奉告詞

言麻久母哀伎。我父親王尊乃棺乎。此東山乃月輪乃地乃。御墓爾埋米奉留爾依豆。齋主等賀仕奉留祭式波既爾事竟奴。故今那母奧通紀乃底深久埋米鎭米奉良久乎聞食豆。御心毋安氣久鎭里給閉止白須。」

同　葬祭翌日靈祭詞

掛麻久毛恐伎。大勳位朝彦親王尊乃御靈乃御前爾。齋主大敎正本居豐穎恐美恐美毛白佐久。」安波禮。汝尊乃蒐給比之事乎。哀美忍毘奉良久毛。尙御棺乎此大殿內爾留米令坐奉里之間波。親志久御前爾侍良比仕布留心知爲之毛。御葬儀乎昨日仕奉里竟豆。俄爾寂志久靜氣久成奴留此殿內爾侍良布人々波。紛留々方無久慰牟由無久。更爾悲久奉里豆在留事狀毛。眞明氣久見曾那波之。熟良爾知食佐婆今日毛亦式乃隨々。廣久厚久御祭典仕奉留事乎。平氣久安氣久。相宇豆那比聞食世止。畏美畏美毛白須。」

同 墓前祭詞 （諺辭集）

是乃東山乃月輪乃御陵近伎地乃奥都伎爾收米仕奉禮留。大勳位朝彦親王尊乃御墓乃御前爾。畏美拜白佐久。」阿波禮。昨日乃御葬儀指建列禰之御旗乃影爾波。心無伎野山乃草木毛。依豆靡伎枝葉乎垂禮。安波禮爾哀久吹澄志都留物乃音爾波。何那良奴林乃鳥毛諸聲爾泣豆叙。御棺波見奉里送里御供仕奉里氣牟。」況豆是乃京爾在里豆。年久爾深伎大御惠乎受蒙里之人々。又此御葬乃事乎聞愕伎豆急伎參來之人皆。共爾是乃御山毛所狹伎麻傳。後禮自漏禮自刀參來拜美奉里之毛。既爾昨日乃空刀成里豆。今日此御前爾參來仕奉里豆見禮婆。御旗乃照妙明妙。榊乃青葉草木乃花叙。尙此御前去受志豆仕奉禮留。安波禮常波大殿乃內深久大坐坐。御子等饒備住給閉里之貴乃御身毛。今波如此寂志久靜氣伎御山邊爾。大殿避里鎭里坐須乎。更爾哀美畏美都々。今日毛亦是乃御前爾御祭典仕奉留刀爲豆。御饌御酒海川山野乃物捧氣奉里。拜美奉良久乎。天翔留神靈毛相宇豆那比聞食世刀。大敎正本居豐穎畏美畏美毛白須。」

發葬詞

（大祓散葬祭式）

云麻久母悲志支。某命乃棺乃御前爾。謹美敬比白左久。阿波禮現身乃人乃世波。周辨無支物爾母有留加母。側去受仕志父母母。身退奴禮婆奧都城乃奧深久葬埋米氐。侍布事乎得受。起臥乎共爾爲志妻子母亡體刀爲禮婆。人住奴野山爾送氐。交布由無志。然波雖有。其神靈波常久爾消受失世受。神列爾入氐。彌榮爾榮延。子孫乃守護神刀有倍支物奈禮婆。汝命乃神靈波。此家內爾齋比鎭米奉利氐波有都々母幽冥乃隔有氐。言問比語比奉留術母無禮婆。親族家族波更奈利。親支諸人等。御枕邊爾棲遑比。御脚邊爾匍匐比氐。歎支憂比慕奉利。御體乎多爾。今暫停米置氐仕奉良麻久思閉杼母。悲支加母慨支加母現身乃慣刀。如此奈我良有留倍支由母無禮婆。今日乎御葬乃日刀齋比定米氐。內外乃棺乃板波。厚久廣久清久堅久作備閉氐。瑞乃御坐所乃仕奉氐。玩給比賞給比志。種々乃物乎母取添氐。御輿昇奉利。御舘乎出坐左志米奉利氐。御葬地乃底津岩根爾。石垣築固米。瑞籬結廻志。千代乃住處刀齋比定米氐。汝命乃御名波不放不失志亘。萬代乃欽慕爾爲奉刀。堅石爾彫良志米。奧都城乃表刀爲氐。子孫乃次々。春秋乃永世爾參出候比氐。御祭禮仕奉留倍久。事議利設置氐。遷志坐世奉良牟刀爲留我故爾。親族家族乎始。常爾親給比志諸人等波。廬垣乃間近支鄉々波更也。雲居成遠支境母。風乃音乃疾久聞傳閉氐。村鳥乃群利競比來氐。現世乃御別爾波後禮自。今日乎限乃御供爾波洩禮自刀各母愼美敬比仕奉氐。捧持都御旗乃列正志久並毘立知。箒持丁乃掃清牟留。道乃長手母所狹萬傳。護奉利送奉良牟刀須。故御送乃御祭仕奉留刀爲氐。奉留御饌物波。安御食乃足御食止聞食氐。出坐須道乃八十隈恙牟事無久。後安久罷通良志氐。平氣久鎭坐世刀白須。」

葬祭祝詞

（祝詞文集）

云巻者畏加禮杼。何某乃槨乃前仁。親族諸共仁集侍氐。奧山乃榮樹賀

枝乎打折持來豆。御前爾差立。生井榮井乃眞清水乎。汲上持來豆。玉垸爾盛豆。稱言竟奉良久。」何某賀顯世仁坐志時波。其家職乎。千引石乃重久謹美守良比坐豆。朝御門闢久朝與里。夕御門閤流夕麻豆。宮仕乃業仁怠緩牟事無久。勤締里。功志久正志久坐氣流乎。於毋保佐奴遣病爾罹里。遂仁顯世乎退坐奴禮婆。云牟便毋無久。爲牟便毋志良仁。惜久悲久波在計里。」

如此乃美仁毋在得禰婆。上代乃例乃儘仁。喪屋乎作里豆。掃持。岐佐理持。御食人乎始米。碓女。哭女仁至麻豆。取與呂比取與曾比奉仕。代々乃祖乃墓所仁葬奉牟止爲豆。誄詞白奉流。」如此現身乎婆離坐止毋。其靈波天翔國翔里豆。子孫末乎守護給閉止。畏美畏美毋白須。」

誄詞

（逸見仲三郎稿）

可惜志伎某命乃御靈能前爾白左久。」汝命波。「姓名」翁乃眞名子仁之豆。某乃年月日。某乃所仁生禮座志氏。天性聰久怜悧志久。幼少與利常爾父母乃敎訓乎守里。最善久孝比事閇給比志乃美爾阿良受。忠直仁雄々志久憐愍深久。物學妙爾勝禮天座志祁禮婆。小供奈賀良仁。友垣爾敬波禮都々成人里座志支。」年號月日「年齡」乃時。「住所」乃「姓名」乃何女何某乎迎閇天嫡妻止爲。年號月日爾波老翁乃讓乎受祁豆。家督乎繼給比。其與利以來彌益々爾雄心振起志。勤米約利豆家乃業乎起志。行事乎正志久爲豆公事仁從比。他人乃愁乎見豆波共爾憂閇。他人乃喜乎聞支豆波共爾悅備給布奈杼。全久其身乃事乃如久奈禮婆。私心露婆加里無久。專內外乃裨益爾那良牟事乃美意止爲豆。不絕爾勤勞美給比祁禮婆。年號月日。何乃官職爾任左禮。次豆年號月日。何官職爾進美。何位爾叙左禮給比天。遠方近方乃人々。知留毋知良奴毛。見敬比聞貴布古止。斜那羅受奈毋有利氣流。」然留乎吉事爾凶事伊次具世乃中止豆加。「年號」乃春能末與里。不意久病爾罹利。甚久苦悶美給比介禮婆。家族親族打集比。朝暮不去看護利。醫藥方術乎始米。有利止有留事等。遺

留事無久盡世利之可杼。其効無久。愛支也志妻哀毋置豆。浦若支子等乎毋棄豆。「年號月日」乃黄昏爾。年齢「何歳」乎。惜良此乃世乃限止爲豆。逝久水乃逝支天還良奴八十坰路爾。隱去座志之波。悲志止毛痛麻史登毋。言波牟方無支事爾奈毋。」阿波禮。汝命乃召志給比爾志馬波。明日與利誰加毛乘世牟。愛傳給比爾志鳥波。明日與里誰加毛賞傳牟。床乃花。庭乃草木毛。萎美枯禮奈牟。哀者波人婆加里加波。況志豆常住不變爾止憑米里志家族親族波。暗夜爾燈火消志事乃如久爾。愁惑閉杼。世間乃定例毛有利豆。然豆志毛在良禰婆。甚惜志支御亡骸乎昇擧祁豆。法乃隨爾代々乃御墓爾葬里奉良牟止志氐。出立太寸行列毛整理奴禮婆。齋官等前後乎守護奉里。親族朋友等御供奉仕良久乎。心安久所聞食諸比給閉止。袖乃涙乎搔拂比都々。某誄言謹美豆白須。」

埋葬詞

（天社教葬祭式）

云布毋悲久思布毋悔志支某命也。其神靈乎婆家内爾齋比鎭米置豆。今如此遺體乎藏米奴留御櫃乎。奥津城乃奥深久埋米奉奴。」故自今以後。汝命乃千代乃住處乃。親族家族參利拜美仕奉良牟事乎聞食豆。石垣乃動無久。安計久鎭利坐世乃白須。」

祓詞

（同上）

掛巻毋恐支。祓戸大神等。今日波志毋。某乃葬儀仕奉訖奴留爾因氐。此家乃内外。及家族親族乎始。葬場爾集比志諸人爾至留萬傳祓清武留事乎。相諾給比豆。清々志久成幸給方止。白須事乎聞食止。恐美恐美毋白須。」

十五、靈祭の諄辭

○靈祭の一

〔語例〕

斯久婆加里幽明乃。世界波隔津禮杼。

は隔ててあれど」となり。

これほどに、幽冥の世と、現在の世と

愛志支容姿。今毛殘里氐忘禮難禰。
れがたし」となり。愛らしき人の顔貌が、今も目に殘りて忘
勞波志加里志姿波。朝奈夕奈仁見衣隱連氐。悔志左乃遣方无支波。詮
術毛無志。いた〳〵しくありし小兒の樣子が、朝夕に見えたり隱れたりして、死に
しことの悔しさ、やる方なきはせんすべもなし」となり。
汝命乃身亡世座世禮婆。妻君波織弱支女乃。捨小舟憑邊無久天。貴
方が身うせましからに、妻君はかよわき女のことゝて、漂ふ捨小舟の如く、憑るべ
きたよりもなくて」となり。
憑邊無支身乃悲志支中仁毛。操正志久女乃道乎守里。身乎脩米家乎
保知氐。たよりとすべき人もなき身の悲しきが中にも、女の操正しくて、よく女の
道を守り、身を修め家を保ちて」となり。
汝命乎露耻志米給波奴加良仁。先祖乃名墜左受。今日斯久御祭仕奉
良久乎。心安久聞召世。貴方をしも恥かしめなさらぬ故に、從ひて先祖の名を
墜さずと、今日かく御祭することを、心安く聞しめせ」となり。
汝命乃此現世仁存在志々時波。苅薦乃亂禮氐有里介留乎。
貴君の世にましゝ時は、世の中が苅薦の如く亂れて有りけるを」となり。
汝命波甚久憂比氐。西仁東仁驅走里說廻里氐。道乃大路乎開展支給
閉婆。汝命は國狀を甚だ心配せられ、西に東に驅け走りて、吾が國の大道の發展を謀
りなされたから」となり。
今波其恩賴仁依里氐。物事文明介進美氐。足整閉留都乃狀態乎見曾
奈波世。只今は、汝命の御恩に依りて、事物もいよ〳〵開け進みて、何も足らはぬこ
となき、都市の狀を御覽なされ」となり。
阿波禮。今日乃御靈祭仁。名」拙久賤志支身乎以氐。齋主仕奉良久。聞
えたるが如し。
阿波禮。幾度奈何仁回想す毛。詮術無支事刀波知里津々毛。あゝいく
たび、如何に思ひかへすとも、せん方なきことゝは知りながら」となり。
忘良衣難支波。汝命乃此現世仁在里志昔乃事奈里介里。忘れむとし
ても、忘れられぬは、汝命の世にありし昔の事なり」となり。
此家乃主人乎始米。親族故舊等諸仁代里。聞えたるが如し。
中執持氐御祭仕奉留。故舊「姓名」謹美拜美氐申次。御靈神と遺族故舊と

の中を執りもちて、故舊の一人なる某謹み拜みて白す」となり。

汝命乃逝去給比仁志其時波。妻君始米親族兄弟乃悲牟乎見氐。閉えたるが如し。

憂世乃中乃苦痛乎知良奴小兒毛。然寸賀仁哀牟加良仁。未だこの世の苦痛などを知らざる小兒さへも、さはいへど哀むが故に」となり。

慰米良禮津慰米津。爲牟術無計禮婆諦米氐勤牟間仁。共に〳〵慰められたり、慰めたりして、せんやうもなければ、諦めて勤むるほどに」となり。

日月重里成長計氐。男君某波。某乃年月。某學校仁氏。學乃業乎卒給比。御死後、月日も重りて、男子某君は年月某學校を卒業して」となり。

姫君毛何々乃業修了閉。聞えたるが如し。

汝命夜。見曾奈波世。汝命乃掌乃玉刀。慈愛志美宇育志給比志。汝命乃男君毛。女君毛。學乃道仁。心乃手綱暫久毛緩米奴志左閉深介禮婆。

汝命よ御覽せよ、汝命の玉のやうにして、愛し育てなされし男君も、女君も、學問の道に、心の手綱を暫くも緩めぬ志さへ深くあれば」となり。

日仁異仁進美天。咲久花乃美波志支乎。阿波禮樂志刀思召氐。心安久今日乃御祭享介給閉。日毎に學問が進み、咲く花の如く美しきを、あゝ樂しと思ひなされて、安心して今日の御祭をうけ給へ」となり。

忌々志加禮杼。白玉乃光美志支御子刀。生出良衣志甲斐毛那久。忌まゝしきことなれど、白玉の如き光の美はしきがごとく美はしき立派なる御子と生れ出でられしかひもなくとなり。

果無久失氐隱里坐志氣留。昔乃秋乃長息乃狹霧波。今尙晴受。はかなくて、隱れゆかれし昔の秋の夜の歎息の眞霧(憂鬱の心は)今に尙ほ晴れず」となり。

此秋乃月乃夜頃波。登母爲禮婆雲立覆比氐光乎隱志。この秋の月の夜は、やゝもすれば雲が立ち覆ひて、その光を隱すとなり。これは己の歎く心よりして、さやうに見ゆるをいへり。

八千種乃花乃盛乃秋乃野波。雨風荒毘勝那留慣乎思布仁毛。實仁爲牟術毛无支。人世乃理奈里。あまたの草花の盛に咲ける秋の野は、定めなく雨風あらび勝ちなる慣ひなるを、思ふにつけても、實にせん方なき人の世の理なり」となり。

安波禮。今年波五年乃御祭刀毛成里奴。閉えたるが如し。

安波禮。璞乃年乃十年乎過奴禮婆。大方世乃在狀毛移里變里。璞は、年の枕詞。君の死後、已に十年を過ぎたれば、大方世の中の在樣移り變りたり」となり。

相識禮留人々仁志氐。既仁世仁无支人刀成里奴留毛少加良受。十年の間に、相識れる人にて、已に世になき人となれるも多し」となり。

安波禮汝命伊。尚世仁坐那婆。盛仁坐奴倍支御齢那留乎。あゝ、汝命よ、尚世にあられなば、まだ盛にてますべき御齢なるを」となり。

早久。十年乃昔乃人刀。忍毘奉留事古曾。術無支世奈里計禮。早くも、十年前の昔の人と、思ひ忍び申すこそ、せん方もなし」となり。

〔作例〕

家祭諄詞

（大社敎葬祭式）

畏哉某命乃神靈乃御前爾白左久。」汝命波夜。百年千年乃齢乎重氐。世乃長人乃名乎負坐事乎志。親族波更那里。諸人毛常爾多能毛志美思比都々在經志間爾。現身乃人乃慣刀。病爾波得堪給受氐。可惜此世乎離氐。幽冥爾隱坐奴禮婆。將言須便爲須便不知爾憂歎支都々毛。此如那我良日乎。經月乎累奴倍久毛有良禰波。惟神乃御掟乃任事議氐。神葬乃禮毛既功竟奴。」故瑞殿乃内外毛清良加爾攘比清米氐。種々乃物乎備奉氐。御祭仕奉留狀乎。平氣久安氣久聞食豆。幽冥知看大神乃。廣支厚支御惠乃蔭爾蔭比。浦安久樂志久坐氐。子孫乃八十續。遠支世此家乃守神刀鎭坐豆。時々乃祭乃禮乎毛。絶留事無久懈留事無久。仕奉良牟事乎相諾比給閉刀齋比奉良久乎。平氣久聞食世刀白須。」

（逸見仲三郎稿）

十日祭詞

是乃小床爾座奉利鎭奉禮留。某命乃神靈能前爾。姓名」謹美敬比豆白左久。」汝命乃逝去給比志波。眞爾夢爾夢視志事乃如久。幾度如何爾思返寸毛信祁難禰豆。尚在須毛能止在良奴容姿乎忍備都々。惜牟心乃淺萬志久。還來麻世止愚爾毛獨私爾待都間爾。月日流禮豆今日波早十日止云布日爾成爾祁里。」阿波禮悲志支加毛悔志支加毛。汝命乃身退里志波夢爾豆毛阿良邪里祁留與。何日待豆杼毛還來座佐奴。」故親

族家人打集比弖。御祭仕奉良牟止爲弖。御酒御饌初米。海川爾住牟鮮良祁支魚。野畠爾生布留珍良志支菜。種々取揃閇供奉里弖。玉串乃取々爾忍布心乃丈乎盡志弖。拜美奉留古登乃狀乎。阿奈嬉志止思召志弖。御心乎慰米御思乎晴介給閇止。畏美畏「美毋白須。」

二十日祭詞

（同上）

此乃家能奥乃眞床爾鎭麻里伊座寸。某命乃御靈乃前爾。拜美白左久。」昨日古曾御病乃狀變里弖。親族家族波心毛空爾驚支惑比。若竹爾吹朝風乃騷立志加。昨日古曾。玉緒乃緒絶座奴止。家人波爲牟術知良爾悲美嘆支弖。雲居行久山子規叫備哭志加。穴阿波禮。其甲斐毋無久遂爾敢無久成給閇禮婆。御葬仕奉利弖後毛。親族諸賀朝夕爾心淋志美。在里志世乎思續祁弖。一向爾戀奉利語良布間爾。十日波過蔓弖。今日波志毛二十日止云布日爾成爾「氣里。」故親族家族參來集比弖。御酒御饌山野海川乃物等乎。例乃任爾捧奉利弖。御祭仕奉良久乎。平介久思召宇豆那比給比弖。加禰弖現世爾在志祁留時乃。聰久賢志久直久穩志支御心奈賀良爾。父母命。又親族乃主等乃現御業乎。阿那々比助介仕奉里給閇。家人男女乎毛憐美給閇止。齋主某。宇那加夫志都々。畏美畏毋白須。」

三十日祭詞

（同上）

「某乃命」也阿波禮汝命乃。思能外爾身退給比志與利。親族兄弟諸波。朝奈夕奈爾心佐夫志美。在里志世乃事思出都々片時毛得忘禮受。一向爾戀奉利忍奉利弖繁留夏草彌深久。慰牟術無久宇羅夫禮弖乃美在留間爾。十日二十日毛過去利弖今日波三十日乃御祭仕奉留日止奈毛成利奴留。」是乎以弖。悲美波愈々增里。悔美波遣方無祁禮杼。勢米弖毛乃心遣爾止親族兄弟打集比弖。忌清回利都々御酒御饌。種々供奉利弖。御祭仕奉良久乎。相宇豆那比給閇止。恐美恐美毋白須。」

五十日祭詞

（同上）

月日乃經過都爾關守無久。朝爾歎加比夕爾語利豆。十日二十日毛過
支奴止思閉婆。今日波早久毛五十日乃御祭仕奉留日止奈利奴。阿波
禮。汝命乃手植乃松波。操乃綠其儘爾愛給比爾志梅乃匂毛昔奈賀良
爾馨禮杼毛此現世爾汝命乃坐麻左禰婆。折留力無久見留甲斐毛無
志。故親族兄弟打集比豆。例乃任爾御祭仕奉留止爲豆。禮代乃机代能
物奉里。人々諸。拜美奉留事乃狀乎。美酒乃美良爾聞食志。宇豆那比給
閉止。恐美恐美母白須。」

五十日靈祭詞 (諄辭集)

云閉婆息衝志伎長息爾聲牟世毘。思閉婆搔暮須涙爾目毛見得奴物
可良。溝口幾子命乃是乃神靈主乃前爾。齋主仕布刀本居豐頴。今日毛
又志自麻比宇那可夫志都々。畏美毛白佐久。」小山田乃井樋乃溝口。開
豆落須水流禮豆。淀麻奴事乃如久。山回留時雨乃雲乃。風速美移里過
行久事乃如久。天傳布日賀來經禮婆。夜渡留月毛廻里豆。今日波早。汝
命乃幽世乃天路知志々其日與里日々並豆五十日止云日爾毛成奴
止云里。冬夜乃長夜乃夢乃覺難爾。思比惑波衣都々在留物可良。手乎
折豆搔算禮婆信然奈里介里。伊邪也止豆神官等。例乃任爾伊集比寄
豆。弱肩爾太手次掛豆取作禮留幣帛乎。眞榊賀枝爾垂結比。海川乃御
酒魚乎嚴瓮爾添閉。山野乃御饌乃菜乎。高杯爾配里備閉捧介奉里豆。
嵐吹久林乃木葉佐良爾忍比奉里拜美奉留禮備乃事狀乎。園乃廣庭
平介久聞食。宇豆那比給閉刀。時雨爾迷布群鴉。伊群泣都々畏美畏美
毛申須。」

家廟合祭諄詞 (同上)

畏哉。某命乃御靈乃御前爾。愼敬比豆白左久。」汝命伊。現世乎去坐志與
利。遺體古曾神葬埋米奴禮。御靈波他所爾放左自刀靈璽造奉氐。此家
乃守神乃齋比鎭米支。」故日爾異爾怠良受緩麻受。心乎盡志力乎極米
氐。種々爾仕奉留間爾。早久五十日母過奴禮婆。代々乃祖。親族乃靈乎

齋比奉留。此家廟爾鎭坐志米奉氐。子孫乃遠支世爾。祭儀美志久仕奉良牟刀爲留由乎。平氣久安氣久聞食氐。代々乃祖。親族乃靈等刀共爾。御心乎一毘給比。御力乎協世給比氐。家門高久廣久。親族乃悉。夜乃守日乃守爾守幸方給方刀白須。」

百日祭詞

（逸見仲三郎）

是乃小床爾令座奉利齋奉留。「官位姓名」乃神靈乃前爾。恐美恐美母白左久。」晝波日能暮留流迄。夜波夜乃明久留極美。物爾觸禮事爾附介豆波。一向爾汝命乃存在之時乃事能美。思煩良比歎語良比都々阿留乎。然須賀爾月日乃來經行久隨爾。今日波十日止云日爾毋成奴。明日波二十日乃御祭日毛來向比奴止。其時々々爾御祭仕奉利豆在祁留我。日波流留々水乃如久。吾等賀爲仁止留事無介禮婆。今日波早百日乃御祭仕奉留陪支日止波成奴。故御祭仕奉留止爲豆。御酒御饌魚菜。時乃菓物止何々乎毛齋机爾置足波志豆獻良久乎心安久聞食受給比豆。

行末永久。子孫乃家門高久廣久榮延行久世乎見曾那波志。彌張里行加牟家業乃彌繁久。殖里行加牟子孫乃彌隆盛乎。宇麻志悅婆志止思召豆。守護里給比助介給閉止。恐美恐美母白須。」

一年祭詞

（同　上）

散過志花乎尋奴留鶯乃。青葉爾惑布事乃如久。影消志月乃跡問布子規乃。雨間乎潛里啼久狀乃如久。親族家人集比豆波語良比嘆支。立別禮獨居利豆波。思巡良志戀忍備悲牟間爾月日避利天。今日波早。一年乃御祭仕奉留陪支日止波爲利奴。阿波禮去年乃今日爾氐阿里祁留加毛。御病乃狀頓爾變里天事絕延坐世禮婆。在合比之人乃悉叫備哭志波。宜小林乃梢乃蟬毋去年戀布止。照日乃空爾音鳴暮志。雲居吹久初秋風毋。佐夫志美止月乃影爾也吹明須良牟。故親族家族友人等。相集比打寄利豆。心盡乃幣帛止御酒御饌種々供奉利豆。御祭仕奉良久乎。心安久思召豆。今毋往前毛。是家乃內外毋穩爾。事無久治米志免給

閉。整閉志米給閉。夜乃守日能守爾。佐介導支幸閉給閉止。某謹美敬比
旦白寸。」

三年祭詞

（同　上）

花乃頃月能夕母。君之座禰婆。淋之佐爾思沈美天。折留力無久觀留甲
斐無久旦。寄里旦語良比。別連旦波獨悲牟。嘆乃月日重利旦。來經行久
年母三回利奴。」故三年乃御祭仕奉良牟止爲旦。朝母夙米天忌清米。御
靈所波拂清米旦。御酒御饌。鰭乃廣物。鰭乃狹物。奥津藻菜邊津藻菜。甘
菜辛菜。時能木實止。種々乃心盡乃幣帛奉利。親族家人。及汝命乃現世
爾存在之時能友人打集比天。各々心乃丈乎告奉里。拜美奉留事乃狀
乎。阿奈嬉志悦婆志止思召旦。短夜乃假寢乃夢能覺賀旦爾。忍奉良寸
心々乎。阿波禮止母見曾奈波志旦。彦君姫君等乃末能榮乎。天翔里空
翔里氏。守護給閉幸閉給邊止。畏美畏美母白寸。」

靈祭諄詞

（祝詞文集）

奈麻與美乃甲斐國。千代與保富都留郡。名細吉田乃鄉乃神社仁奉仕。
何氏乃奥乃小床乎。嚴乃磐境止掃清米。庭乃小柴乎天神離止差立旦。
先津祖達乃御靈乎。暫此所仁招奉坐世奉旦。親族者列々椿列々仁居
並。延蔓乃伊波比拜美旦奉留幣者。神達乃讓賜比志物實仁與禮留味
稻乎。御酒仁母醸分。餅仁母搗分。飯仁母炊分旦。祖達乃常仁見曾奈波
志々御園仁生太流。甘菜辛菜乎摘美持來旦。奉獻此御饌津物乎。安介
久平介久聞食旦。此家乃祖達乃御末乎。天地乃與常磐仁堅石仁守護
給旦。思比慮奴過在牟乎波。神諭仁諭志給比。身仁罹留災乃來牟乎婆。
夢仁母現仁母爲知給。禍神乃禍人仁託旦。禍奈須禍事乎波。祖神達乃
稜威乎輝志旦打誅米賜比旦。母奈久事奈久。宮仕仁津々美不令在。祖
達乃御末仁生流、裔乃末仁至萬氏。祖達乃御名乎穢奉留事乃阿良慈
止。直久正久志乃篤加良牟子等生佐世賜比旦。槻木乃彌繼々仁令榮
賜閉止。種々祈白事乎。懸卷者畏支。淺間大神乃御許仁。事執奏賜閉止。

畏美畏毋申須。」

每朝祖靈拜詞

（大祉教會諄辭集）

遠津御祖。歷世之祖等。生族家族乃神靈等乃前仁白左久。」廣支厚支御惠乃蔭仁隱呂比。喪無久事無久有經留事乎。嬉美謝比稱言竟奉良久乎。御心毛宇良氣聞食志豆。日仁異仁恪美勤牟留家乃業乎。彌奬米仁奬米給比。親族朋友他諸人乎毋睦集閉豆。惠良惠良仁笑比賜布家止令有給。子孫乃彌繼々々家門彌高仁彌廣仁。令立榮給閉止。愼美敬比毛白須。」

父翁墓改葬祭詞

（諄辭集）

後乃御名波。彌足功績道根大人刀申志豆仰奉留。知々乃實乃父命乃奧墓乃前爾。本居豐頴。畏美拜美毛白佐久。」安波禮父命。此現世乎避里給比志年與里今年麻傳三十年經多里。如是來經往久年月乃間別豆。明治乃今乃大御代止成奴留。此十餘年乃春秋乃內爾波。世中乃形狀。及國內乃事業種々爾移里變里豆。昔那賀良乃心乎以豆思比見禮婆。物每爾見驚伎。事每爾聞愕久事狀那留乎。父命乃靈毛。幽冥與里見聞給比豆。如是開氣。如是改里行久事狀乎。奇志止毛珍良志止毛。樂志止毛宇牟賀志止毛所思事有倍志。」今回此品川乃驛與里。川口乃地麻傳乃。車走良須留鐵乃道墾作留止。其道爾障留墓等波。皆他所爾移志治留事那留賀故爾。甚畏氣禮杼。御骸乎毛。更爾此所爾移志治米鎭米奉里奴。」學祖那留縣居大人乃奧都伎毛。前爾移志改米治米志乎。今此地爾移志座世豆。二度縣居大人乃墓間近久成奴留毛。自然奇伎契止申須倍之。」故禮代乃机代乃物捧氣豆。祭事仕奉里拜美奉留事狀乎。天翔留神靈毛。相宇豆那比給比。如是仕奉留爾依豆。手人等賀。自然禮無久過犯志氣牟事等波。廣伎御心爾見直志聞直志座豆。今與里後。遠永久生子乃八十連續。參來拜美仕奉良志米給邊止。畏美畏美毛白須。」

○靈祭の二

祝詞作文便覽　語例作例の十五

〔語例〕

御像掛奉里。御靈代座奉里氐齋奉留。　祭神の畫像を掛け、又、御靈代をも安置して祭り申す」となり。

伊佐々群竹些加毛報伊奉里禮毘奉留刀。　伊佐々群竹は、些の序語なり、少しなりとも、功德に報いて敬ひ奉らむとして」となり、

入紐乃同心乃人等乎。群雀談良比集閉。宇受須麻里居氐。　入紐は、同じの枕辭なり。同じ志の人等を、群る雀の如く語らひ集めて群り居て」となり。

古乃野中乃清水。埋禮來志事蹟。　古の野中を流るゝ清水の、年を經て埋れはてたる如くに埋れて、世に知られずなりたる人の事蹟なり。

中今乃世仁其名聞衣氐。專歷代乃御史仁勞久博士等。　古にあらず、後にあらざる、中今の世に、其の名も聞えて、專ら代々の歷史研究に勞づける博士等が」となり。

神靈乎慰米拜美。酒美豆伎美豆伎樂美。　神靈を慰め拜み、酒もりをして樂みす」となり。

貧奈貧奈其事業乎成得志米給閉刀。　其の人々の身分相應に、其の事業を成し得しめ賜へ」となり。

世世遠久靡支榮衣。末長久花咲袁々留藤原氏。　代々久しく遠く榮え、末長く咲く花の盛りにたなびける(以上藤の序詞)藤原氏となり。

蘇我乃川浪逆仁流禮。嵐吹支雲立掩比氐。天津日乃光毛。保止々々隱里奈牟刀爲志時。　蘇我の入鹿父子が逆心を抱きて、天位を窺ひ奉らむとせし時のことをたとへていへる」なり。

南淵乃細川水乃木隱仁。深支御心乎下仁通波世。　鎌足公が、中大兄皇子(後の天智天皇)を奉じて、蘇我氏を滅さむとて、皇子と共に、南淵先生に通學し、その道すがら、密に謀議せられしことをいへるなり。

大寺乃槻乃木蔭乃鞠古由仁。高支御心乎上仁通波世。　法興寺の境内なる槻樹の下にて、中大兄の蹴鞠し給ひし時、御靴の脫けしを、鎌足公取りてさゝげ奉りしより、殊に親密になりしをいふ。

櫻花輝久宮乃深見艸富留殿。　櫻花の如き富める殿」といへるなり。

日刺方乃天雲乃上往久鳥仁波鶴乎指志。荒金乃地仁生立津木乃中成し得しめ賜へ」となり。

仁波松乎以氐。久志支物乃千年經留物刀世仁云閉留。　日刺方乃は、天の枕辭なり。天雲の棚引く空を行く鳥には、鶴を指して久しく生くるものといひ、荒金乃は、地の枕辭なり。地に生ひ立つ木には、松を久しきものとして、千年も經る物と世に云へるなり」となり。

千年刀波言仁古曾易久毛言波米。實仁千年乃年月乎。同物乃上仁志毛讀計布留波。甚難氣那留人世那里。　千年などゝ、言葉にていはゞいひやすし。實に千年といふ年月を、同物の上にて數ふることは、甚だ得難き人の世なり」となり。

遠祖乃千年乃祭乃後麻傳毛。家名變良受。樛木乃彌繼々仁立榮衣氐。　遠祖の千年祭を行ふ後の世までも、家の名譽變らず、(樛木のは繼々の枕辭なり)繼々次第〳〵に立ち榮えて」となり、

家乃風彌高々仁打靡支仕奉里。　家風を、いよ〳〵高々に吹き靡かせて、宮仕へ申す」となり。

山河乃底乃埋木。年久仁埋禮氐現波衣受。　山河の底なる埋木の如く、年久しく埋れて世に現はれず」となり。

神乃秀倉乃古鏡。塵居氐。光所見謝里之。惟神乃可美大道。　神の秀倉(神寶を藏むる倉)にある古鏡に、塵がたまりて、光も見えざる如く、くもりてありし惟神の大道を」となり。

古乃眞乃道乃趣。尊支皇大御國乃國體乎。眞澄乃鏡。眞明氣久見明良米給比。　古の眞の道の趣きや、尊き皇國の國柄を、澄みわたる鏡の如くに、明けく見明らめ給ひて」となり。

百八十卷乃書等乎。菅根乃禰母許呂仁書記志。敎諭志給比志賀故仁。　多くの書冊を(菅根のは、禰母許呂の枕辭なり)懇に、書き記し敎へ諭し給ひしが故に」となり。

天下乃人皆毛。漸々仁眞乃道乃趣乎識里。　天下の人々も、大人等の御蔭にて、やう〳〵に、眞の道の趣を識れり」となり。

皇我大御統乃綾仁尊久畏支事由乎毛。知里辨布留世刀波成里仁多里。　吾が皇統のああといふばかり、尊く畏き譯をも、人々の知り辨ふる世とはなりたり」となり。

廣支御功。高支御名波。年々月々仁著明久現波衣。　廣き御功德や、高き御

名は、年々月々著く現はれ出でて」となり。

掛巻毛畏支。皇朝廷仁毋。賞給比擧給布刀。其奥墓所仁。祭粢料乃金乎賜比。恐れ多くも、朝廷より、其の功徳を賞揚しなさるとて、其の墓に向ひて、祭粢料を下し給ひ」となり。

大人命等乃神靈伊。天翔國翔。如何仁嬉志止思保寸良牟。大人等の神靈よ、天地を翔りて、如何にか嬉しく悦ばしく、今回の朝廷の御思召のほどを喜び給ふらむ」となり。

汝命乃御裔刀在留生子乃繼々。御教乎受傳留千萬人乃氏々名々乎毛。彌廣仁立榮衣志米守里惠給比。汝命の御裔なる代々の子孫、及び御教を受けつたふる弟子筋の多くの人々をも、彌々幸福ならしめ給へ」となり。

皇我大御稜威乎。今乃世仁天加々志國加々志給布。天皇の大なる御威徳を、今の世に、天にかゝやかし、地に輝かし給ふ」となり。

稜威乃雄詰詰比論比給閑留仁因留。大人等の猛き勢もて、議論をなし給へるに由る」となり。

熟仁當時乃世乎反省思閑婆。種々忍比出留事乃美曾多加里介留。

つく〳〵と、當時の世をかへりみ思へば、いろ〳〵思ひ出すことのみぞ多くありき」となり。

素與里御性武久。雄々志久。知才深久坐介禮婆。元來、御性質が武々しく勇ましくて、才智深くおらせられたれば」となり。

道乃蘊奥乎究米明米給比支。聞えたるが如し。

專教子乎育比導支給比志乎。聞えたるが如し。

彌益學乃道仁伊曾波伎務米給比之加婆。伊曾波伎は、勤むること、他は聞えたるが如し。

教子乎養比育津留事乎。已乃勤刀爲志給比。聞えたるが如し。

常仁身持嚴志久。禮儀正志久。夙仁起支夜仁寐禰。常に品行嚴に、禮儀正しく夙く起き夜に寐ぬるやうにて」となり。

御心潔久行正久。大君乎尊比敬布誠厚久。聞えたるが如し。

此處乃軍。彼所乃役刀。數度乃戰仁。奮比進美健毘競比氐。こゝがしこの軍役、數度の戰に、奮ひ進み健々しく競ひ起ちて」となり。

武支男々志支御威乎顯志。清支芳支名乎揚介給比志事。數閉盡寸可

久毛有良受。武き雄々しき御威光を顯はし、清き芳はしき名を揚げなされしこと、數へ盡されず」となり。

戰布每仁勝多奴事无久。攻留每仁取良奴事无久。　聞えたるが如し。

高久嚴支御功波。千年八百年何時加波朽知牟。　かやうに高く嚴めしき功績は、千百年經とも、朽つべきか朽ちず」となり。

深久弘支恩賴波。千萬人誰加波忘禮牟。　かやうに深く弘き御恩澤は、千萬人の多くの人々、誰か忘るゝものあるべき」となり。

一生乃事乃跡波。既久史乃上仁記志傳閉。　この君の一生涯の事蹟は、已に歷史に記して傳へたり」となり。

御國乃爲仁家乎忘禮身乎捨氐。大支功乎立氐。　聞えたるが如し。

其乃學識博久。器量深久座志氐。　聞えたるが如し。

其乃論乃筋。嚴久正久。君乎尊比國乎念布赤心深久厚久。　其の議論が嚴正にして、君を敬ひ國を思ふ誠の心が深厚にして」となり。

生乃涯。怠留事无久緩牟事无久。勵美勉米津留心盡。　一生涯怠ることなく緩むことなく、勵みつとむる心盡し（心配すること）となり。

今古曾波。望毛滿知氐。御心足良比仁思保寸良米。　今になりてこそ、君が希望通になり、御滿足に思ひ給ふらめ」となり。

〔作例〕

一品舍人親王千五百年祭祝詞（諄辭集）

此奥床乎。嚴乃眞屋刀祓比清米豆。御像掻拳奉里神靈招伎齋比奉留。掛卷毛畏伎。崇道盡敬皇帝止稱閉奉留。親王尊乃薨給比之天平七畏美毛白佐久。今年明治十八年十二月波。親王尊乃薨給比之天平七年十一月與里。千百五十年毛回里豆滿奴留爾。今志我天皇乃肇國知食須嚴御世乃足御世止。高光留天津日繼乃御代々々乃御典乃上波更那里。古乃野中乃清水埋禮來志事蹟乎毛淺茅原委曲爾温禮明佐志米給比。劍太刀稜威乃雄健毘健久雄々志伎。國乃御手風乎。御執乃梓乃弓乃末。彌高爾振起佐志米給布。大御代乃眞盛乃時爾遇豆。天下乃物識者。國々乃益荒健男等。盡爾此東京乃大宮乃邊爾寄合集比仕

奉里乎。親王尊乃勤美勞伎撰比記志進良志々御典乃巻々乎毋。入紐乃同心爾。讀說伎談合布學乃兄弟毋多那留中爾。常陸人栗田寛。大和人大澤清臣。信濃人飯田武郷。阿波人小杉榲邨等。上爾。云留此大御代乃足御代爾。此大宮乃下爾志乎。又遇得難伎親王尊乃御跡問比御祭仕奉留倍伎。此年爾志毋周里合乎。同心爾仰伎忍毘合布事乎。宇禮志美宇牟賀斯美尊美畏美乎。今日乃生日乃足日爾。久方乃天津星岡乃此家乃奥乃小床乎。祭場止清米掻拂比齋伎仕奉留。是乃御前爾。中今乃世爾其名聞衣乎。專歷代乃御史爾勞久搏士等乎始米乎。劣伎豐顯等爾至留麻傳相集閇乎。相共爾遠伎昔乃大御世乃恐伎御跡。親王尊乃高伎御勳乎仰伎忍毘。米傳多伎今乃大御世乃廣伎御榮。日本書紀乃貴伎御寶乎重志美稱閇乎。或波文爾或波歌爾或波皇國風爾。各々歌比詠米讀美祝伎乎。神靈乎慰米拜美。酒美豆伎美豆伎樂牟事狀乎。親王尊乃神靈毋。相宇豆那比聞食乎。各々學比勤志美思比勞久心々乎。助給比導給比乎。思惑波牟條々波思定米志米。思誤良牟節々波思比直佐志米。負々奈々其事業乎成得志米給閇止。乞祈奉留爾依乎。禮代乃豐御饌豐御酒。海川山野乃物乎。捧氣備閇置足波之乎。平乃宮爾天下知食志々天皇乃御齋僕本居豐顯。今日乃御祭典仕奉留人々乃爲爾。嚴鉾中取仕奉留齋主止志乎。稱言竟奉良久乎。御心毋穩爾聞食世止。畏美畏美毋白須。」辭別乎。太朝臣安萬侶命。稗田阿禮命。二大人乃御像乃前爾白佐久。汝命等乃古事乎語里繼之皇典記志傳閇給比之。大伎御功績深伎恩賴波我輩諸賀。常毋仰奉里尊毘奉里乎在留乎。今日親王尊乃御祭仕奉留止。人々諸是乃御前爾集侍里。禮代乃机代乃物捧氣拜美奉里。稱言竟奉留事狀乎。相共爾宇豆那比聞食乎。古事乃學乃道。歷世乃史乃上乃事爾勞久心々乎。汝命等乃靈毋助給比導給比乎。奇伎靈乃幸乎蒙良志米給閇止。恐美恐美毋白須。

九條殿遠祖大織冠千二百年祭詞

（諄辭集）

狹々波乃大津宮爾天下知食志天皇乃大御代與里始米豆。世々遠久
靡伎榮衣。末長久花咲袁々留藤原乃氏乃祖那留。大織冠内大臣藤原
朝臣鎌足命乃神靈乃前爾。齋主中教正兼神田神社祠官本居豐穎。慎
美敬比恐美恐美毛白佐久。」云麻久毛畏可禮杼毛。蘇我乃川浪逆爾流
禮。嵐吹雲立掩比豆。天津日乃光毛保々止々隱里奈牟止爲志時爾。南
淵乃細川水乃木隱禮爾。深伎御心乎下爾通波世。大寺乃槻乃木蔭乃
鞠古由爾。高伎御心乎上爾通波世給比志與里。皇朝廷乃御爲爾。天下
乃爲爾。心乎合世力乎盡志豆。遂爾其功乎立給比擧給比志事乃跡波。
履乃音乃高々爾云繼比豆。誰也之人可仰賀邪良牟。孰乃時爾加埋禮
牟。故其藤靡乃末乃榮並々那良受。北爾南爾枝差廣里。千枝爾五百枝
爾志美佐備繁里。其花波紫乃雲乃上高久匂満多里。其御社波多武乃
山峯行雲爾千木高知。岩賀根爾大宮柱太敷豆。櫻花輝久宮乃深見帥
富留殿那里。故其談山乃御社仕奉里志與里今年明治十年麻傳。一千

二百年爾成奴禮婆。御社爾志豆波宮司等事取議里豆大御祭仕奉留。
今日乃生日乃足日爾。是乃東京爾座須藤原乃同族乃君等伊。相議良
比相集比豆。是乃九條乃殿乃奥乃眞床爾注連曳延絹垣張豆。御靈主
乃御像掛奉里座奉里豆。禮代乃御酒御饌。海川山野乃種々乃物乎。神
官等小忌乃眞袖乃列々爾持擎介奉里。吹鳴須笛乃調爾。打合須皷乃
音乃多々志々爾。遊乃業乎毛仕奉良志米。此家君乎始刀爲豆。人々諸
八十玉串乃取々爾拜美奉良須事狀乎。相宇豆那比聞食豆。今毛行先
毛。是乃族乃人々乃身波。其花乃眞盛爾。家波其葛乃絶留事無久。又汝
命賀顯世爾仕奉良志々事乃如久。氏人諸毛。同心爾皇朝廷爾勤美仕
閉。天下爾名乎毛立志米給閉刀。汝命乃本乃職乃中臣乃業乎傳閉豆
仕奉留神官諸。庭雀宇受須麻里居豆恐美恐美毛白須。

四大人贈位祝祭祝詞

（諺辭集）

是乃高殿乃奥乃小牀乎。假乃。齋場止打拂比清米豆。齋奉里座奉留。荷

田宿禰大人。賀茂縣主大人。秋津彦美豆櫻根大人。神靈眞柱大人。四柱乃大人命乃宇豆乃御前爾。今日乃齋主仕奉留權大教正本居豐穎。畏美拜美毛申佐久。安波禮大人命等伊。此現世爾追續豆。神那賀良生出給比然生出給比之國所波。西爾東爾避里豆在留毛。直久正之久太久嚴之伎。磯城島乃日本心波唯一重爾之豆。山河乃底乃埋木。年久爾埋禮豆現波衣受。神乃秀倉乃古鏡。塵居豆光所見謝里之。惟神乃可美大道乃趣。高光留天津日繼乃古事波更那里。古乃朝廷乃御法毛。國風乃言葉乃定毛。皆大人命等乃高伎御蔭。廣伎御教爾依豆古曾。天下乃人皆。國風乃眞乃趣乎知里。古乃史等讀解伎辨閇心得留世止波成爾計禮。如此天下乃人皆賀國風乎辨閇。古乃史讀解伎得留乃美爾非受。天下乃大政古爾復里。皇賀大御稜威。今世爾天加々志。國加々志給布事乃。大方乃世乃在狀乃。自然如是成來奴留事止波言布物加良。是即豆大人命等乃國加々志給比。稜威乃雄誥。誥比論比給閇留爾因留事止。

言佐閇久外國人須良既久論比伎。故是以。大人命等乃大功。深伎勞乎。撫給比褒給比治給布止。今回皇賀畏伎大命以豆。汝四柱乃大人命爾。正四位乎之毛贈給比授給閇里。此事狀波。大人命等乃亡後乃御榮那留乃美爾非受。其御齋止在留光表。豐穎。胤雄等波云毛更那里。其御教乃末爾列留人等諸賀。心足比面起志爾。畏美尊比嬉美樂牟心乃餘爾入紐乃同心乃人等乎。相誘比相集閇豆。今日乃生日乃足日爾。御祭典仕奉里。又春花山々爾咲滿里止云布事乎。己毛己毛心々爾歌比詠米。言擧稱閇豆。神靈乎慰米奉里。直會乃酒美豆伎。美豆伎宇羅宜。赤心乃眞心爾。壽回保之。樂之美宇多宜爲留事狀乎。相宇豆那比聞食豆。大人命等乃御心乎心止之。御敎止志豆。惟神乃可美大道。高光留天津日繼乃古事乎學比明良米。古乃朝廷乃御法。國風乃言葉乃定乎習比辨留。我徒諸乃心乎。彌助氣爾助給比。彌導伎爾導給比。皇賀大御稜威。磯城島乃日本國風乎毛。天下四面乃國爾。彌加々志加々志滿志米給閇止。

御酒爾御饌爾。海川山野乃物取添。置高成旦。畏美畏美毛。能美乃稱言竟奉良久止申須。

橋本景岳先生五十年祭祝詞

（久保惠鄰稿）

贈正四位景岳橋本大人命乃前仁。齋主位姓名敬比拜美毛白佐久。」阿波禮汝命乃一世乃事乃跡波。既久史乃上仁毛記志傳閉旦。世乃人皆乃克久知禮留事奈禮婆。今更仁拙支言乃葉以旦稱白左牟波。中々仁愚那留倍志。」曾毋嘉永安政乃大御世乃初仁掛介旦。大朝廷乃御爲仁。大御國乃爲仁。勤美勞支。家乎忘禮身乎捨旦。大支功乎立旦津留益荒男等波。甚多久在里介禮杼毛。斯賀中仁。汝命乃特仁拔出旦優禮給閇里志事波。彼乃世仁名高支傑士。江戸乃川路聖謨。水戸乃武田耕雲齋。薩摩乃西郷隆盛等賀。常仁其乃學識博久。器量深支仁感介嘆可比支乃乃論筋嚴久正久。君乎尊比國乎念布。赤心乃眞心厚加里之狀波。彼乃罔乃中仁籠良衣給比之時。數回乃笞杖乃下仁。苦美酸美給比之加杼毋。御容端久御言清久。他人仁波似受。國乃爲世乃爲仁。藩主乃公乃仰言蒙里旦事議禮留外。他心有良受乃。一向仁言放知給比支乃語傳布留仁毛。其乃片端波窺比知良由倍之。」如此久生乃涯。怠留事无久緩牟事无久。勵美勉米津留心盡毋。遂仁其乃效無加里志乃美仁非受。有良奴罪仁。武藏乃也小塚乃原乃。秋乃露波加無久消衣旦失給比之波。憤之乃毋憤久。慨之乃毋慨支極奈里介禮杼毋。村雲暫時覆比志天津日乃光。佐夜加仁晴渡禮留事乃如久。亂世乃風塵再靜萬里旦。皇我大御政古仁立復里。明介久治留御世乃新世乃。今乃大御世仁成里仁介禮婆。埋禮果多留汝命乃御功毛。天下仁顯禮渡里旦。前仁波御祭粢料乎。御墓乃前仁奉良之米給比。後仁波正四位乃位乎贈里旦。靖國乃神乃社仁齋支奉良之米給布。畏支大命蒙里給閇留波。上無支譽。限无支榮乃白寸倍久。今古倉波望毛滿知旦。御心足良比仁思保寸良米。」加久旦

今年波。其乃御退坐介留與里。五十年仁那毛成奴禮婆。當時乃朋友等乎始米氐。汝命乃御功乎仰奉里。慕奉留。眞心篤支人等。相謀里相談良比氐。御祭嚴久仕奉良牟乃。今日志毋此乃國學院大學乃高樓乃假乃由庭仁。神籬差立神靈乎招支齋比坐世奉里。御饌御酒。種々乃物共捧介奉里氐。拜禮毘奉留事乃狀乎。足羽乃山乃彌高仁。角鹿乃海乃彌廣仁。聞食志。宇豆那比給閇乃。謹美畏美毛白寸。」

○靈祭の三

〔語例〕

楢乃葉乃名仁負布宮乃古言仁。云比氐有良久。楢の葉の奈良といふ名を負ひ持ちある宮の古言、即ち奈良朝の萬葉集に言ひてあることは」となり。

物部乃臣乃士波。大君乃任乃隨聞久乃布物曾。武士たる者は、天皇の御命令のまに〳〵、聽き從ひ奉るべき者にてあるぞ」となり。これ、萬葉集の歌なり。

事有良牟時波。太刀取佩支。銃執持知氐。一朝事あらん時には、太刀を腰に取り帶び、手に銃を執り持ちて事へむ」となり。

大君乃御爲。國乃爲仁。勞支勤牟倍支物仁在里。聞えたるが如し。

天皇乃大命乎頂仁戴支蒙里。此乃某乃里與里徵左延氐。大御軍仁參加里。天皇の大命を頂に戴き蒙りて、此の某里より徵されて、御軍に參り加はりて」となり。

或波雷如寸。大砲乃響乃中仁立知。或波氷雨如寸小銃乃丸乃下乎潛里。ある時には、雷の如き大砲の響の中に立ち、ある時には、氷雨即ち雹のふる如き、小銃の彈丸の下を潛り」となり。

或波岩根凝志支山々乎。頓越仁越衣氐。大城小柵乎攻破里。ある時は、岩の根乃險しき山々を直ちに越えて、大なる城や小なる柵を攻め破り」となり。

或波風荒支海原乎。直渡仁渡里氐。大艦小艇乎擊沈米。直渡とは、一直線に渡るをいふ、他は聞えたるが如し、

種々仁伊曾波伎勵美志。任務乃狀波異奈禮杼。いろ〳〵に勤め勵みし、任務の狀は各〻異なれども」となり。

一筋仁盡志津留倭心乃利心波。變留事无久。一筋に盡したりし、倭心の利

き心は變る事なく」となり。

荒山仁屍草生志。大海仁屍水漬支氐。大支功刀清支名刀乎。現世仁殘志留米。　荒山にて死にて、屍に草生じ、大海に沈みて、屍は水に漬りて、大なる功業と、清らかなる名譽とを、この現世に殘し留めて」となり。

千里五百里。誰夜志人加其功乎稱閇邪良牟。　千里、五百里の多くの里の人等が、誰か其の功業を稱贊せぬ人あらむ」となり。

千年五百年。孰乃時加。其名乎慕波邪良牟。　千年五百年の後までも、何時になりても、誰か其の名を聞きて慕はざるものあらむ」となり。

主等乃本貫那留此乃里仁志氐。里人諸。相議里相談良比。　主等（戰死者）の本籍地なる、此の里にて、諸の里人等、相議し相談じて」となり。

此乃某地乎。可美處乃清支所刀覓求米氐。　この某地を、よき處の清らかなる所とて、尋ね求めて」となり。

岩境取設介。神籬差立氐。諸乃御靈乎鎭米齋比。　神靈を祭る場所を取り設け、神靈を憑せ申す榊を立て、諸々の御靈を招き鎭め申して」となり。

何具禮乃業乎毛執行比氐。慰奉里治奉留狀乎。　色々の事を執り行ひて、神靈を慰め治めまつる狀を」となり。

負那負那。國乃爲仁世乃爲仁。奇支嚴支御靈幸閇給閇。　御身分のほどく〳〵に、國のため世のために、奇しく嚴めしき御靈德を幸へ給へ」となり。

〔作例〕

招魂祭詞

（杉迺舍諄辭集）

吾皇大君波。山河毋寄豆仕反。昆蟲毋服呂比奉留可支理奈留乎。去年乃春乃頃與里。西乃海邊仁荒支浪風起立知豆。皇我御令仁背支奉里。百姓等乎惱米志故仁。陸海乃軍兵數萬乎起志給比豆。討罰米志米給反婆。汝等各毋各毋。大夫乃雄心乎振起志。競比戰比。或波雷鳴寸大砲仁當里。或波電如寸劒刃仁被傷豆。野山乃草乃露。海原乃潮乃沫止消坐志波。甚毋哀志久慨加波志支極仁在禮杼毋。此久戰比給比之仁因里豆曾。然志毋荒毘志敵共毋。悉爾打滅左衣仁計留。」故其乃忠爾赤支誠心乎。幽世仁志豆波天神乃御心爾。感給比愛給比決米豆。神廷仁喚

上給比惠美給波牟隨仁。即其乃神廷仁永久遠久侍良比坐牟。顯世仁志豆波。皇我御命以以憐美給比賞給比。懇仁祭典乎行比給閇留波。凡庸人乃掛豆毋及布可支事仁波有良受。」爰仁此乃縣下波由緣有留毋由緣無伎毋。豫豆與里親美睦毘豆有里之賀多在留乎。如何志豆加思比忘禮牟。有志人々相集比相議里豆。今之此乃横濱乃伊勢山奈留。大神宮乃御標内仁。汝等乃功勳止共仁。均志久大仁高伎碑乎造立。又五百箇眞榊仁木綿取垂豆。伊豆神籬止林飾里豆。御靈乎招奉里。御酒御饌。種々乃物乎置備反豆。敬比拜美志努備奉留狀乎。平介久聞食豆。皇朝廷乎守里奉里給比。親戚朋友乎惠美幸波閇給閇止。謹美畏美毋白須。」

常陸丸殉難將士墓碑建設祭諄詞

（戰時祝詞集）

此乃青山乃葬地乃底津石根爾。岩隱里鎭萬里坐寸。近衞後備步兵第一聯隊長陸軍步兵中佐正六位勳三等功五級須知源次郎命乎始米。

六百餘三十五人乃將士等乃前爾。恐美氐白左久。」宇都曾美乃世爾在留人。誰可波空之可留可支。八十年百年乃齡波重奴刀毋。後乃世爾語繼久可支名波立受。徒仁老果豆牟波口惜支極奈良萬之。」阿波禮汝命等波也。各毋各毋其乃御齡眞壯爾豆。常乃御志毋甚大支久。行末遠久望有留身爾坐介禮杼毋。」天皇乃御楯。大御國乃石礎刀在留。軍人乃職々乎貞持給比豆。君乃御爲爾國乃爲爾。勤之美勳美給閇留任務乃中爾。身亡給閇留乎思閇婆。由久里无伎禍事爾遇比氐。荒海乃千尋乃底乃。限无支恨乎遺之給比之古曾。甚毋悲久甚毋忌々之支樣爾波在禮杼。其乃高伎御功。芳伎御名波。朽知受失世受。千世爾八千世爾言繼加比語繼加比氐。世乃龜鑑。人乃模範刀毋。仰加禮給比尊萬禮給布可久。中々爾。幸福多伎御身刀毋稱閇白左萬之。」故其乃御功乎彌長爾忘禮自。其乃御名乎彌遠爾放良左自刀。留守近衞師團長陸軍中將從四位勳二等功四級伊瀨知好成等相議里氐。此乃奥津城爾碑石建設介豆。

今日乃此日爾。此乃事乃狀乎告白之。御祭式仕奉良久刀之乎。御酒御饌。種々乃物共捧奉里。拜美奉留事乎。平介久安介久聞食之与。常斯閉爾鎭里給閇刀。御葬乃時仕奉禮留緣爾因与。齋主青戸波江恐美敬比白須。」

下野國出流山屯集義士靈祭祝詞

（祝詞文集）

年乃中仁。十廉利二月登月者有禮杼毛。月乃中仁。三十日。登日波有禮杼毛。此五月乃十廉利二日止云日乎。生日乃足日止選定与。此乃奥室乃小床乎。天津磐境止拂清米与。奥山乃榮樹之枝乎打折持來与。天津神籬止差立与。稱言竟奉良久。」如此奉齋良久波。鎌倉乃臣等賀。大政奏志太留與里繼々仁。政奏之臣波。春花乃榮由留奈志与。云卷者畏支。朝廷波秋乃紅葉乃宇都呂比給比都々。其臣共波志母。神隨定給比志太古乃法仁違比。君臣乃大義乎忘禮与。無禮事共多加里介禮波。掛卷母畏支。天皇命乃大御心波。御憤良志久乃美坐志与奈母。年廉禰久過來仁計留。」然乎近支癸丑乃年乃頃與里。大將軍仁任良延太留臣乃。大命爾背支奉里。從比奉良奴事志母有与。彌大御心安久母坐謝留乎。畏美奉里憂太美奉里与。伊加傳加毛。安久大御座坐志奉牟登爲与。命捨太留人共少加良奴乎。追繼重繼都々。山行波草生屍。海行波水漬屍。大君乃閇仁古曾死米止。思定太留義士達乃多加里志中仁。赤尾秀行命。安達忠勝命。二柱命乎始与。三十餘九人乃士達。國家乃御爲仁賊臣乎掃牟止志与。伊那志古米醜吏等賀爲仁。其身波。安蘇川仁浮閇留水泡乃。消失給比奴流物加良。其靈波天翔國翔与。先津義士達乃靈止共爾。朝廷乎守護坐計牟。其勳功仁依与。宇都志美乃世波。阿良多廉乃春立加邊留賀如久。七百年乃古仁立加邊里与。太政波朝廷仁行給比敷給比。天下乃御民乎惠給比撫給比都々。此乃貴支正支大御代仁生禮阿比奴留事乎。宇牟加志美。宇禮志美奉与。赤尾安達二氏命乎初与。三十餘九人乃義士達乃御靈乎。暫時此仁奉招奉坐与。二氏乃命友織田尙信。齋

里謹旦。獻流御酒御饌乎。安介久平介久聞食旦。其靈波長久仁。朝廷乃御垣乎退給受。離給受。朝守夕守止守護奉里仕坐都々。國家乃御爲仁。志篤加留現世人乃宇閉乎毋。守榮志米給閉止。畏美畏美毋。天八開手打旦白須。」

石川縣士民殉難者等招魂祭諄詞

（戰時祝詞集）

此奥床乎假乃齋場刀祓比清米。神籬建旦招集幣鎭米奉留。不破富太郎主。靑木新三郎主。千秋順之助主。大野木仲三郎主。小川幸三主。福岡總助主。淺野屋佐平主。駒井躋庵主。松平大貳主。永原恒太郎主。靑木守衞主。久德傳兵衞主。廣瀨勘右衞門主。大野木源藏主。福岡文平主。岡野判兵衞主。岡野外龜四郎主。谷村直主。行山康左衞門主。瀨尾餘一主。關澤安左衞門主。二十人乃神靈乃前爾。齋主大教正本居豐穎拜美毛白佐久。」安波禮愛多久嚴志支此大御代乃創乃時毛。今都々羅々爾思比反世婆年久爾上下乃人皆馴旦面向閉里之德川將軍乃。其政乎返之奉里。君臣乃其名毛正志久事定里之時乃本末波。輕久容易伎事爾非受。」西爾東爾人乃物言比穩那良受。國々乃殿爾仕幣之物部乃八十伴男等毛。己賀自志世乃在形乎思比量利。心乎定米旦勞伎多里之事乃中爾波。自然刈菰乃入亂里多留事理有利旦。今思閉婆甚淺麻之久愚爾悔志伎心知爲良久毛。當時乃世爾在里旦波人々共爾困志美憤呂志美思比牟世毘之事狀叙多加里之。」安波禮汝主等也。其勞氣里之事狀爾波自然種々有留毛。皆相共爾。年麻禰久仕奉里來之前田乃殿君乃御爲。其國乃爲乎思比之眞心乃利心以旦。速久天下乃大勢乎見定米旦。家忘禮身毛多那志良受。健毘勇米里之事波。容易加里之事爾非受。然留乎其志乃末乃極乎見毛果受。或波困志伎病乃床爾歎伎息絕衣。或波免禮得奴期到里旦。慨美都々毛劍刃寒伎秋乃霜刀消旦失爾之事狀波也。悲志刀毛口惜志伎事等那利伎。然波言閉杼毛。今如此明治乃大御代定麻里。善伎惡伎事理毛。明氣久成竟

爾多留上以豆言波婆。身古倍波失奴禮。清伎明伎其志刀。健久忠實那里之其美名刀波。書記須史乃上爾明那留乃美爾非受。既爾富太郎主乎始米八人乃靈波。皇朝廷乃仰言以豆。靖國神社爾齋波衣坐奴。故此事乎歡毘嬉美。更爾當時乃世乎忍夫刀。汝主等刀專同意那里之人々相議里豆。今其靈乎招伎集閉物捧氣拜美都々。其昔乃事乎毛談里。今乃大御代乃盛乎毛。仰伎事壽伎奉里。或波昔乎忍夫文乎毛讀上氣。或波歌舞乃物音乎毛遊毘成志豆。其靈乎慰牟留今日乃祭典乃中執里齋比豆。豐顯賀且々毛。如此宣白須事乎。平氣久安氣久。相宇豆那比聞食世刀白須。」

祝詞作文便覽 終

明治四十二年八月十三日印刷
明治四十二年八月廿六日發行

定價金壹圓

編輯兼發行者　道友社編輯部

右代表者　增野正兵衛
奈良縣山邊郡丹波市町大字三島八十番地

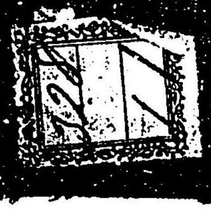
印刷者　渡邊八太郎
東京市牛込區榎町七番地

印刷所　日清印刷株式會社
東京市牛込區榎町七番地

不許複製

發行所　皇典講究所出版部
東京市麴町區飯田町五丁目八番地

12.1.19



328
Ⓜ

014529-000-3

328-11

祝詞作文便覧

道友社編輯部／編

M42

ABB-0913